

平成 2 9 年度

植物防疫事業年報

平成 3 0 年 3 月

京都府病虫害防除所

京都府亀岡市余部町和久成 9

TEL 0771-23-9512

はじめに

農家の皆様や関係機関の方々には、日頃より、当所が行っている発生予察事業に格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、平成 29 年の気象経過や、当所が発表した病虫害発生予報をはじめとする各種予察情報、情報の根拠となる月例巡回調査結果等を「平成 29 年度病虫害防除所植物防疫年報」としてとりまとめました。今後の病虫害防除対策の一助として活用いただければ幸いです。

さて、平成 29 年の気象を振り返ってみますと、前年初冬から暖冬傾向で推移しましたが、1 月中旬以降一転して低温傾向となり、特に 1 月 15 日の降雪により、特に府中部で多くのハウスが倒壊しました。この低温傾向は 3 月まで続いたことから、丹後地域の二十世紀ナシの発芽や満開期、山城地域の茶の萌芽が平年より 2 日程度遅れることとなりました。4 月から 5 月にかけては概して高気圧に覆われ、気温が高く小雨で推移しました。6 月は「梅雨寒」となり、平年に比べ気温は低めに推移したものの、梅雨明け後の 7 月中旬から 8 月下旬までは高温で推移しました。このため、水稻の出穂が早植え地域でかなり早まりました。降水量をみると、8 月上旬の台風 5 号や不安定な大気による頻繁な降雨により多めとなり、この傾向は 9 月中旬の台風 18 号、10 月下旬の台風 21 号・22 号による大雨まで続きました。

一方病虫害を見てみますと、昨年西日本で多発し問題となったタマネギ・ネギのべと病は伝染源が多いことが心配されたため、2 月に防除所ニュースで注意喚起を行いました。気温が高く推移した 4 月中旬以降、産地で発生が目立ってきたため、再度注意喚起を行いました。今後も発生を注視していきたい病気です。

7 月には斑点米の原因となるカメムシ類の発生が目立ってきたことから、注意報で畦畔の草刈りの励行や、出穂後の 2 回の防除を呼びかけました。出穂が予想以上に早まったことから、畦畔の草刈りが間に合わない所もあり、迅速な予察情報の提供が重要であること痛感したところです。野菜や豆類では、昨年同様、シロイチモジヨトウやハスモンヨトウなどのヨトウムシ類が多く見られたほか、果樹についても 8 月より果実品質に影響するカメムシ類が多くなり、いずれも注意報により防除を呼びかけたところです。

6 月下旬から丹後地域の飼料作物や水稻で発生したアワヨトウ、ネギで初めて発生が確認されたチビクロバネキノコバエなど、ここ最近発生を見なかったり、新たに農作物を加害する害虫が目立った年でもありました。特にチビクロバネキノコバエは症状が黒腐菌核病と酷似するなど、生産者の方々の対策を迷わせたもので、防除所として、よりの確な防除対策にむすびつく情報の必要性を感じさせるものとなりました。

サクラやモモの樹体を加害するクビアカツヤカミキリの例をあげるまでもなく、地球温暖化による経験したことのない極端な気象現象や、グローバル化による活発な人や物の流れにより、発生する病虫害も大きく様変わりしようとしています。

効率的かつ効果的な病虫害防除に寄与するため、より一層発生予察情報の精度向上と迅速かつ的確な提供に努めて参りますので、引き続き御理解と御支援を賜ることをお願い申し上げます。

京都府病虫害防除所長 上田 康司

目 次

病害虫防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
業務の概要	
I 農作物病害虫発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病害虫の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病害虫の発生予察と発生状況	10
1 発生予察調査の結果	10
1) 巡回調査の結果	10
(1) 水稲 (2) 麦類 (3) 黒大豆 (4) 小豆 (5) ナシ (6) ブドウ (7) カキ (8) カンキツ (9) 茶樹 (10) キュウリ (11) トマト (12) ナス (13) トウガラシ (14) キャベツ (15) ダイコン (16) カブ (17) ホウレンソウ (18) ネギ(小株) (19) ネギ(大株)	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	47
(1) 予察灯の調査結果 (2) 誘引剤トラップの調査結果 (3) 黄色水盤の調査結果	
2 病害虫発生予察情報の内容	64
3 対象病害虫の発生状況	79
II 重要病害虫侵入警戒調査の実施	87
III 調査・試験の結果	89
防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立	89
(1) 各種有色ネットに対するミカンキイロアザミウマ及びヒラズハナアザミウマの 行動反応特性の解明	
(2) 施設トマトにおける各種防虫ネットを用いた各種微小害虫の防除効果試験	
ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術	95
(1) 京都府におけるネギえそ条斑病の季節的発生推移	
(2) ネギえそ条斑病・ネギアザミウマの地理的分布調査	
(3) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布調査	
(4) 京都府におけるネギアザミウマの殺虫剤感受性	
(5) ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病被害の品種間差異	
農作物の病害虫に関する現地対策調査	105
(1) シロイチモジヨトウの殺虫剤感受性	
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	107
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	107
(II) 情報の内容と利用の状況	108
VI 病害虫調査協力員の活動状況	110
VII 会議・講演・研修等の実施	111
VIII 普及センター等との連携の推進	114
参考資料	
平成29年の半旬別気象表・グラフ	115

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

職名	京都府病虫害防除所					協力機関名
	所長	主任研究員	技師	嘱託職員	計	
人数	1人	3人	1人	1人	6人	農林センター、茶業研究所、丹後農業研究所、農業大学校、流通・ブランド戦略課、農産課

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組	農業共済組	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	〃	京田辺市薪	
	麦 類	亀岡市余部町（農林センター）	
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所 防除所 防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	カ キ	京都市西京区大枝	
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研 防除所
	〃	京丹後市大宮町口大野	
野 菜	キ ュ ウ リ	京都市伏見区深草	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	
	ナ ス	京田辺市薪	
	〃	京都市西京区大原野	
	キ ャ ベ ツ	京都市南区吉祥院、亀岡市余部町（農林センター）	
	ダ イ コ ン	木津川市梅谷、京丹後市弥栄町黒部	
	ホ ウ レ ン ソ ウ	久御山町坊之池	
ネ ギ	京都市伏見区淀		

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道 ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹 カメムシ類、タバコガ、オオタ バコガ、ニカメイガ、シロイチ モジヨトウ、吸実性カメムシ類	防除所 防除所

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ 黄 色 水 盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、 オオタバコガ、カブラヤガ、 ニカメイガ、吸実性カメムシ 類 アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町 黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果 樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、ニカメイガ、吸 実性カメムシ類	防除所 防除所
京丹後市大宮町 口大野	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ ヨコバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメム シ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカ メムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカ メムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミ カメ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメム シ、ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稲 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北 下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町 今西中 福知山市大江町河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町 芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦類 (9地区/18か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 南丹市美山町鶴ヶ岡 福知山市半田、土、河守 綾部市西坂、館 (二条) 亀岡市河原林町、馬路町 亀岡市本梅町平松	—

(3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 6地区/11か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	京丹波町富田、安栖里 福知山市夜久野町大油子	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	亀岡市河原林町、馬路町 南丹市園部町若森 福知山市半田 綾部市篠田 舞鶴市久田美	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (10地区/22か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	6	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町 一分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区/32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町禅定寺、宇治田原町南 和東町石寺、和東町湯船、和東町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

(6) 野菜 (32地区/54か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	9	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	7	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池、相島	—	—
トウガラシ (施設)	2	精華町祝園	舞鶴市三日市	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	5	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町 久美浜町
カブ	6	—	京都市右京区 京北矢代中町	京丹後市弥栄町 久美浜町

			亀岡市篠町	
ハウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、 南区吉祥院、伏見区淀 八幡市岩田	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、稲こじ病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ、フタオビコヤガ	苗立枯病、白葉枯病、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦類	赤かび病、うどんこ病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、ハダニ類、フタスジヒメハムシ、サヤムシガ類、食葉性鱗翅目幼虫
	小豆	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、食葉性鱗翅目幼虫
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、アブラムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類	赤星病、うどんこ病
	ブドウ	べと病	うどんこ病、さび病、ハダニ類
	カキ	炭そ病、カキノヘタムシガ、カメムシ類、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ、ハマキムシ類	うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、
茶	茶樹	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類、チャノホソガ	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガ

樹			ラムシ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
野	キュウリ	べと病、うどんこ病、褐斑病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、モザイク病、ハダニ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	うどんこ病、黄化葉巻病、モザイク病、アザミウマ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、ハモグリバエ類、コナジラミ類、タバコガ類
	トウガラシ	ハスモンヨトウ	うどんこ病、斑点病、モザイク病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、タバコガ
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ、ヨトウガ	べと病、モンシロチョウ、ウワバ類、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ、ナモグリバエ、モンシロチョウ
	菜	カブ	コナガ
ホウレンソウ		アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ヨトウガ	べと病、シロオビノメイガ
ネギ		さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1) いちご、かき、きく、キャベツ、きゅうり、たまねぎ、なす及びねぎのアザミウマ類
- (2) いちご、かんきつ、きく、キャベツ、きゅうり、すいか、だいこん、大豆、トマト、なし、なす、ねぎ、はくさい、ばれいしよ、ピーマン、ほうれんそう及びレタスのアブラムシ類
- (3) いねのイネミズゾウムシ
- (4) オオタバコガ
- (5) かきのカイガラムシ類
- (6) かきのカキノヘタムシガ
- (7) 果樹カメムシ類
- (8) さとうきびのカンシャコバネナガカメムシ
- (9) 大豆の吸実性カメムシ類
- (10) コナガ
- (11) きゅうり及びトマトのコナジラミ類
- (12) いねのコブノメイガ
- (13) シロイチモジヨトウ
- (14) なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (15) いねのセジロウンカ
- (16) 茶のチャノホソガ
- (17) いねのツマグロヨコバイ
- (18) いねのトビイロウンカ
- (19) いねのニカメイガ
- (20) ハスモンヨトウ
- (21) いちご、おうとう、かんきつ、茶、なし、なす、もも及びりんごのハダニ類
- (22) かき、茶、なし及びりんごのハマキムシ類
- (23) 斑点米カメムシ類
- (24) いねのヒメトビウンカ
- (25) いねのフタオビコヤガ
- (26) さとうきびのメイチュウ類
- (27) ヨトウガ

2 指定有害植物（30種類）

- (1) むぎの赤かび病菌
- (2) いねの稲こうじ病菌
- (3) いねのいもち病菌
- (4) いちごのうどんこ病菌
- (5) きゅうりのうどんこ病菌
- (6) なすのうどんこ病菌
- (7) ピーマンのうどんこ病菌
- (8) むぎのうどんこ病菌
- (9) トマト及びばれいしよの疫病菌
- (10) ぶどうの晩腐病菌
- (11) かんきつのかいよう病菌
- (12) キウイフルーツのかいよう病菌
- (13) きゅうりの褐斑病菌
- (14) てん菜の褐斑病菌
- (15) キャベツ及びレタスの菌核病菌
- (16) キャベツの黒腐病菌
- (17) なしの黒星病菌
- (18) りんごの黒星病菌
- (19) かんきつの黒点病菌
- (20) なしの黒斑病菌
- (21) ねぎの黒斑病菌
- (22) ねぎのさび病菌
- (23) いねの縞葉枯病ウイルス
- (24) たまねぎの白色疫病菌
- (25) きくの白さび病菌
- (26) てん菜の西部萎縮病ウイルス
- (27) もものせん孔細菌病菌
- (28) かんきつのそうか病菌
- (29) いちごの炭疽病菌
- (30) かきの炭疽病菌
- (31) 茶の炭疽病菌
- (32) いちご、きゅうり、トマト、なす、ぶどう及びレタスの灰色かび病菌
- (33) おうとうの灰星病菌
- (34) いねのばか苗病菌
- (35) トマトの葉かび病菌
- (36) りんごの斑点細菌病菌
- (37) きゅうりのべと病菌
- (38) たまねぎ及びねぎのべと病菌
- (39) ぶどうのべと病菌
- (40) いねのもみ枯細菌病菌
- (41) いねの紋枯病菌

3 発生予察情報等の概要

種 類	発表時期	発表内容	主な提供方法・提供先 (提供数)
予 報	4月～10月、2月～3月の各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約30) 地方振興局・普及センター、研究機関 ・J P P ネット送信 (一) 国・他府県関係 ・F A X 送信 (約110) 市町村・農業協同組合・その他 ・冊子送付 (約100) 国出先機関、報道機関、定点農家 ・メール送信 (約5) ・ホームページに掲載
警 報	発表なし		
注意報	7月28日 7月31日 9月 1日 9月21日	第 1号：水稲 斑点米カメムシ類 第 2号：野菜類、豆類 ヨトウムシ類 第 3号：果樹 カメムシ類 第 4号：ネギ シロイチモジヨトウ	予報と同じ
特殊報	2月14日 7月19日 7月28日	第 1号：ハウレンソウ ハコベハナバエ 第 2号：ネギ チビクロバネキノコバエ 第 3号：ナシ ナシコスカシバ (仮称)	
技 術 情 報 (防除所ニュース)	2月17日 3月22日 3月27日 3月27日 5月 2日 7月10日 7月28日 7月31日 8月22日 11月20日	第 1号：ネギ ベと病・さび病情報 第 2号：麦類 赤かび病情報 第 3号、第 4号：ネギ えそ条斑病・ ネギアザミウマ情報 第 5号：ネギ さび病情報 第 6号：水稲、トウモロコシ、飼料作物等 アワヨトウ情報 第 7号：モモ、ウメ、サクラ、カキ等 クビアカツヤカミキリ情報 第 8号：豆類 サヤムシガ類情報 第 9号：水稲 穂いもち情報 第10号：ネギ 萎ちょう病情報	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約 30) ・F A X 送信 (約110) ・ホームページに掲載
月 報	4月～11月、2月～3月の各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づく発生病虫害全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約10) 普及センター等 ・一部、ホームページに掲載
年 報	3月末	防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載

(II) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稲

生育概要

早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月20日 移植期：5月10日）

普通植（品種：コシヒカリ、日本晴 播種期：5月6日 移植期：5月25日）

ア. 生育

移植後5月末までは高温であったため、早植のコシヒカリの茎数は過剰気味であったが、6月には一転して低温となったため、生育が緩慢となり6/1以降の茎数の過剰な増加は抑制された。普通植のコシヒカリおよび日本晴の茎数は平年並～少なく推移した。7月以降は平年より高温で推移したため出穂期は早植のコシヒカリで平年比8日、普通植コシヒカリで平年比5日早くなった。成熟期は早植、普通植コシヒカリともに平年比5日早くなった。普通植の日本晴の出穂期は平年比1日早く、成熟期は2日早くなった。

イ. 収量及び品質

早植のコシヒカリは、穂数が多く（平年比106%）、1穂粒数も多く（平年比108%）、 m^2 当たりの粒数はかなり増加（平年比115%）となり、登熟歩合が減少（平年差-6.2ポイント）したため、精玄米重は平年より多収（平年比107%）となった。普通植のコシヒカリでは、穂数が平年並（平年比101%）、1穂粒数がやや多く（平年比103%）、 m^2 当たりの粒数がやや増加（平年比104%）した。このため、登熟歩合が減少（平年差-3.7ポイント）したものの、精玄米重はやや多く（平年比103%）なった。普通植の日本晴は穂数はやや少なく（平年比96%）、1穂粒数が多かった（平年比113%）ものの、登熟歩合が低下（平年差-11.1%）したため、精玄米重は平年並（平年比99%）となった。玄米品質は夏期の高温などの影響ですべての品種の作期で平年を下回った。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

病害虫発生状況

ア 苗いもち（指定）

発生を認めなかった。

イ 葉いもち（指定）

7月上旬に曇雨天が多くなったため、7月中旬に山城地域で平年比やや多い発生となったが、7月中旬以降は晴れて高温の日が続いたことにより、全体的に平年並の発生で推移した。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
29年	山城	-	-	-	-
	南丹	6	28	0.0	0.0
	中丹	2	10	0.0	0.0
	丹後	2	6	0.0	0.0
28年	山城	-	-	-	-
	南丹	7	23	0.0	0.0
	中丹	4	23	0.0	0.0
	丹後	6	22	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 箇所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
29年	山城	6	5	47	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	26	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	3	17	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	1	1	0	0	0.0	0.0
28年	山城	6	4	11	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	0	0	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	1	3	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	0	0	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	0.0	—
		28年	5	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	29年	6	50.0	10.7	2.7	—
		28年	6	33.3	20.0	10.7	—
		平年	—	19.0	3.5	1.4	—
	*8・3～4	29年	6	16.7	0.7	—	0.00
		28年	6	50.0	3.3	—	0.04
		平年	—	23.1	2.7	—	0.05
南丹	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	0.0	—
		28年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	29年	9	11.1	5.8	1.4	—
		28年	9	22.2	12.4	3.4	—
		平年	—	27.3	15.5	4.7	—
	*8・3～4	29年	9	11.1	2.7	—	0.00
		28年	9	22.2	2.7	—	0.06
		平年	—	31.2	6.6	—	0.15
中丹	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	0.0	—
		28年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	4.8	0.4	0.1	—
	7・3～4	29年	6	0.0	0.0	0.0	—
		28年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	23.4	6.1	1.7	—
	*8・3～4	29年	6	0.0	0.0	—	0.00
		28年	6	16.7	1.3	—	0.01
		平年	—	17.1	2.3	—	0.15
丹後	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	0.0	—
		28年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	1.1	0.2	0.0	—
	7・3～4	29年	9	0.0	0.0	0.0	—
		28年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	7.7	1.8	0.5	—
	*8・3～4	29年	9	0.0	0.0	—	0.00
		28年	9	44.4	4.4	—	0.08
		平年	—	9.8	1.6	—	0.05

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7

ウ 穂いもち（指定）

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並であったが、8月上中旬に曇雨天が続いたため、8月中旬以降に山城及び南丹地域で発生を確認し、南丹地域では平年比多い発生となった。その後、9月には南丹及び中丹地域で平年比多い発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	25	0.0	0.0	0.0	28.0	72.0
9・3～4	12	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期(月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病葉率(%)	被害粗率(%)
山城	8・3～4	29年	1	0.0	0.0	0.00	—
		28年	1	100.0	4.0	0.20	—
		平年	—	14.3	0.6	0.03	—
	9・3～4	29年	5	20.0	1.6	—	0.08
		28年	5	80.0	12.0	—	0.60
		平年	—	24.8	3.6	—	—
南丹	8・3～4	29年	9	77.8	10.4	0.62	—
		28年	9	33.3	3.6	0.23	—
		平年	—	15.3	3.9	0.15	—
	9・3～4	29年	2	100.0	44.0	—	3.20
		28年	3	33.3	26.7	—	1.70
		平年	—	28.3	13.4	—	—
中丹	8・3～4	29年	6	0.0	0.0	0.00	—
		28年	6	66.7	7.3	0.41	—
		平年	—	8.3	1.2	0.07	—
	9・3～4	29年	3	100.0	42.7	—	2.27
		28年	2	100.0	10.0	—	0.50
		平年	—	30.6	4.2	—	—
丹後	8・3～4	29年	9	0.0	0.0	0.00	—
		28年	9	22.2	0.9	0.07	—
		平年	—	5.4	0.4	0.02	—
	9・3～4	29年	2	0.0	0.0	—	0.00
		28年	1	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	17.7	1.4	—	—

エ 紋枯病（指定）

7月から山城及び南丹地域で発生を認め、8月上中旬に曇雨天が続いたため、8月中旬には府内全域で発生を認め、9月まで全体的に平年比多い発生となった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	43.3	56.7
9・3～4	12	0.0	8.3	0.0	58.3	33.3

表8 本田における紋枯病の発生状況調査 (25株見取り)

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度
山城	7・3～4	29年	6	16.7	1.3	0.3
		28年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	2.9	0.1	0.0
	8・3～4	29年	6	66.7	15.3	4.0
		28年	6	66.7	14.7	5.2
		平年	—	38.8	5.7	1.9
	9・3～4	29年	5	60.0	20.0	7.4
		28年	5	60.0	24.0	11.0
		平年	—	70.0	16.6	6.8
南丹	7・3～4	29年	9	11.1	0.4	0.4
		28年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	4.3	0.3	0.1
	8・3～4	29年	9	66.7	4.4	1.3
		28年	9	22.2	1.3	0.4
		平年	—	43.4	6.6	2.5
	9・3～4	29年	2	100.0	8.0	4.0
		28年	5	66.7	9.3	2.7
		平年	—	62.2	12.2	4.0
中丹	7・3～4	29年	6	0.0	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	3.3	0.1	0.0
	8・3～4	29年	6	50.0	16.0	4.0
		28年	6	50.0	2.0	0.5
		平年	—	23.8	2.0	0.6
	9・3～4	29年	3	33.3	29.3	16.3
		28年	4	100.0	16.0	5.5
		平年	—	35.2	4.0	1.7
丹後	7・3～4	29年	9	0.0	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.0	0.0
	8・3～4	29年	9	11.1	1.3	0.3
		28年	9	11.1	0.4	0.2
		平年	—	15.3	1.6	0.5
	9・3～4	29年	2	100.0	22.0	6.0
		28年	4	100.0	4.0	3.0
		平年	—	33.3	2.1	1.1

オ 苗立枯病

発生を認めなかった。

カ 白葉枯病

発生を認めなかった。

キ 靱枯細菌病

発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病

発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病

6月に山城地域の一部苗で発生を認めた。

コ 縞葉枯病
発生を認めなかった。

サ 稲こうじ病
発生を認めなかった。

シ ヒメトビウンカ（指定）
越冬密度は平年比やや低かった。
6月から発生を認め、9月まで平年並の発生に推移した。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	29年	3	0.0	0.0	-
	28年	2	0.0	0.0	-
南丹	29年	4	25.0	0.5	-
	28年	4	0.0	0.0	-
中丹	29年	4	0.0	0.0	-
	29年	4	0.0	0.0	-
丹後	29年	4	0.0	0.0	-
	28年	6	0.0	0.0	-

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		28年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		平年	—	3.1	0.0	—	0.0	0.0
	7・3～4	29年	6	16.7	0.8	6	66.7	1.7
		28年	6	66.7	8.3	6	33.3	0.7
		平年	—	46.9	2.5	—	35.5	1.1
	8・3～4	29年	6	50.0	4.8	6	83.3	5.2
		28年	6	66.7	7.2	6	100.0	6.0
		平年	—	58.8	4.1	—	71.9	7.9
南丹	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	1.0	0.0	—	8.9	0.1
	7・3～4	29年	9	33.3	0.4	9	33.3	0.8
		28年	9	55.6	0.9	9	0.0	0.0
		平年	—	21.7	0.3	—	12.1	0.1
	8・3～4	29年	9	11.1	5.2	9	44.4	8.4
		28年	9	88.9	4.9	9	100.0	24.2
		平年	—	38.8	2.1	—	73.7	15.5
中丹	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	—	1.7	0.0	—	7.9	0.1
	7・3～4	29年	6	50.0	0.7	6	16.7	0.2
		28年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	—	23.1	0.3	—	18.3	0.3
	8・3～4	29年	6	66.7	0.8	6	100.0	6.8
		28年	6	100.0	5.3	6	100.0	36.0
		平年	—	39.5	1.5	—	71.2	35.3
丹後	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3
		平年	—	4.2	0.0	—	6.6	0.1
	7・3～4	29年	9	22.2	0.3	9	11.1	0.1
		28年	9	11.1	0.1	9	11.1	0.1
		平年	—	18.4	0.3	—	25.0	0.8
	8・3～4	29年	9	55.6	1.8	9	100.0	13.7
		28年	9	44.4	3.4	9	88.9	23.2
		平年	—	55.3	1.9	—	79.9	27.0

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	28	0.0	0.0	0.0	3.6	96.4
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	30.0	70.0
8・3～4	30	0.0	3.3	6.7	70.0	20.0

ス ツマグロヨコバイ（指定）

越冬世代幼虫の発生時期は平年比やや早く、越冬密度は平年並であった。

本田では、6月以降に府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない～少ない発生で推移した。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	29年	3	66.7	6.7	-
	28年	2	0.0	0.0	-
南丹	29年	4	0.0	0.0	-
	28年	4	25.0	0.5	50.0
中丹	29年	4	25.0	0.8	100.0
	28年	4	50.0	1.0	100.0
丹後	29年	4	0.0	0.0	-
	28年	6	0.0	0.0	-

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	4	25.0	0.3
		28年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		平年	-	1.4	0.1	-	5.3	0.1
	7・3～4	29年	6	50.0	2.3	6	33.3	2.7
		28年	6	66.7	5.2	6	50.0	3.3
		平年	-	38.8	4.8	-	38.6	5.1
	8・3～4	29年	6	50.0	8.3	6	83.3	44.2
		28年	6	66.7	22.2	6	66.7	49.8
		平年	-	79.3	19.7	-	83.8	63.9
南丹	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	-	4.4	0.2	-	5.3	1.4
	7・3～4	29年	9	11.1	0.2	9	11.1	0.2
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	-	27.0	2.9	-	19.6	0.5
	8・3～4	29年	9	11.1	0.4	9	0.0	0.0
		28年	9	22.2	0.2	9	22.2	2.7
		平年	-	27.3	2.0	-	45.3	43.8
中丹	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	-	0.0	0.0	-	5.0	0.1
	7・3～4	29年	6	33.3	0.3	6	0.0	0.0
		28年	6	33.3	3.3	6	33.3	1.0
		平年	-	32.4	1.3	-	16.0	0.5
	8・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	33.3	1.2
		28年	6	33.3	1.0	6	50.0	11.5
		平年	-	21.4	0.5	-	34.5	3.9
丹後	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	11.1	0.6	9	11.1	0.1
		平年	-	5.2	0.2	-	5.3	0.1
	7・3～4	29年	9	22.2	0.2	9	0.0	0.0
		28年	9	33.3	3.1	9	0.0	0.0
		平年	-	44.2	2.0	-	28.1	1.2
	8・3～4	29年	9	33.3	0.7	9	33.3	6.1
		28年	9	44.4	5.7	9	44.4	10.7
		平年	-	44.2	2.3	-	56.1	28.4

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	28	0.0	0.0	0.0	3.6	96.4
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
8・3～4	30	0.0	0.0	6.7	26.7	66.7

セ セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺（8月11日）及び亀岡（8月24日）で平年比遅く、京丹後（7月14日）で平年比やや遅かった。

本田では7月から府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない発生に推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
29年	(8.11)	(8.24)	7.14
28年	(8.5)	(10.1)	6.25
平年	7.12	7.16	7.3

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	4	0.0	0.0
		28年	5	20.0	0.2	5	0.0	0.0
		平年	—	2.0	0.0	—	2.0	0.0
	7・3～4	29年	6	83.3	8.5	6	66.7	1.7
		28年	6	100.0	28.0	6	83.3	2.8
		平年	—	79.5	17.4	—	71.5	19.6
	8・3～4	29年	6	66.7	21.2	6	33.3	2.8
		28年	6	100.0	19.3	6	100.0	16.2
		平年	—	92.4	22.9	—	93.3	67.8
南丹	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.1	0.0
	7・3～4	29年	9	66.7	1.8	9	11.1	0.1
		28年	9	77.8	4.6	9	0.0	0.0
		平年	—	66.7	5.4	—	45.4	2.6
	8・3～4	29年	9	22.2	0.4	9	11.1	0.6
		28年	9	88.9	8.3	9	100.0	24.9
		平年	—	79.0	10.6	—	88.2	48.4
中丹	6・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.7	0.0
	7・3～4	29年	6	50.0	1.5	6	16.7	0.2
		28年	6	83.3	2.8	6	50.0	0.7
		平年	—	65.5	4.0	—	33.6	2.8
	8・3～4	29年	6	100.0	4.5	6	100.0	27.7
		28年	6	100.0	8.7	6	100.0	38.5
		平年	—	76.4	5.9	—	77.6	35.0
丹後	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		平年	—	0.0	0.0	—	3.3	0.0
	7・3～4	29年	9	33.3	1.0	9	22.2	0.2
		28年	9	100.0	9.4	9	11.1	0.3
		平年	—	76.4	5.6	—	48.5	11.4
	8・3～4	29年	9	55.6	1.2	9	100.0	22.9
		28年	9	88.9	7.0	9	100.0	37.3
		平年	—	80.9	7.5	—	92.6	44.3

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	28	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	26.7	73.3
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0

ソ トビイロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺及び京丹後で9月8日、亀岡で9月23日であったが、巡回調査では発生を認めなかった。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
29年	9.8	9.23	9.8
28年	飛来なし	飛来なし	飛来なし
平年	-	-	-

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	7・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	29年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		28年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
南丹	7・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	29年	2	0.0	0.0	1	0.0	0.0
		28年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
中丹	7・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		28年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	29年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
		28年	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
丹後	7・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		28年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	29年	2	0.0	0.0	0	-	-
		28年	1	0.0	0.0	0	-	-

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	12	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

タ ニカメイガ (指定)

予察灯及び巡回調査では発生を認めなかったが、丹波地域 (亀岡市) の飼料米で発生を認めた。

チ コブノメイガ (指定)

7月に南丹地域の一部で発生を確認したが、全体的には平年並の発生に推移した。

ツ イネミズゾウムシ (指定)

予察灯への初飛来は京田辺 (5月12日) で平年比早く、亀岡 (5月5日) で平年並、京丹後 (6月26日) で平年比遅かった。

予察灯への誘殺数 (4月第1半旬～5月第2半旬) は、京田辺で平年並、亀岡及び京丹後で平年比少なかった。

本田での発生は平年比やや多く、中丹及び丹後地域で発生が多かった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
29年	5.12	69	5.5	265	6.26	86
28年	5.23	22	4.26	121	5.10	149
平年	5.29	64.1	5.5	238.1	5.6	123.2

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査 (6月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率 (%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	29年	6	50.0	18.7	4.8	0.0
	28年	5	80.0	22.4	5.6	0.4
	平年	—	63.3	19.3	5.4	0.3
南丹	29年	9	77.8	64.4	16.6	2.2
	28年	9	55.6	55.6	21.6	2.1
	平年	—	87.9	65.8	21.3	1.6
中丹	29年	6	100.0	82.0	21.5	1.5
	28年	6	100.0	48.7	12.2	1.2
	平年	—	90.9	55.0	14.8	0.8
丹後	29年	9	88.9	55.1	13.8	1.2
	28年	9	88.9	56.9	14.6	0.6
	平年	—	86.0	43.5	11.7	0.7

* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
5・3～4	15	0.0	20.0	20.0	33.3	26.7
6・3～4	30	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0

テ 斑点米カメムシ類 (指定)

本田での発生は、7月までは平年並～やや少ない発生であったが、8月以降には平年比多い発生となった。

畦畔雑草での発生は、7月から平年比多い発生となった。

予察灯 (60W) へのアカスジカスミカメの誘殺数は平年比やや多く、アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数は平年並であった。

優占種は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシであった。また、昨年引き続きイネカメムシの発生が目立った。山城地域の晩生水稲ではミナミアオカメムシが9月以降に発生した。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	28	0.0	0.0	0.0	3.6	96.4
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
8・3～4	30	0.0	6.7	0.0	53.3	40.0
9・3～4	9	0.0	0.0	22.2	22.2	55.6

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～4	30	0.0	0.0	6.7	23.3	70.0
7・3～4	30	16.7	3.3	16.7	26.7	36.7
8・3～4	30	3.3	3.3	13.3	23.3	56.7

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査 (20回振りすくい取り)

地域	調査時期(月・半旬)	年次	本田			畦畔		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	29年	4	0.0	0.0	6	50.0	1.0
		28年	5	0.0	0.0	5	60.0	8.4
		平年	—	5.1	0.1	—	52.1	11.0
	7・3～4	29年	6	16.7	0.2	6	83.3	50.8
		28年	6	16.7	0.2	6	50.0	7.2
		平年	—	22.4	0.4	—	71.7	19.3
	8・3～4	29年	6	33.3	2.5	6	83.3	13.3
		28年	6	66.7	1.5	6	66.7	6.8
		平年	—	29.3	0.6	—	73.3	14.7
	9・3～4	29年	5	80.0	2.6	—	—	—
		28年	5	20.0	0.2	—	—	—
	南丹	6・3～4	29年	9	0.0	0.0	9	33.3
28年			9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
平年			—	3.3	0.1	—	36.3	1.2
7・3～4		29年	9	0.0	0.0	9	66.7	5.4
		28年	9	11.1	0.1	9	44.4	2.7
		平年	—	12.0	0.3	—	40.1	2.6
8・3～4		29年	9	55.6	0.8	9	33.3	0.6
		28年	9	66.7	2.3	9	33.3	3.9
		平年	—	45.9	1.4	—	34.4	1.8
9・3～4		29年	1	0.0	0.0	—	—	—
		28年	3	0.0	0.0	—	—	—
中丹		6・3～4	29年	6	0.0	0.0	6	16.7
	28年		6	0.0	0.0	6	33.3	0.8
	平年		—	8.1	0.2	—	39.5	3.2
	7・3～4	29年	6	16.7	0.3	6	66.7	1.0
		28年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	—	15.5	0.2	—	51.4	3.0
	8・3～4	29年	6	66.7	5.0	6	33.3	1.3
		28年	6	33.3	1.3	6	16.7	0.7
		平年	—	45.0	1.3	—	42.1	1.2
	9・3～4	29年	3	0.0	0.0	—	—	—
		28年	2	0.0	0.0	—	—	—
	丹後	6・3～4	29年	9	11.1	0.2	9	22.2
28年			9	11.1	0.1	9	33.3	1.9
平年			—	8.9	0.2	—	46.1	2.6
7・3～4		29年	9	0.0	0.0	9	44.4	14.4
		28年	9	0.0	0.0	9	22.2	1.7
		平年	—	10.8	0.2	—	37.3	2.5
8・3～4		29年	9	77.8	1.1	9	33.3	1.3
		28年	9	44.4	0.9	9	33.3	1.0
		平年	—	42.8	1.0	—	31.0	1.0
9・3～4		29年	0	—	—	—	—	—
		28年	0	—	—	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシカメムシ	ホソハラカメムシ	クモヘリカメムシ	コハネヒョウタンナガカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカシバカスミカメ	その他
29年	1.8	4.2	9.6	4.2	0.0	10.2	46.7	23.4
28年	8.9	14.8	19.3	7.4	0.0	5.9	34.8	8.9
27年	2.5	9.9	12.3	39.5	0.0	7.4	22.2	6.2
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0

* 種構成割合は本田と畦畔における20回振りすくい取りの平均値。

ト イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6月から丹後地域を中心に発生を確認したが、7月には山城地域で平年比やや多い発生となった。

ナ フタオビコヤガ

南丹及び丹後地域において6月～8月に発生を認めた。

ニ イネクロカメムシ

本田では発生を認めなかった。

ヌ スクミリングガイ

山城及び南丹地域の一部で発生を認めた。

(2)麦類 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名	麦の種類	4月	5月
赤かび病	二条大麦	(-)	並(-)
	小麦	-	多
うどんこ病	二条大麦	(-)	(-)
	小麦	(-)	(-)

-:調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

麦の種類	調査時期 (月・半月)	年次	赤かび病			うどんこ病		
			発病穂率 (%)	発病度	確認ほ率 (%)	発斑面積率 (%)	発病茎率 (%)	確認ほ率 (%)
二条大麦	4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		28年	-	-	-	-	-	-
		平年	-	-	-	-	0.0	0.0
	5・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
小麦	4・3~4	29年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		28年	-	-	-	-	-	-
		平年	-	-	-	-	0.0	0.0
	5・3~4	29年	0.7	0.1	16.7	0.0	0.0	0.0
		28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	0.04	0.01	1.0	-	0.0	0.0

注)調査場所:(二条大麦)亀岡市、(小麦)綾部市、福知山市、南丹市

(3) 黒大豆

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(茨)	全期間
モザイク病	並	—	—	—	並
べと病	—	やや多	多	—	多
葉焼病	多	並	やや多	—	やや多
ハダニ類	やや多	やや多	並	—	やや多
アブラムシ類	並(-)	並(-)	少	—	少
フタジビハムシ	並	多	やや多	やや少	やや多
吸実性カメシ類	並(-)	並	並	—	並
ハスモンヨトウ	多	並	並	—	並
サヤムシガ類	多	並	やや少	—	やや多
食葉性鱗翅目幼虫	並(-)	少	(+)	—	少
チョウ目害虫	—	—	—	やや少	

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病			べと病			葉焼病		
		発病 株率 (%)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	発病度 (指数)	確認 ほ率 (%)	発病 株率 (%)	発病度 (指数)	確認 ほ率 (%)	
7・3~4	29年	5.3	62.5	—	—	—	3.5	0.88	25.0	
	28年	6.3	50.0	—	—	—	0.0	0.00	0.0	
	平年	7.3	59.2	—	—	—	0.5	0.13	5.0	
8・3~4	29年	—	—	25.0	6.25	25.0	11.0	2.75	25.0	
	28年	—	—	43.5	10.75	75.0	6.5	1.63	25.0	
	平年	—	—	8.9	1.61	26.3	11.9	2.51	53.8	
9・3~4	29年	—	—	72.5	18.25	75.0	73.5	18.63	100.0	
	28年	—	—	69.0	17.75	75.0	46.0	11.50	50.0	
	平年	—	—	41.5	9.72	65.0	55.7	13.46	80.0	

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			フタジビハムシ		
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
7・3~4	29年	1.0	0.1	25.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	12.5
	28年	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5
	平年	0.5	0.1	11.3	0.5	0.3	8.8	0.6	0.2	12.5
8・3~4	29年	20.5	67.0	62.5	0.0	0.0	0.0	4.5	1.1	62.5
	28年	24.5	19.9	87.5	0.5	0.3	12.5	0.5	0.1	12.5
	平年	10.6	29.3	43.8	0.3	0.9	3.8	1.2	0.4	20.0
9・3~4	29年	16.5	48.5	50.0	2.5	2.4	25.0	16.5	6.8	50.0
	28年	24.0	41.4	87.5	8.5	10.1	50.0	6.5	2.0	37.5
	平年	19.5	73.6	72.5	16.3	31.7	72.5	10.8	4.1	62.5

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類					ハスモンヨトウ				食葉性鱗翅目幼虫	
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	寄生株 確認 ほ率 (%)	被害株 確認 ほ率 (%)	200莢当 虫数 (頭)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	寄生株 確認 ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a	寄生 株率 (%)	確認 ほ率 (%)
7・3~4	29年	6.5	20.5	50.0	75.0	—	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0
	28年	5.5	10.5	75.0	100.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.8	11.0	43.8	81.3	—	0.1	0.0	1.3	0.0	0.4	7.5
8・3~4	29年	2.0	19.5	25.0	62.5	—	1.0	0.3	25.0	1.4	0.0	25.0
	28年	2.0	22.0	50.0	100.0	—	4.0	2.4	50.0	2.0	1.5	50.0
	平年	3.2	19.3	41.3	81.3	—	1.5	1.2	27.5	1.0	3.5	41.1
9・3~4	29年	0.0	—	0.0	—	0.0	3.0	1.0	37.5	2.9	12.0	25.0
	28年	0.0	—	0.0	—	0.0	22.0	15.4	50.0	12.0	10.0	75.0
	平年	0.9	—	20.0	—	0.5	5.4	3.1	37.5	4.3	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	吸実性カメシ類		
		寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
7・3~4	29年	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.0	1.3
8・3~4	29年	0.5	0.4	25.0
	28年	1.0	0.4	25.0
	平年	1.9	0.5	27.5
9・3~4	29年	2.0	0.9	37.5
	28年	1.0	1.3	25.0
	平年	1.9	0.8	27.5

調査時期 (月・半旬)	年次	フタジビハムシ		チョウ目害虫	
		食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)	食害 莢率 (%)	確認 ほ率 (%)
10・3~4	29年	4.6	75.0	0.4	62.5
	28年	2.8	100.0	1.0	50.0
	平年	11.9	95.0	2.4	81.1

(4)小豆
病害の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(英)	全期間
モザイク病	やや多	—	—	やや多
うどんこ病	—	並(-)	—	並(-)
炭そ病	並(-)	並	—	並
さび病	多	多	—	多
ハダニ類	並(-)	並	—	並
アブラムシ類	並	やや多	—	やや多
ハスモンヨトウ	やや多	並	—	やや多
サヤムシガ類	並	並	—	並
アズキノメイガ	—	並	—	並
マメノメイガ	—	やや少	—	やや少
オオタバコガ	—	やや少	—	やや少
食葉性鱗翅目幼虫	(+)	(+)	—	(+)
チョウ目害虫	—	—	少	—

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		うどんこ病		炭そ病		さび病	
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)
8・3~4	29年	0.3	35.7	—	—	0.0	0.0	2.6	14.3
	28年	0.6	36.4	—	—	0.0	0.0	0.4	9.1
	平年	1.0	38.4	—	—	0.1	2.2	0.6	4.8
9・3~4	29年	—	—	0.0	0.0	0.7	0.0	49.8	72.7
	28年	—	—	0.0	0.0	6.2	27.3	1.1	18.2
	平年	—	—	0.1	2.0	5.2	21.9	13.6	27.1

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	白変葉箇所数 /10a	寄生株確認ほ率 (%)
8・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	14.2	0.6	0.1	0.9	7.1
	28年	1.1	0.5	18.2	5.5	2.5	45.6	0.4	0.1	0.4	9.1
	平年	0.2	0.1	3.1	0.9	0.4	14.2	0.3	0.1	0.2	7.5
9・3~4	29年	3.3	0.8	30.0	1.1	0.3	20.0	2.9	0.7	0.5	50.0
	28年	19.6	49.3	81.8	0.7	0.3	18.2	12.4	5.1	1.1	72.8
	平年	5.2	10.9	35.7	0.5	0.3	12.7	4.6	1.8	1.2	47.0

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類				アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株確認ほ率 (%)	被害株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	200花・莢当虫数 (頭)	寄生株確認ほ率 (%)
8・3~4	29年	0.0	0.9	0.0	14.3	—	—	—	—	—	—
	28年	0.4	1.1	9.1	18.2	—	—	—	—	—	—
	平年	0.5	0.7	11.0	9.6	—	—	—	—	—	—
9・3~4	29年	0.0	4.7	0.0	63.6	1.5	1.8	36.4	2.9	0.7	45.6
	28年	0.4	2.9	9.1	36.4	9.5	10.9	54.5	34.9	22.1	81.8
	平年	0.8	2.5	16.2	29.6	2.2	3.1	38.1	12.6	4.6	56.2

調査時期 (月・半旬)	年次	オオタバコガ		食葉性鱗翅目幼虫	
		寄生株率 (%)	寄生株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株確認ほ率 (%)
8・3~4	29年	—	—	3.4	50.0
	28年	—	—	2.5	36.4
	平年	—	—	—	—
9・3~4	29年	1.8	36.4	3.3	50.0
	28年	4.0	36.4	1.5	18.2
	平年	5.9	51.8	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3~4	29年	7.6	100.0
	28年	16.7	100.0
	平年	20.7	100.0

(5) ナシ
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	並(-)	少	並	並	やや多	多	やや多
黒星病	やや多	並	やや多	多	多	やや多	多
赤星病	並	少	やや少(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)	並
うどんこ病	-	並	並(-)	並	やや多	並	並
ハダニ類	並(-)	並	やや少	やや多	並	並	並
アブラムシ類	(+)	(+)	(-)	(+)	-	-	-
ハマキムシ類	(-)	(-)	(+)	(-)	-	-	-
カメムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	-	-	-	並
シンクイムシ類	-	並(-)	並(-)	並(-)	-	-	並

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5~10月) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病		うどんこ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3~4	29年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.2	18.2	-	-
	28年	0.8	40.0	0.0	0.0	0.1	9.1	-	-
	平年	1.4	42.3	0.4	5.8	0.3	7.3	-	-
6・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	3.8	40.0	1.8	40.0	0.0	9.1	0.1	9.1
	平年	3.0	58.6	1.8	22.3	0.6	25.9	0.0	3.4
7・3~4	29年	3.0	60.0	3.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	13.6	60.0	1.0	20.0	0.0	0.0	0.1	9.1
	平年	3.6	56.7	2.0	25.5	0.6	18.3	0.7	8.8
8・3~4	29年	5.6	100.0	3.0	20.0	0.0	0.0	1.9	27.3
	28年	5.2	80.0	1.0	20.0	0.2	9.1	2.8	27.3
	平年	6.4	80.3	0.3	11.0	0.3	15.5	2.4	18.8
9・3~4	29年	13.2	100.0	7.4	40.0	0.0	0.0	11.3	54.5
	28年	7.8	80.0	4.8	60.0	0.1	9.1	12.0	54.5
	平年	9.5	87.0	0.9	23.7	0.2	11.3	6.5	34.4
10・3~4	29年	24.6	80.0	1.4	20.0	0.0	0.0	33.9	81.8
	28年	14.6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.3	90.9
	平年	10.3	82.8	0.6	16.2	0.1	7.5	26.7	82.5

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		アブラムシ類		ハマキムシ類		カメムシ類		シンクイムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3~4	29年	0.0	0.0	5.3	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0	-	-
	平年	0.8	17.5	-	-	-	-	0.0	0.0	-	-
6・3~4	29年	1.8	63.6	13.5	72.7	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	1.2	27.3	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.5	40.1	-	-	-	-	0.2	4.0	0.0	0.0
7・3~4	29年	1.5	27.3	0.0	0.0	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.6	18.2	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	19.7	61.2	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3~4	29年	13.5	54.5	0.1	9.1	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	28年	13.0	100.0	-	-	-	-	-	-	0.4	18.2
	平年	11.7	62.8	-	-	-	-	-	-	0.1	3.6
9・3~4	29年	7.9	54.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	28年	5.8	72.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	10.0	56.7	-	-	-	-	-	-	-	-
10・3~4	29年	2.7	45.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	28年	2.9	36.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	6.2	48.0	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) ブドウ 病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	並	やや少	並	やや少	やや少
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
灰色かび病	(-)	(-)	-	-	-	
さび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
褐斑病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
ハダニ類	やや多	多	やや多	並(-)	並(-)	並
チャノキイロアザミウマ	-	(+)	-	-	-	

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果(ブドウ) (%)

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		うどんこ病		灰色病		さび病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病花(果)穂率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
6・3~4	29年	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.8	33.3	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	平年	0.9	20.7	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
7・3~4	29年	1.0	33.3	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	28年	5.0	66.7	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	平年	5.7	42.0	0.0	2.5	-	-	0.0	0.0
8・3~4	29年	4.0	66.7	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	28年	3.3	66.7	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	平年	13.6	63.0	0.2	6.3	-	-	0.9	10.4
9・3~4	29年	12.3	100.0	0.0	0.0	-	-	1.7	33.3
	28年	8.3	83.3	0.0	0.0	-	-	2.5	50.0
	平年	21.3	68.3	0.8	16.3	-	-	7.1	43.3

調査時期 (月・半月)	年次	褐斑病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3~4	29年	-	-	0.2	16.7	-	-
	28年	-	-	0.0	0.0	-	-
	平年	-	-	0.0	0.0	-	-
6・3~4	29年	0.0	0.0	0.8	33.3	0.7	16.7
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	0.1	6.0	-	-
7・3~4	29年	0.0	0.0	1.2	33.3	-	-
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.0	0.0	0.1	2.0	-	-
8・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	2.5	2.5	0.8	7.0	-	-
9・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	0.2	6.3	0.3	7.0	-	-

(7)カキ
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	やや多	やや少	やや多	やや多	並	並	やや多
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
炭そ病	(-)	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(+)	並(-)
カキダアザミウマ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
チャクイアザミウマ	—	—	やや多	並(-)	(-)	やや少	並
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並	並
ハダニ類	(-)	(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	—
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カメムシ類	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハマキムシ類	—	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果(カキ、5～10月)

調査時期 (月・半旬)	年次	(%)						
		うどんこ病			落葉病		炭そ病	
		発病率	ほ場率	発病率	ほ場率	発病新梢率	被害果率	ほ場率
5・3～4	29年	1.3	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	28年	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	平年	0.5	24.7	—	—	—	—	—
6・3～4	29年	7.3	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	28年	17.7	100.0	—	—	—	—	—
	平年	15.5	100.0	—	—	—	—	—
7・3～4	29年	27.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	18.3	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	24.4	100.0	0.1	4.0	—	0.0	0.0
8・3～4	29年	33.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	18.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	26.1	100.0	0.4	18.7	—	0.1	6.7
9・3～4	29年	28.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	28年	31.3	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	28.7	100.0	1.3	12.7	—	0.2	13.3
10・3～4	29年	37.3	100.0	0.0	0.0	—	0.0	33.3
	28年	37.3	100.0	0.0	0.0	—	0.7	33.3
	平年	41.0	96.7	6.9	55.3	—	1.0	25.0

調査時期 (月・半旬)	年次	カキダアザミウマ			チャクイアザミウマ		カイガラムシ類		
		被害率	被害果率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	29年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	28年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.2	—	11.3	—	—	0.0	—	3.3
6・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.1	0.0	7.3	—	—	—	0.1	3.3
7・3～4	29年	—	0.0	0.0	0.7	33.3	—	0.0	0.0
	28年	—	0.0	33.3	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.7	15.3	0.2	8.7	—	0.7	15.3
8・3～4	29年	—	0.7	33.3	0.0	0.0	—	2.7	66.7
	28年	—	0.7	33.3	0.0	0.0	—	2.7	66.7
	平年	—	0.1	3.3	2.8	36.7	—	0.7	16.0
9・3～4	29年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	28年	—	0.0	0.0	1.3	66.7	—	2.0	100.0
	平年	—	0.4	16.7	5.2	60.0	—	1.3	38.7
10・3～4	29年	—	0.0	0.0	0.7	33.3	—	0.7	33.3
	28年	—	0.0	0.0	2.0	66.7	—	0.7	33.3
	平年	—	0.1	6.7	7.5	73.3	—	2.2	38.3

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		カキノヘタムシガ		カメムシ類		ハマキムシ類	
		寄生率	ほ場率	被害率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	ほ場率
5・3～4	29年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	28年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
6・3～4	29年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
7・3～4	29年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
8・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	0.0	3.3	0.3	6.7	—	—
9・3～4	29年	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	1.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	0.1	6.7	0.4	12.0	—	—
10・3～4	29年	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	0.0	0.0	1.0	25.0	—	—

(8)カンキツ

病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
かいよう病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒点病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	やや少(-)	少(-)	やや少	やや少	やや多	並	並
ヤノネカイガラムシ	並	並(-)	並	並(-)	並	やや少	並
ミカンハモグリガ	やや多	少(-)	やや多	並(-)	やや少	並	並
アブラムシ類	—	(-)	(+)	(-)	(-)	(+)	

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病			かいよう病			黒点病	
		発病葉率	発病果率	ほ場率	発病葉率	発病果率	ほ場率	発病果率	ほ場率
4・3～4	29年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	28年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
5・3～4	29年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	28年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
6・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ		アブラムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生新梢率	ほ場率
4・3～4	29年	0.0	0.0	1.5	—	50.0	3.5	100.0	—	—
	28年	3.0	66.7	9.3	—	100.0	3.3	100.0	—	—
	平年	4.6	50.0	1.8	—	43.3	1.6	53.3	—	—
5・3～4	29年	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	1.3	33.3	0.3	—	33.3	0.0	0.0	—	—
	平年	10.5	76.7	0.8	—	30.0	2.0	43.3	—	—
6・3～4	29年	0.7	33.3	0.3	0.0	33.3	1.0	66.7	5.3	33.3
	28年	18.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	11.8	76.7	0.2	0.0	16.7	0.7	16.7	—	—
7・3～4	29年	1.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	66.7	—	—
	平年	8.7	60.0	0.2	0.0	6.7	0.6	33.3	—	—
8・3～4	29年	36.3	100.0	0.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	56.3	100.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	—	—
	平年	13.7	63.3	0.4	0.0	23.3	1.9	43.3	—	—
9・3～4	29年	20.7	100.0	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3	22.0	100.0
	28年	11.0	66.7	0.7	0.0	33.3	0.0	33.3	—	—
	平年	20.6	80.0	0.9	0.1	40.0	3.1	66.7	—	—

(9) 茶 樹

生育状況

1月中旬～3月下旬の平均気温が平年より低く、萌芽が平年より遅れたため、本年の一番茶萌芽宣言は、平年より2日遅い4月7日となった。また、弧状仕立て園の萌芽期は、平年より6日遅い4月15日となった。

萌芽以降、4月上旬～5月上旬の平均気温が平年並か平年より低く推移し、新芽の生育速度が大幅に早まることはなかったため、萌芽の遅れがそのまま影響して、平年同時期と比べて、新芽長は小さく、開葉数は少なかった。

(宇治茶部発表の「平成29年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

病害虫発生状況

ア 炭そ病(指定)

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	多	やや多	並	並	並	やや少
丹波	並	並	多	多	並	やや多	多
丹後	並	並	並	並	多	やや多	やや多

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	20.3	81.8	0.8	16.7	2.0	100.0
	28年	3.7	45.5	42.0	100.0	1.5	75.0
	平年	1.3	27.7	5.0	31.7	1.8	52.5
5. 3 ~ 5. 4	29年	2.4	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.4	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	18.0	0.2	8.3	0.5	13.9
6. 3 ~ 6. 4	29年	4.6	78.9	17.8	83.3	0.0	0.0
	28年	4.0	36.4	4.7	83.3	0.0	0.0
	平年	3.1	36.6	2.9	61.0	1.1	30.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.1	5.3	30.2	80.0	0.3	33.3
	28年	0.3	17.6	4.0	66.7	1.0	50.0
	平年	0.6	16.2	2.8	53.7	0.6	27.5
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.1	9.1	3.8	83.3	21.3	100.0
	28年	0.0	0.0	10.5	50.0	1.0	75.0
	平年	1.1	15.7	10.8	46.3	1.1	35.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.6	18.2	7.8	33.3	0.8	75.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	25.0
	平年	2.1	22.9	3.8	48.3	0.8	10.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.3	22.7	7.0	66.7	14.0	100.0
	28年	1.8	27.2	1.3	66.7	48.3	100.0
	平年	2.9	23.7	1.3	33.3	9.7	27.5

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	やや多	やや多	やや多	並	並
丹波	並	並	多	並	多	やや多	多
丹後	並	並	並	並	多	多	並

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.000	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0
	平年	0.005	0.5	0.02	1.7	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.02	1.7	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.10	5.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.02	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.10	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.10	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	2.0	0.2	0.7	0.1	7.5
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.1	4.5	0.5	16.7	0.8	50.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	平年	0.2	2.3	0.1	7.0	0.1	5.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.0	0.0	0.5	33.3	0.5	75.0
	28年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.5	25.0
	平年	0.05	1.8	0.1	6.7	0.1	2.5
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.0	0.0	1.7	66.7	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.9	0.1	6.7	0.0	0.0

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	多	並	並	並	並	並
丹波	多	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	多	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	0.3	31.8	0.2	16.7	0.0	0.0
	28年	0.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.04	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	多	多	並	やや多
丹波	並	並	並	並	並	多	多
丹後	並	並	並	並	並	並	やや多

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.5	0.1	3.3	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.10	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.1	9.1	0.5	50.0	0.0	0.0
	平年	0.04	2.8	0.1	8.3	0.1	2.5
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.8	13.6	1.8	66.7	0.0	0.0
	28年	0.9	13.6	0.0	0.0	0.0	25.0
	平年	0.6	12.7	0.5	21.7	0.0	2.5
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.5	13.6	3.7	83.3	3.8	75.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	25.0
	平年	0.2	4.9	0.1	6.7	0.6	7.5

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	やや多
丹波	並	並	多	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	6.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	0.9	0.03	1.7	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.00	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	2.6	0.0	1.7	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	15.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.7	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.05	4.5	0.2	16.7	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.5	16.7	0.0	0.0
	平年	1.6	1.8	2.0	10.0	0.0	0.0

カ 網もち病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の平年比較

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	少	少	やや少	多	並	少	少	やや少
丹波	並	やや少	やや少	並	並	やや多	少	やや少	並
丹後	並	並	並	並	並	並	やや少	並	並

表14 越冬状況 平成29年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	29年	0.14	0.00	9.1	0.17	0.17	16.7	0.00	0.00	0.0
	28年	0.95	0.05	31.8	0.00	0.00	0.0	0.50	0.00	50.0
	平年	1.03	0.33	29.8	0.55	0.14	18.3	0.21	0.00	10.7
3.5	29年	0.40	0.00	13.6	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	28年	1.20	0.50	36.4	1.00	0.00	33.3	0.50	0.00	25.0
	平年	1.90	1.10	35.4	1.70	0.90	31.7	1.10	0.20	8.3

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生ほ場 率 (%)
4.3 ~ 4.4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0
	28年	0.7	4.8	31.8	0.0	0.0	0.0	0.5	6.0	25.0
	平年	1.4	7.8	27.4	1.5	4.9	23.3	0.4	3.3	7.5
5.3 ~ 5.4	29年	0.7	1.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	2.1	5.4	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	4.9	23.9	0.2	0.4	5.0	0.9	4.7	19.4
6.3 ~ 6.4	29年	15.7	79.6	50.0	1.0	1.0	33.3	0.5	0.5	25.0
	28年	10.1	61.2	66.7	1.0	1.3	16.7	7.0	42.0	50.0
	平年	9.6	48.6	60.3	3.2	17.1	35.0	6.1	25.6	40.0
7.3 ~ 7.4	29年	2.5	5.7	45.0	5.3	11.0	66.7	0.5	0.5	25.0
	28年	0.1	0.1	10.0	0.7	0.7	16.7	0.7	0.7	33.3
	平年	2.3	4.2	28.0	3.7	14.4	38.0	2.9	11.2	48.3
8.3 ~ 8.4	29年	0.3	0.8	9.1	0.0	0.0	0.0	2.0	14.5	50.0
	28年	4.6	28.1	36.4	14.0	41.7	83.3	1.5	5.5	50.0
	平年	3.6	10.6	33.8	4.2	13.4	53.3	6.4	26.5	52.5
9.3 ~ 9.4	29年	0.2	0.3	9.1	0.3	0.3	16.7	0.5	0.5	25.0
	28年	1.5	7.7	18.2	1.3	2.0	16.7	6.5	20.5	75.0
	平年	4.5	17.5	35.5	2.3	7.0	33.3	7.7	72.7	40.0
10.3 ~ 10.4	29年	0.0	0.0	4.5	0.3	2.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	28年	0.1	0.1	4.5	0.3	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	5.4	15.0	1.4	4.5	25.0	0.4	1.0	12.5

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	並	並	並	並	やや多	並
丹波	並	並	やや多	少	並	やや多	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生は場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生は場 率 (%)	幼虫・蛹 数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生は場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	0.1	0.2	13.6	0.0	1.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.1	1.4	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.5	8.3	0.0	0.02	1.7	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.01	1.7	0.02	0.02	1.7	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.0	0.3	15.8	1.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.3	7.8	83.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.6	11.0	0.5	3.4	33.7	0.1	0.6	2.5
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.1	0.1	5.3	0.2	0.2	20.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.5	0.5	17.6	3.8	7.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.4	7.8	2.1	4.0	50.0	0.3	0.7	2.5
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.0	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	4.3	4.6	13.6	2.2	3.7	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	0.9	10.5	0.6	1.2	16.7	0.0	2.3	7.5
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.1	0.7	27.3	0.2	8.3	50.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.2	29.3	36.4	0.0	1.5	50.0	0.0	0.5	25.0
	平年	0.1	4.7	25.2	0.1	2.6	28.3	0.0	0.1	5.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	0.0	0.05	4.5	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	1.0	13.6	0.3	1.5	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.6	14.4	0.2	1.5	26.7	0.0	0.0	0.0

ケ チャノホソガ (指定)

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	やや少	並	やや少	少	並	並
丹波	並	やや多	やや多	並	並	並	並
丹後	並	やや多	並	並	やや少	多	やや多

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	二角葉巻 数 (/㎡)	発生は場 率 (%)	寄生芽率 (%)	二角葉巻 数 (/㎡)	発生は場 率 (%)	寄生芽率 (%)	二角葉巻 数 (/㎡)	発生は場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	—	0.3	4.5	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	28年	0.3	0.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	0.1	10.6	0.3	0.02	5.0	5.0	0.1	7.5
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	40.0	10.0	0.0	100.0
	28年	0.1	0.7	15.8	0.0	2.7	50.0	0.0	2.0	33.3
	平年	1.7	0.5	22.2	0.1	0.4	13.3	0.8	0.2	14.8
6. 3 ~ 6. 4	29年	5.0	0.0	10.5	—	0.2	16.7	—	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	47.5	0.2	50.0	24.0	1.3	100.0
	平年	6.5	0.1	22.9	29.4	0.2	22.0	32.6	0.3	32.5
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.3	0.1	10.5	0.0	0.0	0.0	18.7	0.0	66.7
	28年	0.0	0.0	0.0	9.2	0.7	16.7	40.0	0.0	50.0
	平年	8.8	1.1	47.2	2.7	0.6	36.0	19.3	5.2	61.1
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.0	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	28年	0.2	0.1	14.3	0.7	0.0	33.3	60.0	20.3	100.0
	平年	4.0	1.0	37.6	5.7	0.2	23.3	20.3	3.4	77.5
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.1	2.3	18.2	3.2	0.2	66.7	2.7	6.0	75.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	0.0	100.0
	平年	11.4	4.8	53.6	2.1	0.6	40.7	1.7	0.3	40.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	7.0	1.6	38.9	8.0	2.7	66.7	41.0	7.0	100.0
	28年	4.0	0.5	22.7	7.0	1.2	33.3	0.0	0.8	50.0
	平年	10.4	9.4	46.0	21.4	2.7	45.0	5.1	3.3	35.0

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	—	少	やや少	やや少	やや少	並	やや多
丹波	—	やや少	—	やや多	並	やや少	やや多
丹後	—	並	—	多	少	多	並

表21 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28年	1.7	1.7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	8.1	1.6	56.5	2.7	0.0	25.0	14.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.5	0.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.7	0.8	21.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	33.3
	平年	5.0	7.0	49.8	1.1	0.5	25.7	1.1	0.1	34.3
6. 3 ~ 6. 4	29年	3.0	0.0	100.0	—	—	—	—	—	—
	28年	1.1	0.6	15.4	11.0	13.0	100.0	12.0	26.0	100.0
	平年	20.5	8.9	81.3	20.2	9.0	92.6	11.6	7.6	81.3
7. 3 ~ 7. 4	29年	37.7	40.4	100.0	17.0	8.0	100.0	54.7	8.0	100.0
	28年	54.4	98.7	90.9	2.8	0.8	40.0	10.0	10.0	100.0
	平年	45.4	129.0	98.2	12.7	8.5	78.2	9.2	6.6	72.2
8. 3 ~ 8. 4	29年	22.3	6.4	95.5	11.3	6.0	100.0	14.0	8.0	100.0
	28年	27.2	13.2	95.2	12.0	8.3	66.7	54.0	95.0	100.0
	平年	31.3	26.0	91.0	18.0	21.3	82.7	50.2	128.4	95.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	26.3	15.5	95.5	7.6	2.4	100.0	34.0	42.7	100.0
	28年	30.8	32.0	86.4	6.0	3.7	83.3	18.0	5.0	100.0
	平年	20.2	15.5	82.5	14.2	7.6	81.3	26.0	16.2	95.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	42.9	101.1	100.0	16.0	27.0	100.0	15.0	1.0	100.0
	28年	26.5	24.6	76.9	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	75.0
	平年	25.1	55.4	85.6	14.3	5.3	74.2	25.1	9.6	91.7

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	—	やや多	多	並	やや多	並	並
丹波	—	やや多	—	並	並	やや少	並
丹後	—	並	—	多	やや多	並	やや多

表23 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	0.0	10.2	0.2	0.0	8.4	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.3	0.3	12.5	0.4	0.4	20.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.8	0.7	26.3	1.3	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.2	9.1	0.2	0.2	8.3	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	5.0	5.0	50.0	—	—	—	—	—	—
	28年	0.6	0.8	15.4	1.0	62.0	100.0	4.0	2.0	100.0
	平年	0.9	0.8	16.0	8.7	17.7	79.6	0.5	0.3	12.5
7. 3 ~ 7. 4	29年	4.4	1.0	57.1	5.0	3.0	100.0	20.0	26.7	100.0
	28年	12.2	15.6	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.0	5.3	40.9	7.0	13.3	45.0	0.9	0.8	11.1
8. 3 ~ 8. 4	29年	7.5	3.4	50.0	6.7	7.3	66.7	2.0	2.0	100.0
	28年	10.4	2.0	33.3	0.7	1.0	33.3	3.5	8.0	100.0
	平年	4.5	3.1	32.0	8.0	10.2	55.7	1.2	1.2	25.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	4.3	2.0	54.5	4.8	2.8	100.0	6.0	10.7	66.7
	28年	3.9	5.5	54.5	9.0	9.3	83.3	26.0	31.0	100.0
	平年	4.3	5.8	47.4	10.7	14.1	62.7	10.1	9.3	40.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	6.9	7.7	38.9	16.0	33.0	50.0	13.0	6.0	100.0
	28年	5.5	3.8	46.1	3.5	3.5	100.0	1.5	1.5	50.0
	平年	5.5	8.5	36.4	10.0	10.1	56.7	5.7	6.3	46.3

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	—	やや多	並	やや少	並	やや多	やや多
丹波	—	やや多	—	やや少	並	並	やや多
丹後	—	並	—	並	やや多	並	やや多

表25 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100 芽)	発生は場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28年	0.6	0.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	7.1	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	1.5	10.8	37.5	0.4	4.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.1	1.3	5.3	1.0	0.8	16.7	2.0	1.0	66.7
	平年	0.7	6.3	16.6	0.2	1.1	5.0	0.2	0.1	7.4
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	28年	0.5	2.0	23.1	1.0	14.0	50.0	2.0	10.0	100.0
	平年	0.7	5.2	15.3	0.9	3.7	26.3	1.5	5.9	43.8
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.4	3.2	20.0	4.0	12.0	100.0
	平年	0.2	1.5	9.5	1.0	9.6	22.3	1.4	14.6	41.7
8. 3 ~ 8. 4	29年	0.5	4.2	22.7	0.7	1.3	33.3	2.0	40.0	100.0
	28年	2.0	15.6	14.3	0.0	0.0	0.0	8.5	83.0	75.0
	平年	0.6	3.7	13.9	0.6	3.4	13.3	1.6	12.3	25.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	1.8	19.5	31.8	1.2	20.8	66.7	2.7	8.0	100.0
	28年	1.4	11.4	27.3	2.7	13.7	50.0	3.0	11.0	50.0
	平年	1.4	11.4	27.9	3.0	120.9	52.3	1.9	9.6	47.5
10. 3 ~ 10. 4	29年	1.0	4.3	22.2	3.0	13.0	100.0	3.0	14.0	50.0
	28年	0.6	7.2	23.1	7.0	36.0	100.0	5.0	19.5	75.0
	平年	0.6	3.6	22.2	3.2	18.0	53.3	3.3	45.2	39.8

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	—	少	やや少	やや多	やや多	やや多	やや多
丹波	—	やや少	少	やや少	やや多	やや多	多
丹後	—	やや多	並	やや少	少	少	並

表27 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生は場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生は場 率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生は場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	—	0.04	4.5	—	0.2	16.7	—	0.0	0.0
	28年	0.0	1.6	13.6	0.0	1.0	33.3	0.0	0.3	25.0
	平年	0.8	0.3	7.5	3.8	1.2	28.3	1.0	0.7	20.0
5. 3 ~ 5. 4	29年	0.3	0.0	5.6	2.0	0.6	60.0	2.0	23.5	100.0
	28年	1.6	0.1	5.3	0.3	38.3	33.3	26.0	46.7	100.0
	平年	0.8	1.0	18.9	2.5	6.9	56.3	21.8	34.1	91.7
6. 3 ~ 6. 4	29年	0.0	0.0	0.0	—	0.2	16.7	—	17.8	50.0
	28年	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	50.0	2.0	14.5	75.0
	平年	1.0	0.8	18.6	1.6	1.9	39.0	18.3	71.5	95.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	0.3	2.6	26.3	8.0	2.0	50.0	10.7	11.0	66.7
	28年	0.0	2.5	27.3	0.8	0.0	20.0	6.0	0.0	50.0
	平年	0.4	1.5	25.4	7.2	9.0	58.7	31.7	48.7	95.0
8. 3 ~ 8. 4	29年	5.6	2.2	68.2	14.7	19.2	83.3	14.0	1.5	50.0
	28年	2.0	0.6	57.1	4.3	4.7	83.3	5.5	8.0	100.0
	平年	2.4	1.5	51.3	14.5	14.3	86.7	23.2	26.4	92.5
9. 3 ~ 9. 4	29年	0.4	2.5	50.0	2.8	12.0	83.3	0.0	0.0	0.0
	28年	1.5	3.6	40.9	1.3	1.3	66.7	18.0	6.8	100.0
	平年	1.0	1.2	28.5	1.3	3.0	43.3	7.0	22.9	90.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	1.7	0.5	36.4	4.0	14.0	66.7	0.0	12.5	25.0
	28年	2.6	1.3	31.8	2.5	2.2	66.7	25.0	0.0	50.0
	平年	1.3	0.7	25.3	3.2	4.6	55.0	8.7	13.9	75.0

セ クワシロカイガラムシ

表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	並	やや少	並	やや少
丹波	並	少	少	並	少	並	やや少
丹後	並	並	並	やや多	多	多	並

表29 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	24.1	72.7	10.8	83.3	32.5	100.0
	28年	0.9	9.1	9.2	66.7	50.0	100.0
	平年	17.5	52.4	7.1	50.0	18.0	47.5
5. 3 ~ 5. 4	29年	26.7	55.6	0.0	0.0	7.5	100.0
	28年	6.3	52.6	17.5	50.0	35.0	100.0
	平年	13.3	55.9	10.7	46.7	13.6	30.6
6. 3 ~ 6. 4	29年	20.9	63.6	2.3	33.3	18.8	75.0
	28年	14.8	76.2	44.5	100.0	67.5	100.0
	平年	21.4	68.6	29.0	71.7	23.4	35.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	16.3	42.1	10.8	50.0	48.3	100.0
	28年	10.3	55.6	7.5	66.7	21.7	50.0
	平年	15.9	61.2	21.4	63.3	11.0	22.5
8. 3 ~ 8. 4	29年	12.5	50.0	4.2	50.0	76.3	100.0
	28年	49.0	72.7	30.8	83.3	46.3	100.0
	平年	18.4	59.5	24.4	69.7	19.7	47.5
9. 3 ~ 9. 4	29年	22.5	72.7	10.0	50.0	42.5	75.0
	28年	24.1	81.8	12.5	100.0	10.0	75.0
	平年	19.4	66.2	8.8	56.7	8.8	42.5
10. 3 ~ 10. 4	29年	13.0	63.6	11.7	66.7	21.3	100.0
	28年	30.0	81.8	29.2	83.3	50.0	100.0
	平年	22.0	68.6	26.6	71.7	16.9	55.0

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場 率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	29年	13.3	7.0	63.6	3.0	1.5	33.3	3.5	2.0	75.0
	28年	13.2	6.6	63.6	10.3	5.3	83.3	61.0	26.8	100.0
	27年	18.3	9.9	83.7	19.2	11.0	44.4	53.3	28.2	88.9
5. 3 ~ 5. 4	29年	19.0	11.5	55.6	3.6	1.8	80.0	24.0	13.8	100.0
	28年	18.4	11.4	68.4	3.3	1.7	66.7	36.7	24.7	100.0
	27年	37.3	21.8	73.7	33.7	20.3	83.3	49.0	32.0	100.0
6. 3 ~ 6. 4	29年	17.2	9.7	72.7	2.7	1.3	66.7	1.0	0.8	25.0
	28年	33.4	21.4	90.0	6.7	3.3	83.3	44.5	34.3	75.0
	27年	31.5	21.4	80.0	24.0	14.7	100.0	73.0	53.8	100.0
7. 3 ~ 7. 4	29年	36.3	24.7	100.0	30.3	15.8	66.7	16.5	8.3	75.0
	28年	49.7	34.3	95.2	39.3	27.3	83.3	39.0	25.0	100.0
	27年	44.6	30.3	85.7	63.7	45.3	100.0	55.0	33.8	100.0
8. 3 ~ 8. 4	29年	6.1	3.6	50.0	8.0	4.0	50.0	7.5	4.5	100.0
	28年	42.8	15.6	77.3	6.3	21.0	66.7	30.5	20.8	100.0
	27年	23.4	19.3	86.4	13.0	9.7	66.7	52.5	33.8	100.0
9. 3 ~ 9. 4	29年	18.8	11.1	72.7	2.3	1.2	50.0	26.5	14.3	75.0
	28年	19.9	11.6	86.4	14.7	14.2	16.7	11.5	6.5	75.0
	27年	22.3	13.7	86.3	62.5	25.0	33.3	52.5	30.8	100.0
10. 3 ~ 10. 4	29年	11.9	6.9	68.2	3.3	1.7	33.3	14.5	8.0	100.0
	28年	11.6	6.8	72.7	10.7	5.3	100.0	19.5	12.0	100.0
	27年	16.5	11.0	81.9	6.0	3.0	83.3	60.0	51.3	100.0

(10)キュウリ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	露地栽培					施設栽培				
	5月	6月	7月	8月	全期間	9月	10月	11月	全期間	
べと病	並(-)	並	やや多	やや少(-)	やや多	多	やや多	多	多	
炭そ病	-	-	やや多	並(-)	やや多	多	多	多	多	
うどんこ病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並	やや多	並	並	並	
斑点細菌病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
褐斑病	(-)	(+)	並(-)	やや少(+)	並(-)	並(-)	多	並(-)	多	
モザイク病	並(-)	並(-)	多	並(-)	多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
灰色かび病	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
アブラムシ類	並	多	並	並(-)	多	並	多	並(-)	多	
ハダニ類	並	並	多	並(-)	多	並(-)	多	多	多	
ハモグリバエ類	並(-)	やや少(+)	少	少(-)	少	並	やや少	やや少	やや多	
アザミウマ類	並	並	やや多	並(-)	やや多	やや多	多	多	多	
コナジラミ類	やや多	並(-)	並(-)	やや多	やや多	並	並	多	多	
ハスモンヨトウ	(-)	-	-	-	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
ウリノメイガ	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病			炭そ病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病			モザイク病		灰色かび病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4 (露地栽培)	29年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	1.2	10.8	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4 (露地栽培)	29年	1.0	3.0	25.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	28年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	1.0	8.0	50.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	3.6	13.2	43.5	-	-	-	1.6	4.9	26.5	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	16.0	-	
7・3~4 (露地栽培)	29年	38.7	46.7	66.7	1.0	10.7	50.0	4.3	8.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.3	66.7	0.0	0.0	
	28年	32.7	44.7	50.0	11.3	22.7	50.0	0.3	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	-	-	-	
	平年	20.6	34.9	69.3	1.4	4.1	16.4	9.2	16.6	36.7	0.0	0.0	0.0	0.1	1.4	5.6	30.7	-	-	
8・3~4 (露地栽培)	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	14.3	30.7	71.7	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9	6.7	0.0	0.0	0.0	7.6	23.6	51.7	0.5	8.3	-	
9・3~4 (施設栽培)	29年	12.7	21.3	33.3	0.0	0.0	0.0	30.7	61.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	0.0	0.3	6.3	0.0	0.0	0.0	2.5	34.6	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
10・3~4 (施設栽培)	29年	6.7	13.3	100.0	0.7	2.7	66.7	24.7	38.7	100.0	0.0	0.0	2.0	4.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	28年	1.3	2.7	33.3	0.7	1.3	33.3	15.3	61.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	1.9	4.5	16.7	0.1	0.2	4.2	27.8	65.7	91.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
11・3~4 (施設栽培)	29年	44.0	62.7	100.0	0.0	5.3	66.7	42.7	64.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	28年	3.3	34.7	66.7	0.0	0.0	0.0	37.3	73.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	13.2	22.8	75.0	0.0	0.0	0.0	52.5	83.8	100.0	0.2	0.3	8.3	4.1	5.7	16.7	0.3	4.2	-	
調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハスモンヨトウ		ウリノメイガ	
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)
5・3~4 (露地栽培)	29年	0.02	4.7	100.0	0.02	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.24	30.7	100.0	0.00	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.04	2.0	33.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.19	14.0	100.0	0.01	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.10	7.7	53.3	0.02	1.1	12.5	0.1	0.5	7.5	0.33	20.0	90.0	0.00	0.2	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4 (露地栽培)	29年	0.07	3.5	75.0	0.01	1.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.15	31.0	100.0	0.00	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	28年	0.02	1.5	25.0	0.47	6.0	50.0	0.0	0.0	2.18	60.5	100.0	0.00	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	平年	0.02	1.1	31.0	0.06	1.2	17.8	2.7	12.9	58.7	1.53	43.7	86.0	0.00	0.0	2.0	-	-	-	-
7・3~4 (露地栽培)	29年	0.03	0.3	16.7	1.04	22.3	66.7	0.0	0.7	16.7	2.07	40.7	66.7	0.00	0.0	0.0	-	-	-	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.47	6.7	66.7	0.3	1.3	33.3	0.40	16.3	100.0	0.00	0.0	0.0	-	-	-	-
	平年	0.63	1.4	19.4	0.11	2.6	28.4	5.3	17.9	84.0	0.76	18.5	68.5	0.01	0.3	8.1	-	-	-	-
8・3~4 (露地栽培)	29年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	50.0	-	-	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	2.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	-	-	-	-
	平年	4.45	4.8	18.3	0.07	0.9	6.7	8.7	28.3	76.7	0.00	0.2	3.3	0.00	0.4	10.0	-	-	-	-
9・3~4 (施設栽培)	29年	0.13	0.7	33.3	0.00	0.0	0.0	2.0	45.3	100.0	0.03	2.7	66.7	0.03	3.3	66.7	0.00	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	50.0	2.0	28.0	100.0	0.01	1.0	50.0	0.04	4.0	50.0	0.00	0.0	0.0	-
	平年	0.03	0.9	6.3	0.00	0.5	22.9	4.3	53.4	95.8	0.01	1.1	29.2	0.15	10.8	62.5	0.00	0.0	0.0	-
10・3~4 (施設栽培)	29年	0.53	0.7	33.3	0.08	2.0	33.3	5.3	16.0	66.7	0.11	6.0	66.7	0.19	10.7	33.3	0.00	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.7	16.0	33.3	0.00	0.0	0.0	0.17	14.7	100.0	0.00	0.0	0.0	-
	平年	0.01	0.2	4.2	0.00	0.0	0.0	11.9	47.0	75.0	0.00	0.0	0.0	0.13	9.5	66.7	0.00	0.2	4.2	-
11・3~4 (施設栽培)	29年	0.00	0.0	0.0	0.93	22.7	100.0	3.3	1.3	66.7	3.23	36.0	66.7	0.21	10.7	66.7	0.00	0.0	0.0	0.0
	28年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	1.3	16.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.07	6.7	33.3	0.00	0.0	0.0	-
	平年	0.08	0.3	4.2	0.00	0.0	0.0	12.6	35.8	91.7	0.03	0.9	8.3	0.08	4.8	33.3	0.00	0.2	0.0	-

(11) トマト
病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	-	並(-)	並	並(-)	並
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
葉かび病	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
うどんこ病	-	並(-)	並(-)	並	並
アブラムシ類	並(-)	並(-)	並	並(-)	並
アザミウマ類	(-)	(-)	(+)	(+)	(+)
コナジラミ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず、-：調査せず

表2 巡回調査結果

(単位：%)

調査時期 (月・半 旬)	年次	疫病		灰色かび病		モザイク病		葉かび病		うどんこ病	
		発病 程度	発 生 ほ場率	発病 果率	発 生 ほ場率	発病 株率	発 生 ほ場率	発病 程度	発 生 ほ場率	発病 株率	発 生 ほ場率
3・3~4	29年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	*例年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	6.3	0.0	0.0
5・3~4	29年	0.0	0.0	0.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	20.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.6	5.0	0.0	0.0	2.5	5.0	0.03	2.5
6・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	40.0
	28年	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	10.2	40.0	10.6	40.0
	例年	0.0	0.0	2.5	15.0	0.1	5.0	9.6	30.0	4.4	22.5

調査時期 (月・半 旬)	年次	アブラムシ類		アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ		
		寄生 株率	発 生 ほ場率	寄生 花率	白ぶくれ 果率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	寄生 葉率	寄生 株率	発 生 ほ場率	寄生 株率	被害 株率	発 生 ほ場率
3・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	-	-	-	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	-	-	-	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.6	6.3	-	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3~4	29年	0.8	20.0	2.1	1.6	40.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	5.7	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.6	12.5	-	1.9	6.7	0.00	0.0	0.0	0.3	1.6	7.5	0.0	0.0	0.0
6・3~4	29年	0.0	0.0	1.0	1.6	40.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.8	8.0	80.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	1.6	12.5	-	3.5	46.7	0.001	0.1	2.5	3.9	13.5	30.0	0.0	0.0	0.0

*3月：22~28年の平均値、4~6月：21~28年の平均値

(12)ナス
病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	少	並	並
褐色円星病	並(-)	並(-)	並(-)	並	やや少	やや少	やや多
すすかび病	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	多	並(-)	並(-)	多
褐色腐敗病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	やや多	並	並(-)	やや多	やや多	やや多	やや多
ハダニ類	やや多	多	やや多	並	並	並	並
ハモグリバエ類	やや少	少	やや少	少	少	やや少	少
アザミウマ類	やや多	並	並	やや多	やや多	並	やや多
コナジラミ類	(-)	(+)	並	並	並	やや少	並

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(5葉、5果、3花/株、25株調査)

調査時期 (月・半 旬)	年次	うどんこ病			褐色円星病			すすかび病			灰色かび病			褐色腐敗病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.8	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
6・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3~4	29年	0.3	0.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	4.4	15.6	0.5	4.0	19.0	0.1	1.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3~4	29年	23.0	37.9	57.1	0.4	3.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	14.3	0.0	0.0
	28年	16.0	37.9	57.1	8.7	13.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	8.4	24.9	47.9	2.3	13.9	36.3	0.3	1.0	2.5	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0
9・3~4	29年	7.7	20.7	28.6	2.6	15.7	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	44.4	66.4	85.7	14.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	17.7	44.7	71.0	9.8	37.6	64.8	0.5	1.6	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10・3~4	29年	26.6	51.4	71.4	7.4	13.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0
	28年	17.1	50.7	85.7	12.7	47.1	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.9	42.9
	平年	20.8	48.9	86.6	13.3	41.7	70.4	0.2	1.1	8.0	0.0	0.0	17.1	0.1	4.3

調査時期 (月・半 旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	29年	0.96	30.8	83.3	0.13	0.7	50.0	0.2	1.5	33.3	0.06	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.03	1.7	66.7	0.00	0.3	33.3	1.3	5.8	33.3	0.71	11.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.39	18.4	91.7	0.04	1.0	21.8	2.7	8.9	39.5	0.11	3.9	47.3	0.003	0.0	0.0
6・3~4	29年	0.08	5.1	42.9	0.83	6.4	42.9	0.1	0.7	14.3	0.23	11.9	100.0	0.0	6.4	0.0
	28年	0.04	2.1	87.5	0.12	2.6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.23	9.6	87.5	0.0	0.0	0.0
	平年	0.10	4.2	67.1	0.08	1.4	29.3	2.2	15.8	59.2	0.24	11.2	75.7	0.0	0.0	0.0
7・3~4	29年	0.00	0.0	0.0	4.19	14.0	28.6	0.1	2.1	42.9	0.02	1.7	57.1	0.001	0.1	14.3
	28年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.1	0.6	12.5	0.02	1.4	50.0	0.00	0.3	12.5
	平年	0.04	0.8	13.8	0.28	2.2	23.1	3.6	16.1	47.0	0.05	3.3	43.0	0.05	1.5	37.8
8・3~4	29年	0.02	0.7	28.6	0.06	0.9	14.3	0.1	0.7	14.3	0.02	1.1	71.4	0.03	1.4	28.6
	28年	0.00	0.1	14.3	0.01	0.3	42.9	1.4	11.4	42.9	0.02	1.3	57.1	0.03	2.0	14.3
	平年	0.03	0.8	14.9	0.16	2.1	69.4	6.4	33.6	69.4	0.01	1.1	30.7	0.06	2.9	23.7
9・3~4	29年	0.19	6.1	28.6	0.39	2.4	14.3	2.9	10.7	28.6	0.07	2.9	28.6	0.25	8.4	0.0
	28年	0.02	1.0	57.1	0.01	0.6	42.9	5.6	22.1	57.1	0.01	0.6	57.1	0.01	0.0	0.0
	平年	0.02	0.7	24.9	0.29	3.5	27.7	22.2	54.3	78.9	0.05	1.7	21.4	0.36	0.0	0.0
10・3~4	29年	0.06	1.9	42.9	0.01	0.3	28.6	6.1	20.0	71.4	0.02	1.0	28.6	0.04	3.0	28.6
	28年	0.01	0.9	42.9	0.00	0.0	0.0	3.9	17.9	100.0	0.00	0.1	14.3	0.05	4.6	85.7
	平年	0.10	2.2	17.1	2.23	4.6	22.5	27.5	56.6	81.0	0.01	0.5	19.3	0.31	6.1	58.9

(13) トウガラシ
病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
斑点病	並(-)	並(-)	やや少(-)	やや少(-)	やや少(-)
アブラムシ類	並(-)	やや少	並	少(-)	並
ハダニ類	並(-)	並(-)	並	少(-)	並
アザミウマ類	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)
コナジラミ類成虫	並(-)	並(-)	やや少	並(-)	並(-)
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	多	多
タバコガ類	並(-)	並(-)	並(-)	多	多

- : 調査せず、(+) : 発生を認めた、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(単位：%、頭/葉)

調査時期 (月・半月)	年次	うどんこ病			モザイク病		斑点病		アブラムシ類		
		発病程度	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
5・1~2	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	*例年	-	1.8	6.5	0.5	3.4	0.3	0.0	-	4.0	20.0
6・1~2	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.50	2.0	50.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.33	5.3	66.7
	例年	-	4.8	7.7	0.5	4.6	1.5	7.5	-	6.7	39.0
7・1~2	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	28年	0.3	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.33	1.3	33.3
	例年	-	4.6	20.8	0.0	0.0	6.6	23.3	-	5.4	30.8
8・1~2	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	28年	0.5	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	-	6.5	19.0	0.8	8.3	22.4	32.6	-	8.5	38.6

調査時期 (月・半月)	年次	ハダニ類		アザミウマ類		コナジラミ類成虫			ハスモンヨトウ			タバコガ類	
		寄生株率	発生ほ場率	寄生花率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	被害株率	発生ほ場率	被害果率	発生ほ場率
5・1~2	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	21.3	33.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	1.0	9.6	-	-	-	2.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6・1~2	29年	0.0	0.0	47.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	37.1	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	1.9	6.3	-	-	-	3.3	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・1~2	29年	2.0	50.0	49.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	28.0	66.7	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	5.1	18.3	-	-	-	9.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.1	2.5
8・1~2	29年	0.0	0.0	17.0	100.0	0.00	0.0	0.0	2.0	2.0	50.0	4.0	50.0
	28年	4.0	100.0	36.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	4.0	24.8	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*21~28年の平均値

(14) キャベツ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	春キャベツ				秋冬キャベツ			
	3月	4月	5月	全期間	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒腐病	並(-)	並(-)	やや多	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
菌核病	並(-)	並(-)	多	多	並(-)	並(-)	やや多	やや多
アブラムシ類	やや少(-)	やや少	並	やや少	やや少	並	並	並
モンシロチョウ	並(-)	並(-)	やや多	やや多	やや少(-)	少(-)	少(-)	少(-)
コナガ	並(-)	並(-)	やや多	やや多	並(-)	並	並	並
ハスモンヨトウ	-	-	-	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ヨトウガ	-	-	やや多	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ウワバ類	並(-)	並(-)	やや多	やや多	並(-)	やや少	やや少(-)	やや少
アザミウマ類	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類			モンシロチョウ			コナガ		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	4.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7
	平年	0.1	1.7	0.0	0.0	0.9	5.0	0.5	2.6	35.3	0.0	0.0	0.0	0.4	5.3	
4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	1.6	12.7	83.3	0.0	0.0	0.0	1.3	8.0	66.7
	平年	0.3	5.0	0.0	0.0	0.3	6.7	2.5	16.8	82.5	0.0	0.3	6.7	0.2	1.5	23.4
5・3~4	29年	0.0	0.0	1.3	33.3	7.3	33.3	7.6	12.0	83.3	0.5	4.7	33.3	4.1	30.0	83.3
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	3.0	25.0	2.9	23.0	75.0	2.1	16.0	75.0
	平年	0.0	0.0	1.2	10.2	0.0	0.0	10.8	27.3	76.5	0.4	3.6	19.2	1.1	8.3	63.2
9・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	9.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.7	4.1	0.0	0.0	3.0	5.7	52.6	0.2	1.6	22.6	1.8	2.1	0.0
10・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0
	28年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	3.1	3.2	40.0	0.2	1.6	40.0	0.2	2.4	20.0
	平年	0.0	0.0	0.2	5.3	0.0	0.0	3.0	4.8	47.2	0.6	4.2	33.5	0.1	0.9	11.5
11・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.7	4.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.9	5.0	6.0	20.3	0.7	7.0	8.6	5.2	39.5	1.0	7.1	36.5	0.3	2.1	16.7

調査時期 (月・半旬)	年次	ハスモンヨトウ			ヨトウガ			ウワバ類			アザミウマ類		
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3~4	29年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	8.7	17.3	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	2.5	-	20.9
4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	50.0
	28年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.1	0.7	16.7	72.7	92.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.1	3.3	39.9	-	93.8
5・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	3.3	1.3	0.0	0.2	2.0	50.0	0.0	12.7	83.3
	28年	0.0	0.0	0.0	3.1	12.0	0.0	0.8	7.0	100.0	94.0	-	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.3	1.4	0.0	0.1	1.3	20.3	79.3	-	100.0
9・3~4	29年	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	25.0
	28年	1.0	-	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0	46.0	75.0
	平年	2.1	-	17.6	0.0	0.1	4.2	0.7	5.1	22.6	46.2	-	79.4
10・3~4	29年	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.0	39.0	100.0
	28年	0.8	-	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	9.6	40.0
	平年	2.5	-	19.5	0.3	0.7	13.7	0.4	2.9	27.8	30.8	-	60.0
11・3~4	29年	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	28年	1.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	-	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	2.2	25.2	-	39.3	50.0

(15)ダイコン 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
黒斑細菌病	並(-)	並(-)	やや多	やや多
白さび病	並(-)	多	並(-)	多
モザイク病	-	並(-)	-	並(-)
アブラムシ類	やや多	やや多	並(-)	やや多
コナガ	並(-)	多	やや多	多
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハイマダラノメイガ	並(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)

- : 調査せず、(+) : 発生を認めた、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	4.0	5.6	60.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.3	3.2	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.4	3.8	47.8
10・3~4	29年	0.0	0.0	1.6	20.0	0.0	0.0	7.6	2.4	40.0
	28年	20.8	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.4	20.0
	平年	2.1	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.5	19.3
11・3~4	29年	5.6	40.0	0.0	0.0	-	-	2.9	3.2	40.0
	28年	0.0	0.0	20.0	33.3	-	-	6.9	28.0	60.0
	平年	2.9	13.3	9.9	40.0	-	-	9.8	14.0	71.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ			ハイマダラノメイガ		
		幼虫・ 蛹数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.3	6.7	0.03	0.3	7.8	0.3	2.4	30.0
10・3~4	29年	0.4	3.2	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.2	2.4	40.0	0.1	0.8	20.0
	平年	0.1	0.7	13.3	0.2	2.4	37.3	1.6	9.4	38.7
11・3~4	29年	4.4	25.6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.2	1.6	40.0	0.6	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.0	9.3	48.7	0.2	1.2	17.3	0.8	5.7	32.0

(16)カブ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並	やや多	やや多
軟腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
白斑病	並(-)	並(-)	多	多
白さび病	並(-)	多	並(-)	多
アブラムシ類	並	並	並(-)	並
コナガ	並(-)	多	多	多
ハモグリバエ類	多	並	並	やや多

— : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	6.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	6.3	0.0	0.0
10・3~4	29年	35.2	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	20.0
	28年	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	37.3	43.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	5.0	0.1	1.7
11・3~4	29年	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	50.0	0.0	0.0
	28年	57.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	平年	34.0	56.7	0.1	2.8	1.2	13.3	8.0	20.0	0.4	2.2

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	29年	0.8	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	4.0	66.7
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	3.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.3	6.3
10・3~4	29年	3.7	1.6	20.0	1.0	8.8	40.0	2.4	60.0
	28年	2.0	8.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	3.6	37.5	0.0	0.1	2.5	3.0	20.0
11・3~4	29年	0.2	1.0	25.0	2.5	17.0	75.0	13.0	75.0
	28年	12.9	18.0	100.0	1.5	13.0	50.0	10.0	100.0
	平年	3.3	4.7	37.8	0.4	2.9	13.3	15.1	58.9

(17)ホウレンソウ

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	春どり			秋どり		
	4月	5月	全期間	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	やや少	並	並	並(-)	並(-)	並(-)
ヨトウガ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
シロオビノメイガ	-	-	-	並(-)	並(-)	並(-)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

〈25株調査(%)〉

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		ハダニ類		シロオビノメイガ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3~4	29年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	0.0	0.0	8.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	2.3	5.0	6.1	47.5	0.0	0.0	-	-	-	-
5・3~4	29年	0.0	0.0	48.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	28年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	2.9	5.4	30.4	84.2	0.1	1.8	-	-	-	-
10・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	-	-	8.0	50.0
	平年	0.0	0.0	0.9	15.0	0.1	2.5	-	-	1.5	15.0
11・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	0.0	0.0	3.2	50.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.8	27.5	0.0	0.0	-	-	0.3	7.5

(18)ネギ(小株…葉長が概ね40cm未満の株)

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
えそ条斑病	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)
アブラムシ類	やや少(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	多	並(-)	並(-)	並
シロイチモジヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	多	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多
ネギハモグリバエ	少(-)	やや少	やや少	少	少(-)	少	少	やや少	少
ネギアザミウマ	並	やや多	やや多	やや多	多	やや多	多	少	やや多

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査(%))

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		えそ条斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	75.0
	28年	4.0	20.0	0.0	0.0	1.6	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0	93.6	100.0
	平年	1.0	5.8	0.0	0.0	—	—	2.2	29.8	0.0	0.0	5.2	41.5	24.3	63.8
5・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	40.0	1.6	40.0	0.0	0.0	31.2	80.0	98.4	100.0
	28年	19.0	75.0	0.0	0.0	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	50.0	76.0	100.0
	平年	2.6	13.8	0.0	0.0	—	—	3.8	26.3	0.0	0.0	47.8	52.5	66.0	63.8
6・3~4	29年	1.6	20.0	0.0	0.0	6.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.4	80.0	98.4	100.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	68.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	40.0	99.2	100.0
	平年	4.5	15.7	0.1	1.3	—	—	0.7	13.9	0.0	0.0	46.9	85.3	84.7	100.0
7・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	50.0	0.0	0.0	3.0	25.0	2.0	50.0	89.0	100.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	50.0	89.0	100.0
	平年	0.1	2.2	4.0	11.3	—	—	0.0	0.0	0.1	2.5	61.8	91.3	52.7	85.4
8・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.0	100.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	75.0	0.0	0.0	6.0	25.0	18.0	100.0	66.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.4	—	—	0.0	0.0	0.6	2.5	55.9	92.6	19.2	57.9
9・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	25.0	1.0	25.0	31.0	75.0	17.0	75.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	40.0	0.0	0.0	4.8	40.0	76.0	100.0	68.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	—	—	0.2	2.9	0.9	16.4	74.0	100.0	15.6	42.0
10・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.2	80.0	70.4	100.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0	0.0	0.0	12.0	40.0	42.4	100.0	39.2	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	1.3	1.3	5.3	66.2	98.0	18.0	54.0
11・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	50.0	5.0	50.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.8	60.0	50.4	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.3	—	—	0.1	2.9	0.1	1.3	28.3	75.5	40.8	78.2

(19)ネギ(大株…葉長が概ね40cm以上の株)

病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
さび病	(-)	(+)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
黒斑病	(-)	(-)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(-)
べと病	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)
えそ条斑病	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
シロイチモジヨトウ	-	-	-	(+)	(+)	(+)	(+)	(-)
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
ネギハモグリバエ	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
ネギアザミウマ	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)

-: 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		べと病		えそ条斑病	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28年	20.8	40.0	0.0	0.0	21.6	60.0	4.8	20.0
	平均	6.9	13.3	0.3	0.0	7.2	20.0	-	-
5・3~4	29年	0.7	16.7	0.0	0.0	4.7	33.3	6.0	66.7
	28年	17.1	42.9	0.0	0.0	13.1	85.7	14.3	71.4
	平均	6.5	21.0	0.0	0.0	4.4	28.6	-	-
6・3~4	29年	7.2	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.4	100.0
	28年	59.2	80.0	0.0	0.0	20.0	20.0	75.2	100.0
	平均	29.4	60.0	17.3	33.3	6.7	6.7	46.8	66.7
7・3~4	29年	0.0	0.0	2.3	14.3	2.3	28.6	45.1	100.0
	28年	10.7	66.7	5.3	66.7	0.0	0.0	60.0	100.0
	平均	4.0	33.3	30.2	88.9	0.0	0.0	30.0	33.3
8・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	100.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	60.0
	平均	0.0	0.0	11.0	33.3	0.7	8.3	23.5	80.0
9・3~4	29年	0.0	0.0	5.1	14.3	0.0	0.0	2.9	57.1
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	80.0
	平均	0.0	0.0	2.4	38.9	0.0	0.0	3.2	40.0
10・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0
	28年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	25.0
	平均	0.0	0.0	0.8	19.4	11.7	25.0	5.0	45.8
11・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	50.0
	28年	0.0	0.0	4.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	0.0	0.0	3.8	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0

調査時期 (月・半旬)	年次	シロイチモジヨトウ		ハスモンヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	29年	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	0.8	20.0	100.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-
5・3~4	29年	-	-	0.0	0.0	2.7	50.0	100.0	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	12.0	71.4	100.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-
6・3~4	29年	-	-	0.0	0.0	15.2	40.0	100.0	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	7.2	20.0	99.2	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-
7・3~4	29年	0.6	14.3	0.0	0.0	2.9	42.9	98.3	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	20.0	100.0	98.7	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	32.7	100.0	92.0	100.0
8・3~4	29年	3.0	50.0	0.0	0.0	33.0	75.0	89.0	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	32.8	80.0	80.8	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	51.9	90.0	79.9	100.0
9・3~4	29年	2.9	28.6	0.0	0.0	54.9	100.0	82.3	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	71.2	100.0	82.4	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	42.6	100.0	55.7	100.0
10・3~4	29年	1.0	25.0	0.0	0.0	46.0	100.0	100.0	100.0
	28年	-	-	1.0	25.0	57.0	100.0	40.0	100.0
	平均	-	-	4.5	8.3	59.2	100.0	28.2	83.3
11・3~4	29年	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	50.0	62.0	100.0
	28年	-	-	0.0	0.0	33.0	100.0	46.0	100.0
	平均	-	-	0.0	0.0	33.9	83.4	71.0	100.0

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年値等	H29	平年値等	H29	平年値等
ヒメトビウンカ (60W)	0	2.0	0	0.8	3	11.3
セジロウンカ (60W)	6	13.1	2	18.1	12	130.0
トビイロウンカ (60W)	3	8.0	2	8.8	1	42.7
ツマグロヨコバイ (60W)	44	87.8	5	36.1	13	169.0
イネミズゾウムシ (60W)	69	64.1	265	238.1	86	123.2
アオクサカメムシ (60W)	0	1.4	0	3.2	0	0.8
チャバネアオカメムシ (60W)	21	29.9	12	6.8	27	35.0
チャバネアオカメムシ (BL)	18	155.5	121	17.6	382	167.6
クサキカメムシ (60W)	13	5.5	3	1.9	47	9.1
クサキカメムシ (BL)	23	18.8	50	3.1	301	52.0
イチモンジカメムシ (60W)	3	0.6	5	4.7	2	1.8
イネクロカメムシ (60W)	40	119.2	0	0.2	0	1.1
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.2	2	2.8	5	3.4
シラホシカメムシ (60W)	2	0.5	3	0.5	0	0.4
アカヒゲホソミドリカスミカメ (60W)	58	28.9	30	52.7	74	128.4
アカスジカスミカメ (60W)	19	5.4	102	78.7	146	174.0
ツマグロアオカスミカメ (60W)	94	22.7	83	11.0	8	24.2
フタオビコヤガ (60W)	10	27.9	52	28.4	67	133.8
ニカメイガ (60W)	0	1.4	0	0.6	3	2.6
コナガ (60W)	18	19.7	94	67.0	70	29.2
シロオビノメイガ (60W)	3	1.9	9	8.9	4	16.4
ドウガネブイブイ (BL)	327	353.0	113	93.0	199	482.2
クロコガネ (BL)	34	45.1	1	16.5	60	29.9
ヒメコガネ (BL)	2,695	3767.8	58	34.3	767	1379.8
アカヒロウドコガネ(BL)	52	88.0	21	14.7	36	48.0

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

：平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメトビウツカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.3	0	0.0	0	2.5
2	0	0.1	0	0.0	0	0.2
3	0	0.1	0	0.0	0	2.4
4	0	0.2	0	0.0	2	1.3
5	0	0.5	0	0.2	0	0.9
6	0	0.0	0	0.2	0	1.2
9・1	0	0.2	0	0.0	0	0.3
2	0	0.3	0	0.1	1	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
10・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	2.0	0	0.8	3	11.3

セジロウツカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.5	0	0.3	0	0.1
6	0	0.0	0	1.1	0	1.4
7・1	0	0.2	0	1.0	0	2.5
2	0	0.3	0	0.1	0	1.0
3	0	0.5	0	0.8	1	3.4
4	0	0.1	0	0.9	0	0.8
5	0	0.5	0	2.1	0	2.2
6	0	0.7	0	0.7	0	1.8
8・1	0	1.0	0	0.8	0	6.9
2	0	0.6	0	0.7	1	2.7
3	1	0.3	0	2.7	2	15.0
4	1	0.5	0	1.7	2	6.2
5	1	2.5	1	1.2	0	11.4
6	1	2.8	0	0.7	1	24.6
9・1	0	0.6	0	0.7	0	3.9
2	1	0.1	0	0.6	1	18.5
3	0	0.3	0	0.1	3	9.6
4	0	0.3	0	0.3	1	7.4
5	0	0.6	1	0.4	0	5.0
6	1	0.0	0	0.2	0	3.7
10・1	0	0.2	0	0.2	0	0.7
2	0	0.1	0	0.1	0	0.4
3	0	0.1	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.2	0	0.1	0	0.2
計	6	13.1	2	18.1	12	130.0

トビウツカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.4	0	0.9
6	0	0.8	0	0.3	0	1.1
9・1	0	0.1	0	0.2	0	0.8
2	1	0.5	0	0.3	1	0.5
3	0	2.0	0	1.1	0	7.4
4	0	0.2	0	0.8	0	8.3
5	0	2.0	1	0.9	0	6.4
6	0	0.1	0	0.7	0	9.3
10・1	0	0.2	0	0.9	0	3.2
2	0	0.5	0	2.7	0	2.8
3	2	0.6	1	0.3	0	0.6
4	0	0.4	0	0.0	0	1.2
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	8.0	2	8.8	1	42.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.1	1	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	1.0	0	0.1	0	0.2
3	0	0.8	0	0.1	0	4.2
4	0	0.2	0	0.5	0	1.4
5	0	0.1	0	0.6	1	1.3
6	0	0.1	0	3.0	1	5.2
7・1	0	0.2	2	2.9	0	10.8
2	0	0.2	0	3.5	1	15.6
3	3	1.4	0	1.2	0	4.1
4	2	2.8	1	2.0	0	5.7
5	5	4.4	0	4.3	2	5.1
6	4	5.9	0	2.1	5	13.7
8・1	1	4.4	0	1.6	1	75.0
2	2	2.5	1	0.3	1	8.1
3	5	2.2	0	0.7	0	2.4
4	4	4.7	0	0.4	0	0.9
5	3	4.1	0	0.2	0	0.0
6	2	4.9	0	0.8	0	0.8
9・1	0	8.7	0	1.8	0	2.7
2	9	13.2	0	2.6	0	3.6
3	3	13.3	0	4.2	1	6.2
4	0	5.1	0	2.1	0	0.7
5	0	7.1	0	0.5	0	1.1
6	1	0.2	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	44	87.8	5	36.1	13	169.0

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	1.9	0	1.2
5・1	0	0.1	2	5.0	0	4.3
2	0	0.0	1	17.0	0	12.6
3	0	0.1	43	23.0	0	7.0
4	0	0.2	4	17.9	0	2.8
5	0	1.3	9	11.4	0	4.5
6	0	0.7	5	4.9	0	11.6
6・1	0	0.7	1	3.0	0	5.0
2	0	0.5	0	2.1	0	3.1
3	0	0.7	0	1.3	0	3.1
4	0	0.4	0	0.7	0	1.7
5	0	0.8	0	0.2	0	2.5
6	0	0.0	0	0.4	2	4.3
7・1	0	0.1	0	0.6	9	2.1
2	0	0.3	6	0.7	1	4.5
3	3	0.4	41	1.7	0	1.0
4	2	3.1	9	22.3	8	6.7
5	4	13.0	36	31.4	14	13.0
6	20	11.5	61	37.9	26	11.0
8・1	11	7.4	24	25.3	10	9.8
2	8	7.4	5	13.0	10	7.5
3	7	5.0	7	9.9	5	1.3
4	9	7.7	8	3.8	1	1.5
5	3	1.7	3	1.2	0	0.7
6	2	0.7	0	0.7	0	0.1
9・1	0	0.1	0	0.4	0	0.1
2	0	0.2	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	69	64.1	265	238.1	86	123.2

アオクサカラムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.5	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.0
3	0	0.3	0	0.2	0	0.1
4	0	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.3
6	0	0.0	0	0.2	0	0.1
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.6	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	1.4	0	3.2	0	0.8

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

チャハバネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	0.1	0	0.1	8	1.9
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.1	0	0.7
3	0	0.2	0	0.3	0	0.0	0	0.1	0	0.4	3	0.8
4	0	0.2	0	0.7	0	0.0	0	0.1	0	0.3	0	1.6
5	0	0.2	0	2.5	0	0.2	0	0.1	0	0.8	0	1.7
6	0	0.3	0	3.2	0	0.0	1	0.4	0	0.2	0	0.8
6・1	0	0.0	0	1.6	0	0.0	0	0.2	0	0.2	0	1.9
2	0	0.2	0	0.8	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.6
3	0	0.0	0	0.4	0	0.0	0	0.1	0	0.6	0	2.2
4	0	0.1	0	0.3	0	0.0	0	0.2	0	0.9	0	1.6
5	0	0.6	0	2.1	0	0.0	0	0.3	1	0.8	1	1.7
6	0	1.2	0	2.4	0	0.1	1	0.4	8	1.0	0	2.3
7・1	0	1.7	2	12.5	0	0.4	0	0.4	2	1.3	6	4.4
2	0	2.1	0	16.3	0	0.2	1	0.5	2	1.8	27	8.6
3	2	2.5	1	26.6	0	0.0	0	0.4	0	5.0	7	7.8
4	0	9.8	1	30.7	0	0.6	0	1.7	2	2.1	4	11.0
5	0	1.0	1	22.8	0	0.1	0	0.6	0	1.4	8	8.0
6	0	2.2	0	14.1	0	0.1	0	1.1	0	0.7	12	8.0
8・1	0	1.7	0	3.8	0	0.2	1	1.7	0	1.1	24	9.5
2	0	2.3	0	5.1	0	0.3	2	2.0	0	0.7	15	10.5
3	2	1.1	0	3.5	0	0.9	0	1.4	1	8.1	11	14.4
4	1	2.0	1	1.5	0	1.2	11	1.9	1	2.2	49	12.1
5	0	0.1	1	0.6	1	0.9	11	0.5	4	1.4	120	8.5
6	0	0.1	2	0.7	0	0.7	6	0.6	0	1.1	19	9.3
9・1	4	0.1	0	0.3	0	0.5	1	0.7	0	0.9	6	16.3
2	8	0.1	7	0.5	0	0.1	9	0.9	0	0.3	11	4.6
3	2	0.0	1	0.9	0	0.0	3	0.3	1	0.2	9	3.5
4	2	0.0	0	1.0	0	0.1	2	0.1	0	0.6	1	2.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	0.2	0	0.2	7	3.0
6	0	0.0	0	0.0	4	0.1	12	0.2	1	0.0	6	3.8
10・1	0	0.0	0	0.0	3	0.0	3	0.2	2.2	0.1	9	3.0
2	0	0.0	1	0.0	3	0.0	29	0.0	0.8	0.2	17	1.0
3	0	0.0	0	0.1	1	0.0	18	0.0	1	0.0	2	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	21	29.9	18	155.5	12	6.8	121	17.6	27	35.0	382	167.6

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカラムン(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	H29	平年	H29	例年	H29	平年	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.4	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	1	0.1	0	0.2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.6	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.3
7・1	0	0.4	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.2	2	0.3
2	1	0.4	0	0.6	0	0.0	0	0.1	0	0.2	11	1.8
3	2	1.1	1	2.7	0	0.0	1	0.3	0	0.4	9	0.8
4	0	0.5	2	3.1	0	0.4	0	0.2	2	0.5	7	2.2
5	2	0.6	2	1.3	0	0.1	0	0.2	1	0.8	10	2.3
6	7	0.1	0	2.2	0	0.0	1	0.2	2	0.9	32	3.8
8・1	0	0.3	0	1.4	0	0.3	3	0.8	2	1.0	34	6.8
2	0	0.0	0	0.6	0	0.3	2	0.2	1	1.0	25	4.7
3	0	0.6	1	1.6	0	0.1	6	0.2	2	0.9	33	5.0
4	0	0.3	6	1.2	0	0.3	18	0.2	21	0.7	63	6.3
5	0	0.0	8	0.9	3	0.1	16	0.1	11	1.0	59	6.1
6	0	0.3	1	0.5	0	0.1	2	0.4	4	0.7	6	3.9
9・1	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.3	2	2.9
2	0	0.1	0	0.2	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.3
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
計	13	5.5	23	18.8	3	1.9	50	3.1	47	9.1	301	51.3

イチモンジカラムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.2	0	0.0
7・1	0	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.4	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	1	0.0	0	0.6	0	0.2
5	1	0.0	0	0.3	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
8・1	0	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.1	1	0.3
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	1	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.6	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.5	0	0.0
2	0	0.1	0	0.2	0	0.1
3	0	0.2	0	0.3	0	0.0
4	0	0.0	1	0.2	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.3	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	1	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0
計	3	0.6	5	4.7	2	1.8

イネクワカラムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	1.1	0	0.0	0	0.0
6	2	2.1	0	0.0	0	0.0
6・1	0	3.0	0	0.0	0	0.0
2	1	11.0	0	0.0	0	0.1
3	0	12.8	0	0.0	0	0.2
4	2	8.0	0	0.1	0	0.1
5	0	9.8	0	0.0	0	0.1
6	0	4.1	0	0.1	0	0.2
7・1	4	3.4	0	0.0	0	0.1
2	0	2.0	0	0.0	0	0.0
3	0	1.4	0	0.0	0	0.0
4	0	2.5	0	0.0	0	0.0
5	1	4.1	0	0.0	0	0.0
6	0	4.5	0	0.0	0	0.0
8・1	0	2.9	0	0.0	0	0.0
2	0	4.3	0	0.0	0	0.0
3	0	2.8	0	0.0	0	0.1
4	2	1.3	0	0.0	0	0.2
5	0	0.4	0	0.0	0	0.0
6	0	4.3	0	0.0	0	0.0
9・1	0	3.9	0	0.0	0	0.0
2	13	5.6	0	0.0	0	0.0
3	0	7.3	0	0.0	0	0.0
4	9	9.1	0	0.0	0	0.0
5	2	4.4	0	0.0	0	0.0
6	2	1.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.8	0	0.0	0	0.0
2	2	0.9	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	40	119.2	0	0.2	0	1.1

クモヘリカラムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.2	1	0.3
2	0	0.0	0	0.2	0	0.6
3	0	0.0	2	0.2	0	0.6
4	0	0.0	0	0.4	0	0.2
5	0	0.0	0	0.1	1	0.0
6	0	0.1	0	0.1	1	0.3
9・1	0	0.0	0	0.4	1	0.1
2	0	0.0	0	0.2	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	1	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.2	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.2	2	2.8	5	3.4

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

シラホンカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0
7・1	1	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.1	0	0.0
3	1	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	0.5	3	0.5	0	0.4

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

アカヒゲホソドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.6
3	2	0.0	0	0.0	0	0.1
4	1	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.3	0	0.1	0	0.3
6・1	0	0.3	0	0.1	0	0.5
2	1	3.0	0	1.6	2	2.4
3	0	1.9	0	4.3	1	9.7
4	5	2.6	1	7.5	3	17.1
5	3	2.4	8	7.1	11	15.5
6	2	1.0	7	5.8	21	15.2
7・1	7	2.0	5	5.4	10	12.5
2	8	4.1	1	7.5	10	8.6
3	16	3.7	2	4.4	0	8.2
4	3	2.1	2	2.6	1	8.7
5	0	1.3	0	1.9	2	6.4
6	4	0.9	0	0.2	1	3.9
8・1	1	0.9	0	0.0	1	1.8
2	0	0.5	0	0.0	3	2.7
3	1	0.1	0	0.2	3	2.0
4	1	0.1	1	0.9	1	1.9
5	0	0.1	2	0.3	1	0.3
6	0	0.4	0	0.6	1	1.9
9・1	0	0.0	0	0.3	0	1.3
2	2	0.1	0	0.4	2	1.2
3	0	0.2	0	0.2	0	1.2
4	0	0.1	0	0.0	0	1.6
5	0	0.1	0	0.4	0	0.7
6	0	0.1	0	0.0	0	0.3
10・1	1	0.2	0	0.0	0	0.2
2	0	0.1	1	0.0	0	0.5
3	0	0.2	0	0.2	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.3	0	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	58	28.9	30	52.7	74	128.4

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.4
4	0	0.0	0	0.5	0	0.1
5	2	0.2	2	1.3	0	0.8
6	0	0.0	4	1.0	0	2.7
6・1	0	0.0	0	0.6	1	3.6
2	0	0.0	0	1.9	1	3.3
3	0	0.2	0	2.5	2	2.7
4	2	0.1	2	3.2	0	7.6
5	4	0.0	9	1.5	6	10.9
6	0	0.2	20	5.5	25	20.3
7・1	3	0.2	5	5.1	24	19.4
2	0	0.2	3	8.3	47	18.5
3	4	0.5	5	4.2	4	9.1
4	0	0.3	0	2.5	4	6.4
5	1	0.4	0	1.6	7	7.4
6	1	1.2	0	1.1	7	8.2
8・1	0	0.8	3	1.7	6	8.5
2	0	0.1	6	1.1	4	7.4
3	0	0.2	12	1.9	0	3.5
4	0	0.1	4	4.0	1	3.6
5	0	0.0	5	2.3	0	3.1
6	0	0.0	4	2.6	3	3.5
9・1	0	0.0	2	3.4	0	2.8
2	0	0.0	1	4.6	1	2.8
3	0	0.1	3	5.4	0	4.6
4	0	0.2	0	4.3	1	3.6
5	1	0.1	2	3.1	0	2.5
6	0	0.2	5	0.8	1	2.2
10・1	0	0.0	2	1.1	1	2.2
2	1	0.0	3	1.2	0	1.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.7
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	19	5.4	102	78.7	146	174.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯160W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	1	0.3	1	0.3	0	0.4
6	0	0.1	0	0.4	0	0.6
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.6
2	0	0.1	0	0.2	0	1.5
3	0	0.0	0	0.7	0	0.3
4	0	0.1	0	0.1	0	0.9
5	0	0.0	0	0.2	0	1.0
6	0	0.1	0	0.4	0	1.2
7・1	0	0.0	0	0.4	0	0.4
2	0	0.5	0	0.3	0	1.5
3	0	0.2	0	0.3	0	1.0
4	0	0.1	0	0.2	1	1.7
5	0	0.2	0	0.1	1	1.3
6	0	0.2	0	0.2	1	1.5
8・1	0	0.1	0	0.1	0	0.9
2	0	0.0	0	0.1	0	0.2
3	0	0.1	0	0.0	0	0.4
4	0	0.4	1	0.4	0	0.0
5	2	0.9	0	0.0	0	0.4
6	2	0.8	3	0.0	1	0.7
9・1	8	1.2	3	0.5	2	0.4
2	28	2.3	3	0.7	0	0.3
3	4	1.0	9	0.4	0	0.4
4	2	0.6	4	0.4	0	0.5
5	2	2.1	10	0.4	0	1.1
6	2	0.5	16	0.1	0	0.7
10・1	4	2.0	6	0.6	0.2	0.8
2	4	1.4	4	0.6	0.8	0.3
3	16	1.1	7	0.6	0	0.7
4	7	1.5	2	0.7	0	0.4
5	6	2.6	6	0.8	1	0.5
6	6	2.1	8	0.6	0	1.4
計	94	22.7	83	11.0	8	24.2

フタバビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.1
3	0	0.1	0	0.3	0	0.2
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.2
4	0	0.3	0	0.1	0	0.3
5	0	0.6	0	0.2	0	1.0
6	0	0.5	0	0.1	0	1.0
7・1	0	0.1	0	0.2	0	0.3
2	0	0.4	0	0.4	0	0.1
3	0	0.3	0	0.7	2	1.6
4	0	0.7	0	2.7	9	5.2
5	0	1.2	2	2.8	2	6.1
6	0	1.4	2	1.4	3	7.2
8・1	3	1.8	1	1.8	2	3.2
2	0	2.9	3	2.0	12	5.4
3	0	3.0	10	3.9	2	17.5
4	0	3.2	19	5.6	21	25.2
5	2	5.6	8	2.9	5	23.3
6	3	3.0	6	1.7	9	23.7
9・1	1	0.7	1	0.6	0	8.2
2	1	0.1	0	0.1	0	2.2
3	0	0.4	0	0.0	0	0.9
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.2	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	10	27.9	52	28.4	67	133.8

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.7	0	0.1	0	0.0
4	0	0.2	0	0.1	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	1	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	1.4	0	0.6	3	2.6

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.4	0	0.3	0	0.1
2	0	0.2	0	0.3	0	0.0
3	0	0.4	0	0.3	0	0.3
4	1	0.0	0	0.4	0	0.4
5	0	0.0	1	0.3	0	0.5
6	0	0.4	0	0.1	1	0.5
5・1	0	0.4	1	0.5	0	0.1
2	0	0.9	1	0.9	1	0.0
3	2	0.9	1	1.3	0	1.0
4	1	2.2	0	4.8	0	0.5
5	1	0.7	0	5.0	0	1.2
6	0	2.3	0	1.5	0	1.2
6・1	0	0.8	0	1.5	6	1.1
2	0	0.9	0	1.2	1	1.3
3	0	1.7	0	1.9	2	2.3
4	1	1.1	2	5.3	0	1.8
5	0	0.8	10	4.7	5	2.7
6	0	0.9	19	7.1	5	2.6
7・1	2	0.6	9	6.3	1	2.9
2	0	0.2	10	7.9	5	1.5
3	0	0.2	11	4.7	0	1.1
4	0	0.0	0	3.8	0	0.9
5	0	0.1	1	1.6	2	0.4
6	1	0.4	3	0.9	1	0.3
8・1	0	0.1	5	0.7	1	0.6
2	2	0.6	0	0.5	0	0.2
3	1	0.2	0	0.2	1	0.4
4	2	1.2	0	1.0	0	0.4
5	2	0.6	0	0.2	0	0.0
6	1	0.1	1	0.4	1	0.3
9・1	0	0.1	1	0.1	2	0.3
2	0	0.0	1	0.3	0	0.0
3	0	0.1	2	0.1	3	0.3
4	0	0.1	3	0.0	1	0.0
5	0	0.0	1	0.1	6	0.5
6	0	0.1	1	0.2	5	0.7
10・1	0	0.0	3	0.0	15	0.2
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	2	0.0	0	0.4
4	0	0.0	1	0.3	2	0.1
5	0	0.0	3	0.0	3	0.0
6	1	0.0	1	0.0	0	0.1
計	18	19.7	94	67.0	70	29.2

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	1	0.0
6	0	0.1	0	0.3	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.5
3	0	0.0	0	0.4	0	0.6
4	1	0.0	0	0.2	1	0.2
5	0	0.4	0	0.6	0	0.5
6	1	0.4	3	0.2	0	0.7
9・1	1	0.1	1	0.1	0	0.2
2	0	0.1	1	0.7	0	1.0
3	0	0.1	0	0.7	0	1.0
4	0	0.1	2	1.4	1	2.1
5	0	0.1	0	0.8	1	2.2
6	0	0.2	0	0.2	0	2.0
10・1	0	0.0	0	0.8	0	2.1
2	0	0.0	1	1.0	0	2.1
3	0	0.1	0	0.2	0	0.2
4	0	0.1	1	0.4	0	0.2
5	0	0.0	0	0.7	0	0.3
6	0	0.0	0	0.1	0	0.2
計	3	1.9	9	8.9	4	16.4

ドウガネファイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	1	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.8	0	0.0	0	0.2
6	0	2.4	0	0.0	0	0.7
6・1	0	2.9	0	0.1	0	0.9
2	3	5.1	1	0.4	1	1.2
3	4	10.2	0	1.0	2	3.3
4	7	7.6	1	2.0	3	5.6
5	17	14.7	1	3.2	0	10.1
6	31	15.1	4	4.7	0	19.1
7・1	33	20.9	7	3.8	17	27.3
2	41	31.3	7	8.0	25	48.7
3	48	31.8	17	6.8	36	48.0
4	33	40.2	9	7.7	23	47.4
5	16	32.3	10	8.4	26	41.6
6	22	34.7	12	12.6	10	45.9
8・1	9	28.1	7	6.3	11	38.3
2	20	20.1	4	6.6	26	41.5
3	12	14.5	11	4.8	6	28.6
4	13	14.3	9	6.1	4	27.6
5	8	9.8	8	2.9	4	14.9
6	4	9.1	1	2.7	1	16.4
9・1	2	2.2	0	2.7	1	7.6
2	2	2.8	2	1.3	2	3.4
3	1	1.0	2	0.7	0	1.9
4	1	0.5	0	0.1	0	1.4
5	0	0.2	0	0.0	0	0.4
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	327	353.0	113	93.0	199	482.2

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.1	1	0.1
2	0	0.2	0	0.1	2	0.3
3	0	0.3	0	0.2	1	2.1
4	0	0.1	0	1.2	4	3.3
5	0	0.3	0	1.1	6	2.7
6	0	0.4	0	1.3	3	1.5
6・1	0	0.5	0	0.3	0	2.7
2	1	0.9	0	0.6	1	1.7
3	0	1.4	0	0.8	4	1.5
4	1	3.5	0	0.7	1	1.1
5	2	3.0	0	0.9	4	1.4
6	8	4.4	0	1.1	0	2.0
7・1	1	4.7	0	1.4	3	1.6
2	1	5.4	0	0.8	6	2.3
3	8	4.7	0	1.7	9	1.1
4	6	3.1	0	0.9	14	0.6
5	2	1.1	0	1.4	1	0.5
6	0	2.6	0	0.7	0	0.5
8・1	0	1.1	1	0.4	0	0.6
2	0	1.8	0	0.1	0	0.3
3	1	1.8	0	0.2	0	0.1
4	1	0.8	0	0.0	0	1.1
5	1	0.9	0	0.0	0	0.3
6	1	0.7	0	0.2	0	0.0
9・1	0	0.4	0	0.1	0	0.5
2	0	0.6	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	34	45.1	1	16.5	60	29.9

ヒメコガネ(予祭灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	1	0.0
3	0	0.0	0	0.0	2	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.4	0	0.0	0	0.4
2	2	1.9	0	0.1	0	1.9
3	3	4.4	0	0.0	1	0.5
4	8	9.9	0	0.2	1	2.0
5	17	27.1	1	0.8	1	7.0
6	36	32.0	1	0.7	0	19.3
7・1	63	62.3	5	1.2	52	38.6
2	92	117.0	4	2.1	61	85.7
3	100	166.0	5	4.4	117	147.7
4	157	230.4	4	3.7	118	207.6
5	211	299.0	3	3.4	159	197.0
6	311	462.8	14	5.8	106	230.4
8・1	344	484.4	6	3.6	66	157.6
2	299	434.2	2	2.8	47	119.2
3	243	384.1	7	1.9	13	78.0
4	267	339.9	3	1.2	15	47.4
5	187	269.5	0	1.1	5	22.1
6	147	210.7	0	0.3	2	13.7
9・1	45	103.7	0	0.6	0	3.3
2	93	57.8	2	0.1	0	0.3
3	46	48.1	1	0.1	0	0.1
4	11	13.8	0	0.0	0	0.0
5	10	6.0	0	0.2	0	0.0
6	2	1.6	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2,695	3,788	58	34.3	767	1,380

アカビロウドコガネ(予祭灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	1	0.0
6	0	0.1	0	0.0	2	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	1	0.1
3	0	0.1	3	0.2	1	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.2	2	0.0	0	0.4
6	0	0.0	1	0.2	1	0.5
6・1	0	0.1	0	0.0	0	1.2
2	0	0.9	0	0.1	0	0.7
3	0	0.6	0	0.4	0	0.6
4	2	1.7	0	0.0	0	1.3
5	5	2.8	0	0.8	0	3.0
6	3	3.8	2	1.1	0	6.6
7・1	3	6.3	0	2.2	5	5.5
2	1	12.4	1	1.5	8	7.0
3	5	12.2	0	1.9	8	5.9
4	7	9.5	1	0.9	4	3.6
5	5	8.3	2	1.6	0	3.3
6	0	7.7	0	1.0	2	3.8
8・1	0	3.8	1	0.3	0	1.3
2	0	1.9	1	0.2	0	0.4
3	0	2.1	0	0.3	0	0.2
4	3	1.8	3	0.1	1	0.6
5	2	1.2	1	0.4	1	0.3
6	2	3.4	0	0.3	0	0.6
9・1	0	1.1	0	0.4	0	0.2
2	4	1.0	2	0.1	1	0.1
3	4	1.0	0	0.2	0	0.3
4	2	0.8	0	0.0	0	0.1
5	2	1.9	0	0.2	0	0.1
6	0	0.7	0	0.2	0	0.0
10・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.1
3	1	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	52	88.0	21	14.7	36	48.0

平成16年に京田辺市の予祭灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
チャバネアオカメムシ	1.0	44.3	24.0	126.4	7.0	58.1
イチモンジカメムシ	—	—	72.2	—	—	—
ホソヘリカメムシ	296.5	—	120.9	—	216.9	—
コナガ	9.0	—	123.0	420.1	21.7	128.5
ハスモンヨトウ	1335.4	1456.7	2432.0	2204.1	1534.7	1206.0
シロイチモジヨトウ	282.3	63.1	—	—	—	—
カブラヤガ	—	—	95.0	—	—	—
タバコガ	25.0	34.4	69.0	75.4	6.0	26.9
オオタバコガ	9.9	35.2	90.0	371.0	5.0	11.0

* 4～10月の総誘殺数（カブラヤガは2～10月、チャバネアオカメムシは5～10月）。
 * 平成22年に亀岡市のハスモンヨトウのフェロモントラップの種類及び設置場所を変更した。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
チャノコカクモンハマキ	3069.3	3563.3	2706.4	2981.2	46.0	—
チャノホソガ	4092.4	11683.6	9660.4	8102.9	5584.5	—

* 4月～10月の総誘殺数。
 * 平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャバネアオカメシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
5・1	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	0.3
2	0.7	0.2	1.3	1.4	0.0	0.3
3	0.3	0.1	3.2	1.6	1.6	0.7
4	0.0	0.3	2.5	2.1	0.4	1.2
5	0.0	0.7	1.3	3.8	0.0	1.4
6	0.0	0.7	0.0	2.6	0.0	0.7
6・1	0.0	0.7	0.0	2.6	0.0	0.7
2	0.0	0.2	0.0	2.2	0.0	0.3
3	0.0	0.4	0.0	1.9	0.0	0.9
4	0.0	0.9	0.0	1.7	0.0	0.6
5	0.0	0.6	0.4	1.8	0.9	0.5
6	0.0	1.5	0.9	3.4	1.1	1.2
7・1	0.0	4.2	1.4	5.0	0.0	2.0
2	0.0	4.9	0.9	6.0	0.6	3.1
3	0.0	6.1	0.4	8.5	0.4	3.5
4	0.0	3.3	0.0	8.3	0.0	5.8
5	0.0	2.1	0.0	8.6	0.0	3.2
6	0.0	2.6	0.0	7.9	0.9	3.5
8・1	0.0	1.5	0.0	8.0	0.1	4.2
2	0.0	4.2	0.0	7.0	0.0	3.6
3	0.0	4.5	0.0	7.5	0.0	3.0
4	0.0	2.2	0.6	8.5	0.0	4.3
5	0.0	1.3	0.7	6.7	0.0	5.3
6	0.0	0.6	0.7	3.9	0.0	1.8
9・1	0.0	0.1	0.0	3.1	0.0	1.5
2	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.9
3	0.0	0.1	0.3	1.0	0.0	0.7
4	0.0	0.0	0.7	1.0	0.0	0.4
5	0.0	0.0	3.6	1.0	0.0	0.3
6	0.0	0.0	1.9	0.8	0.0	0.3
10・1	0.0	0.0	0.6	0.2	0.1	0.3
2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.4
3	0.0	0.1	0.0	1.0	0.1	0.3
4	0.0	0.0	0.3	1.4	0.0	0.3
5	0.0	0.0	0.7	0.6	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.3
5～10月計	1.0	44.3	24.0	126.4	7.0	58.1

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年
4・1	0.3	2.6	0.0	4.3
2	0.7	4.6	0.0	5.6
3	0.3	4.3	0.0	7.2
4	0.8	3.7	0.3	5.6
5	0.7	2.3	1.4	5.0
6	0.9	4.0	0.3	5.4
5・1	0.2	3.2	0.6	3.0
2	0.7	7.0	1.8	5.8
3	1.9	7.5	0.7	9.6
4	1.5	32.3	0.0	10.8
5	2.9	37.0	0.0	12.6
6	7.0	26.1	0.2	12.8
6・1	10.0	21.5	0.8	4.7
2	4.4	24.3	2.0	3.5
3	3.6	28.3	0.0	2.5
4	10.0	44.9	0.0	4.0
5	9.6	36.9	0.0	3.4
6	7.4	28.9	0.0	3.8
7・1	0.0	27.6	0.0	2.3
2	3.4	22.6	0.0	1.0
3	3.0	14.5	0.0	0.6
4	0.9	9.4	0.0	0.4
5	0.7	4.1	0.0	0.4
6	0.9	4.3	0.0	0.3
8・1	0.1	2.3	0.0	0.2
2	0.0	1.8	1.0	0.2
3	0.0	1.9	0.0	0.3
4	1.7	0.6	0.0	0.2
5	1.3	0.9	0.0	0.5
6	0.1	0.7	0.1	0.5
9・1	0.7	0.6	0.7	0.2
2	1.9	0.3	0.7	0.2
3	4.1	0.4	2.1	0.3
4	7.1	0.5	4.3	0.5
5	0.7	0.9	0.7	0.8
6	5.0	1.6	0.7	0.9
10・1	6.7	0.8	0.7	0.8
2	2.1	0.6	0.7	1.2
3	3.9	1.4	0.1	1.0
4	4.6	1.3	0.0	1.3
5	5.0	0.9	0.0	2.0
6	6.0	0.9	1.7	2.7
4～10月計	123.0	420.1	21.7	128.5

ハスモンヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
2	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0
3	0.4	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0
4	0.6	0.4	0.0	1.5	0.0	0.0
5	0.0	1.2	0.0	2.4	0.0	0.1
6	0.0	1.3	0.0	2.6	0.0	0.2
5・1	1.7	2.4	2.3	1.5	0.0	0.4
2	4.6	2.0	4.4	1.8	0.0	1.0
3	8.1	1.9	7.7	2.0	2.4	1.1
4	5.0	3.5	6.7	2.1	1.7	1.7
5	4.9	4.2	6.1	5.0	1.4	3.5
6	6.4	6.3	6.9	5.4	2.3	4.5
6・1	3.3	5.6	5.8	3.7	4.2	4.1
2	9.7	5.9	16.9	5.3	14.4	4.7
3	9.3	8.0	22.1	7.0	23.6	5.9
4	19.3	12.3	18.6	13.1	7.9	10.4
5	15.0	14.9	16.9	10.5	7.0	20.3
6	14.0	17.7	22.6	15.7	15.4	32.9
7・1	21.4	17.8	50.0	16.8	51.4	35.0
2	23.1	20.9	67.7	19.3	68.6	31.1
3	22.1	20.8	69.7	21.2	59.7	30.9
4	22.3	25.2	63.0	29.9	42.9	30.9
5	25.7	22.3	58.6	35.6	47.1	21.1
6	11.1	32.7	92.6	47.7	42.9	26.5
8・1	40.3	22.6	117.8	40.1	29.5	24.8
2	89.0	29.0	164.0	55.5	98.5	34.1
3	27.1	25.2	52.1	46.0	44.3	33.2
4	31.7	26.8	50.4	38.1	35.1	35.9
5	42.0	42.8	88.6	64.4	62.6	35.9
6	67.6	55.0	178.1	81.4	116.4	41.4
9・1	59.3	64.0	158.6	90.6	46.4	48.1
2	39.9	59.5	76.3	124.9	38.4	44.7
3	54.4	59.5	84.6	115.3	74.1	63.5
4	83.6	61.4	127.9	109.6	130.7	61.9
5	41.4	66.2	70.0	136.5	99.3	55.1
6	66.7	72.4	103.4	134.2	95.0	65.7
10・1	80.3	86.7	119.3	126.3	82.6	86.3
2	67.1	98.4	93.6	172.8	44.3	77.1
3	72.9	120.3	75.3	186.8	48.3	73.0
4	78.6	109.1	86.7	161.5	39.6	50.1
5	85.0	97.9	110.7	121.1	25.0	46.4
6	81.4	135.7	136.0	155.6	31.7	62.8
5～10月計	1335.4	1456.7	2432.0	2204.1	1534.7	1206.0

平成22年に亀岡市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

タバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.8	0.1	0.0	0.0
5・1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1
2	0.7	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.3	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.1
5	0.0	0.2	0.0	1.6	0.0	0.1
6	0.0	0.1	0.0	1.0	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.1
2	0.0	0.1	1.0	1.0	0.0	0.0
3	0.0	0.3	0.0	0.9	0.0	0.0
4	0.7	0.6	0.0	0.8	0.0	0.2
5	0.3	0.3	0.9	1.3	0.0	0.1
6	0.0	0.2	1.1	1.2	0.0	0.1
7・1	0.0	0.2	0.0	1.0	0.0	0.3
2	0.0	0.4	0.0	1.1	0.6	0.4
3	0.0	0.8	0.4	1.1	0.4	0.2
4	0.0	0.9	2.3	1.6	0.0	0.3
5	0.0	0.7	4.3	1.7	0.0	0.4
6	0.4	1.2	5.1	3.5	0.9	0.6
8・1	0.6	0.9	1.7	3.3	0.1	0.3
2	0.0	1.1	6.1	1.9	1.0	0.3
3	1.3	1.4	14.3	3.0	0.0	0.5
4	1.5	2.5	6.3	4.6	0.0	0.7
5	1.3	3.5	4.0	5.0	0.0	1.2
6	0.9	5.1	4.1	7.9	0.3	6.6
9・1	2.1	3.7	2.9	6.5	1.4	3.6
2	1.9	2.5	2.3	4.9	0.3	2.2
3	1.3	1.3	1.9	3.0	0.0	2.5
4	0.7	1.0	1.4	5.1	0.0	2.1
5	3.6	1.4	2.9	4.2	0.0	1.4
6	3.4	1.1	2.0	2.2	0.4	0.9
10・1	2.0	1.0	1.3	1.1	0.6	0.6
2	0.0	0.6	0.7	1.3	0.0	0.3
3	0.6	0.4	0.7	0.4	0.0	0.1
4	0.8	0.1	0.4	0.1	0.0	0.2
5	0.6	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2
6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
5～10月計	25.0	34.4	69.0	75.4	6.0	26.9

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1
4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
6	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0
5・1	0.0	0.1	0.0	0.9	0.0	0.0
2	0.0	0.4	2.7	2.2	0.0	0.1
3	0.8	0.6	2.9	2.6	0.0	0.1
4	0.2	0.7	1.5	4.8	0.0	0.1
5	0.0	0.2	1.1	4.0	0.0	0.1
6	0.0	0.2	1.4	3.3	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	3.3	2.9	0.0	0.2
2	0.0	0.2	1.6	2.0	0.0	0.1
3	0.0	0.1	1.4	0.9	0.0	0.1
4	0.0	0.9	2.1	1.3	0.0	0.0
5	0.0	0.6	3.9	2.6	0.0	0.0
6	0.0	0.2	4.1	4.5	0.0	0.0
7・1	0.0	0.3	0.7	7.0	0.0	0.0
2	0.0	0.2	0.7	5.7	0.0	0.0
3	0.0	0.4	0.4	4.8	0.0	0.0
4	0.0	0.5	0.0	3.3	0.0	0.0
5	0.0	0.1	0.0	1.5	0.0	0.0
6	0.0	0.1	4.3	2.9	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	1.5	5.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	3.8	6.6	1.0	0.0
3	0.0	0.0	2.9	6.6	0.0	0.0
4	0.6	0.0	2.9	4.7	0.0	0.0
5	0.4	0.2	2.9	5.0	0.0	0.0
6	0.1	0.5	6.0	7.6	0.0	0.9
9・1	0.7	0.5	15.7	6.2	0.0	0.4
2	1.3	0.2	10.6	10.8	0.0	0.0
3	1.1	0.2	6.1	18.4	0.3	0.1
4	0.7	0.6	1.4	23.7	0.7	0.3
5	1.4	0.6	0.0	21.6	0.7	0.7
6	0.6	0.6	0.4	26.1	0.3	0.8
10・1	0.0	2.1	0.7	29.3	0.0	0.7
2	0.0	2.9	0.7	29.5	0.0	0.9
3	0.0	4.1	0.1	26.6	1.1	0.4
4	0.3	3.9	0.0	32.3	0.9	1.1
5	0.7	5.8	0.0	27.3	0.0	2.1
6	0.9	7.1	2.0	26.7	0.0	1.7
5～10月計	9.9	35.2	90.0	371.0	5.0	11.0

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノホンガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	2.0	158.9	-	135.1	20.0	-
2	160.0	245.8	-	159.0	100.0	-
3	134.7	236.0	660.7	394.1	444.6	-
4	207.1	195.3	962.9	404.1	126.4	-
5	75.3	167.4	460.0	239.7	102.9	-
6	62.0	58.5	238.4	110.7	81.3	-
5・1	34.0	44.5	73.0	55.0	49.1	-
2	28.0	30.9	2.1	41.0	29.7	-
3	8.6	12.5	1.0	43.7	0.0	-
4	1.4	3.8	0.7	12.1	0.0	-
5	3.8	31.1	0.6	58.7	1.9	-
6	183.3	340.3	429.7	234.5	11.1	-
6・1	366.8	1054.3	529.5	204.7	135.0	-
2	326.5	1121.3	500.0	417.8	1043.6	-
3	224.9	1075.3	500.0	607.2	1227.9	-
4	134.8	504.9	859.3	696.5	549.0	-
5	111.2	149.1	1115.1	681.7	380.1	-
6	36.8	81.7	1065.3	216.8	381.4	-
7・1	57.3	166.9	183.6	159.9	25.0	-
2	85.1	520.9	278.4	315.8	45.1	-
3	148.6	853.1	242.4	407.9	55.7	-
4	107.7	973.8	152.9	363.6	43.3	-
5	263.3	488.9	75.7	244.7	40.7	-
6	71.5	219.3	45.1	258.6	28.1	-
8・1	148.5	126.7	18.9	177.1	17.0	-
2	105.0	181.1	19.3	99.3	25.0	-
3	71.5	252.8	38.6	83.4	17.9	-
4	79.0	266.1	50.6	93.0	26.9	-
5	105.7	324.3	56.7	94.3	33.6	-
6	128.8	258.5	59.1	175.3	43.7	-
9・1	80.8	114.2	132.5	102.8	55.7	-
2	57.3	138.7	70.5	63.3	32.6	-
3	75.6	168.5	67.6	66.6	23.3	-
4	142.3	188.9	117.9	116.9	47.9	-
5	70.1	254.6	108.1	162.3	97.6	-
6	13.6	355.0	83.4	144.9	78.3	-
10・1	17.2	147.5	50.0	94.0	30.7	-
2	55.0	79.8	122.1	51.6	55.7	-
3	54.1	42.1	117.0	44.5	36.0	-
4	18.3	98.3	31.7	20.9	20.9	-
5	12.3	18.0	37.1	21.6	12.9	-
6	12.8	14.2	36.3	17.6	6.9	-
4～10月計	4092.4	11683.6	9660.4	8102.9	5584.5	-

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H29	平年	H29	平年	H29	平年
4・1	0.0	2.3	-	0.2	0.0	-
2	3.0	7.1	-	0.5	0.0	-
3	4.0	45.3	6.0	11.4	0.0	-
4	32.0	85.5	15.0	20.1	0.0	-
5	92.0	117.0	22.1	37.3	0.0	-
6	177.0	179.7	12.7	81.6	0.0	-
5・1	366.0	373.6	34.7	113.6	1.3	-
2	642.7	417.2	147.9	202.4	2.4	-
3	519.9	395.1	213.0	205.8	3.1	-
4	237.4	249.1	143.6	137.4	2.1	-
5	90.0	116.3	15.0	45.2	1.1	-
6	9.0	34.5	6.0	13.3	0.0	-
6・1	0.0	5.4	0.3	4.8	0.0	-
2	1.0	3.0	1.4	4.8	0.0	-
3	20.3	20.2	1.4	44.4	0.0	-
4	42.8	65.9	24.3	60.4	0.6	-
5	100.2	94.6	84.7	134.6	1.0	-
6	104.8	91.1	108.7	193.0	1.4	-
7・1	92.0	109.7	43.6	138.9	2.9	-
2	27.4	61.6	15.6	64.7	2.4	-
3	5.9	30.5	5.4	23.1	1.9	-
4	0.8	11.0	0.7	64.4	0.9	-
5	0.0	12.6	7.1	37.3	0.7	-
6	21.3	40.1	37.1	41.4	0.9	-
8・1	31.4	64.0	42.9	46.9	0.3	-
2	33.3	43.5	42.9	36.3	3.0	-
3	24.0	36.8	31.4	38.0	0.0	-
4	5.2	14.2	16.4	29.4	0.0	-
5	2.8	5.3	6.9	21.3	0.0	-
6	1.0	4.3	10.3	47.0	0.0	-
9・1	1.0	12.0	11.7	66.2	0.7	-
2	9.8	21.9	54.8	117.0	0.3	-
3	54.3	82.2	121.1	160.2	0.0	-
4	73.3	95.6	342.9	153.7	0.0	-
5	64.5	97.4	300.6	122.7	2.3	-
6	37.2	122.6	252.9	104.6	3.1	-
10・1	10.2	139.6	197.1	120.9	3.6	-
2	61.8	130.8	114.3	94.5	6.4	-
3	46.3	54.1	110.0	73.0	3.0	-
4	17.3	31.2	88.0	32.7	0.6	-
5	5.1	24.7	11.4	15.7	0.0	-
6	1.3	15.0	4.5	20.8	0.0	-
4～10月計	3069.3	3563.3	2706.4	2981.2	46.0	-

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

(3) 黄色水盤の調査結果

月・半旬	H29	平年	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19
4・1	1.0	3.2	8.0	1.0	2.0	4.0	0.0	1.0	2.0	6.0	—	5.0
2	1.0	5.5	10.0	4.0	1.0	1.0	0.0	1.2	10.3	17.0	—	5.0
3	0.0	4.9	5.0	4.0	0.0	6.0	2.5	5.1	6.8	3.3	8.0	8.0
4	0.6	9.9	9.0	3.0	2.0	14.5	2.5	1.7	5.0	38.7	17.0	6.0
5	3.0	13.2	13.0	7.3	3.0	10.5	2.0	2.0	6.7	38.0	34.0	15.0
6	2.9	30.4	15.3	5.7	2.0	24.0	9.0	5.0	5.3	88.8	132.0	17.0
5・1	10.3	40.8	5.0	6.8	1.0	14.0	0.0	14.0	40.0	107.3	207.0	13.0
2	31.3	51.2	7.8	7.3	15.0	64.0	0.0	16.0	8.0	143.3	217.0	34.0
3	46.0	37.6	11.0	9.0	19.0	124.0	5.0	12.0	5.7	54.8	100.0	35.0
4	27.0	39.6	0.0	2.0	28.0	119.0	9.0	14.0	9.3	47.0	159.0	9.0
5	28.0	42.2	11.0	25.0	8.0	46.0	0.0	9.0	5.0	17.0	284.0	17.0
6	27.2	40.7	5.0	4.0	16.5	138.0	10.0	4.0	3.0	6.9	193.0	27.0
6・1	14.1	23.8	1.0	1.0	23.5	70.8	10.0	10.0	7.0	9.6	83.0	22.0
2	8.8	21.8	5.0	7.0	4.0	61.2	6.0	2.3	11.0	5.6	96.0	20.0
3	10.3	16.2	0.0	4.0	6.0	12.7	18.0	1.7	4.0	2.4	85.0	28.0
4	14.6	16.7	2.0	3.3	1.0	9.3	12.0	2.0	4.3	3.4	104.0	26.0
5	14.4	10.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	2.0	74.0	18.0
6	17.8	8.1	0.8	3.0	0.0	9.0	0.0	1.0	3.0	0.0	39.0	25.0
7・1	13.5	4.3	2.3	2.0	0.0	10.0	0.0	1.0	3.0	0.0	15.0	10.0
2	7.5	7.3	2.0	2.0	1.0	4.0	13.0	0.0	4.0	1.0	35.0	11.0
3	1.0	5.0	1.7	0.0	0.7	2.0	1.0	0.0	5.0	1.0	30.0	9.0
4	0.0	4.5	3.3	0.0	1.3	4.7	0.0	0.0	5.0	2.8	18.0	10.0
5	3.2	3.9	13.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.8	2.3	7.0	12.0
6	19.6	4.6	10.0	0.0	0.0	6.0	3.0	1.0	0.9	7.0	5.0	13.0
8・1	20.2	8.8	3.0	23.0	3.0	11.7	8.0	16.0	0.3	4.7	10.0	8.0
2	13.0	21.6	0.0	67.0	0.0	14.3	10.0	80.0	0.0	5.2	23.0	16.0
3	4.0	21.2	0.0	15.7	0.6	9.0	35.0	76.0	7.0	7.0	33.0	29.0
4	12.0	11.7	1.0	6.3	0.4	0.0	28.0	19.0	8.5	7.9	22.0	24.0
5	9.0	8.1	4.0	1.5	3.3	0.0	15.7	3.0	5.5	3.1	20.0	25.0
6	6.7	8.1	0.0	0.5	16.7	0.3	6.3	10.0	2.0	8.6	21.0	16.0
9・1	23.3	12.9	0.0	0.3	24.0	0.7	0.0	0.0	2.0	9.3	70.0	23.0
2	7.3	24.2	1.0	4.7	6.0	7.0	3.0	20.0	2.6	8.4	170.0	19.0
3	7.7	10.9	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	20.0	0.4	6.3	68.0	10.0
4	4.0	11.6	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	1.0	26.7	20.0	41.0	19.0
5	3.0	6.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	10.0	7.6	8.0	31.0	7.0
6	0.3	4.3	1.0	1.0	7.0	2.0	0.0	5.0	2.8	3.7	10.0	11.0
10・1	2.8	5.3	0.0	0.0	1.0	12.0	0.0	0.0	17.0	1.0	8.0	14.0
2	2.0	3.1	0.0	1.2	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	13.0	5.0
3	1.0	4.2	2.0	0.8	1.0	4.0	10.0	0.0	13.0	0.0	5.0	6.0
4	2.0	5.4	1.0	4.0	0.0	2.0	7.7	5.0	17.0	0.0	9.0	8.0
5	1.3	4.2	0.0	5.0	1.0	0.0	19.3	4.0	0.0	0.0	8.0	5.0
6	3.7	5.5	2.0	5.0	1.0	10.0	0.0	3.4	5.0	0.7	15.0	13.0
11・1	0.8	7.2	1.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.6	18.0	7.4	34.0	
2	4.3	9.2	0.0	0.0	2.0	10.0	15.7	10.0	10.0	4.7	30.0	
3	1.5	8.1	0.0	1.0	0.0	2.0	11.3	2.0	31.7	3.0	22.0	
4	0.5	6.2	0.0	2.0	1.0	21.7	10.0	0.0	6.3	2.6	12.0	
5	1.2	6.2	0.0	0.0	0.0	11.3	6.0	1.3	2.0	1.0	34.0	
6	1.8	5.3	1.0	0.0	1.0	5.0	3.0	6.7	0.0	0.0	31.0	
4~10月計	426.0	623.1	157.0	239.0	201.0	850.0	246.0	380.4	278.0	698.8	2519.0	653.0

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予 報 内 容 平年比(前年比)	根 拠	備考
葉いもち	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の穂いもちの発生量は平年比多かった(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、本田及び補植用苗での発生を認めていない(平年並) (2)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-) (3)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや少)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は、山城で平年比やや多く(+)、南丹で平年比やや少なく(-)、中丹で平年比少なく(-)、丹後で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在、葉いもちの発生は山城、中丹及び丹後で平年並、南丹で平年比やや少ない(-) (2)8月中旬現在、穂いもちの発生は山城、中丹及び丹後で平年並、南丹で平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)昨年8月の発生量は山城で平年比多く(+)、南丹、中丹及び丹後で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城で平年比多く(+)、南丹で平年比やや多く(+)、中丹及び丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月20日(3号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや多(並) [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの虫数は平年比やや少なく(-)、確認ほ場率も平年比やや低い(-) (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない(平年並)。	
	5月24日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや少ない [縞葉枯病] 発生量 並	(1)ヒメビウンカの越冬虫数は平年比やや少なく(-)、確認ほ場率は平年比やや低い(-) (2)昨年は、縞葉枯病の発生を認めていない(平年並)。	
セジロウンカ	6月21日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月第3半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生も認めていない(平年並)。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、本田見取り及び本田すくい取り調査の発生量は平年比やや少ない(-)	
トビイロウンカ (中晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月18日現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並)。	
	8月24日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月16日現在、予察灯への誘殺を認めていない(平年並)。 (2)8月中旬の巡回調査では発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高い(+と予想されている。	
(晩生水稲)	9月21日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、京田辺市と京丹後市の予察灯で誘殺を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高い(+と予想されている。	
ツマグロ	5月24日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)ツマグロヨコバイの越冬虫数は平年並、確認ほ場率は平年比やや低い(-)。	
ヨコバイ	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、本田での発生は平年並。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、本田見取り及び本田すくい取り調査での発生量は平年比やや少ない(-)。	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)前年8月は第2世代幼虫の発生を認めておらず(平年並)、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月25日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、南丹地域で発生を認めている(平年並)。	
	8月24日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	

イネミズゾウムシ	4月20日(3号)	発生量 やや少(少)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は京田辺市及び亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている(+)
	5月24日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は平年比やや少ない～少ない(-)。 (2)5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+) (3)5月第2半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は京田辺で並、亀岡及び京丹後で平年比少ない(-)
斑点米 カメムシ類	6月21日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、本田での発生は平年並、畦畔雑草での発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺で平年並、亀岡で平年比少なく(-)、京丹後で平年比やや少ない(-)。 (3)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡で平年並、京丹後で平年比やや少ない(-) (4)向こう1か月の気温は平年並または低いと予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、本田での発生は平年比やや少なく(-)、畦畔雑草では平年比多い(+) (2)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (3)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+と)予想されている。
(中晩生水稲)	8月24日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城で平年比やや多く(+)、南丹で平年並。 (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城及び南丹で平年並。 (3)山城の予察灯でミナミアオカメムシの誘殺を確認している(+)
その他 (注意事項)			

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類と ウイルス病	6月21日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想される。	
ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比多い(+) (3)普及指導員及び病害虫調査協力員から一部地域での発生が報告されている(+)	
	9月21日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒ダイズ、アズキとも平年並。 (2)9月上旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多い(+)、京丹後市で平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
吸実性 カメムシ類	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生は認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は平年並。 (3)7月第3半旬現在、予察灯(BL20W)へのイチモンジカメムシの誘殺数は例年並。	

	8月24日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は平年比やや多い (3)8月第3半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は例年比やや少ない(-)。 (4)8月第3半旬現在、ホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年並。	
	9月21日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第2半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は平年並。 (3)9月第2半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は例年並。 (4)9月第2半旬現在、亀岡市のホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年並。 (5)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
サヤムシガ類	7月25日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+)	
ハダニ類	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや多い(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月21日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒ダイズ、アズキとも平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年比多い(-)と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類とウイルス病	6月21日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月25日(6号)	発生量 多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比多い(+)	
	9月21日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒ダイズ、アズキとも平年並。 (2)9月上旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多い(+)、京丹後市で平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
ハダニ類	7月25日(6号)	発生量 やや多(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月21日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒ダイズ、アズキとも平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年比多い(-)と予想されている。	
オオタバコガ	8月20日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺は、京田辺市では発生を認めず(平年並)、亀岡市では平年比やや少なく(-)、京丹後市では平年比多い(+) (2)8月中旬の巡回調査で発生を認めている(+)	
その他 (注意事項)				

(5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月27日(2号)	発生量 並	(1)越冬罹病枝率は平年並であった。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少ないと予想されている。	
	4月20日(3号)	発生量 並(並)	(1)越冬罹病枝率は平年並であった。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	5月24日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月20日(3号)	発生量 並(並)	(1)前年10月の発生は平年並であった。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	5月24日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、平年比やや多い発生を認めた(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、幼果では発生を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
カキクダアザミウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量 並	(1)前年10月は被害を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少ないと予想されている。	
炭そ病(カキ)	4月20日(3号)	発生量 並	(1)前年10月の発生は平年並であった。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	
落葉病(カキ)	5月24日(4号)	発生量 少	(1)昨年10月は、発生を認めなかった(平年比少ない)(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
うどんこ病(カキ)	5月24日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、平年比やや多い発生を認めた(+)。 (2)前年10月の発生量は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または多い(+)と予想されている。	

べと病(ブドウ)	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	6月21日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 やや少(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
	8月24日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
ハダニ類 (カンキツ、ナシ、ブドウ)	5月24日(4号)	発生量 ナシ 並(並) カンキツ やや少 (やや少)	(1)5月中旬現在、ナシ、カンキツともに発生を認めなかった(ナシ:平年並、カンキツ:平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月21日(5号)	発生量 ナシ 並(多) カンキツ やや少 (やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシでは平年並、カンキツでは平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 ナシ やや少 (やや少) カンキツ やや少 (少)	(1)7月中旬現在、発生量はナシ、カンキツともに平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-と)予想されている。
	8月24日(7号)	発生量 ナシ やや多(多) カンキツ やや多 (多)	(1)8月中旬現在、発生量はナシ、カンキツで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-と)予想されている。
カキクダアザ ミウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量 並	(1)前年10月は被害を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少ないと予想されている。
カメムシ類 (果樹全般)	5月24日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量は丹後で平年比やや少なく(-)、京都市および南丹で平年並。 (2)5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数は京田辺市、亀岡市では誘殺を認めず(平年並)、京丹後市で平年比やや (3)5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市、京丹後市で平年並。 (4)5月第3半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯への誘殺数は京田辺市で例年並、亀岡市では例年比多く(+)、京丹後市では認めていない(例年並)。
	6月21日(5号)	発生量 山城 並 (やや少) 丹波 並(並) 丹後 やや少 (少)	(1)チャバネアオカメムシの予察灯での誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比少ない(-)。 (2)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)クサギカメムシの予察灯への誘殺を認めていない(平年並)。
	7月25日(6号)	発生量 山城 並 丹波 並 丹後 やや多	(1)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのチャバネアオカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのクサギカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比多い(+)
	8月24日(7号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (並)	(1)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数は京田辺市、亀岡市、京丹後市ともに平年並。 (2)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市、京丹後市ともに平年並。 (3)8月第3半旬現在、クサギカメムシの予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市、京丹後市で平年比多い(+)
その他 (注意事項)			

(6) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
もち病	3月27日(2号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 並(並)	(1)前年10月は山城、丹後で発生を認めず平年(例年)並、丹波で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少なく、日照時間は日本海側で平年比多く、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
	4月20日(3号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は山城、丹後で平年並、丹波では平年比やや多かった(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。	
	5月24日(4号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、山城では発生を認めている(平年比やや多い:+) が、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並) (2)昨年10月の発生は山城、丹後で認めず(平(例)年並)、丹波では平年比やや多かった(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波、丹後では発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多く(+) 、日照時間は平年並または少ない(+) と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 山城 並(少) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多く(+) 、日照時間は平年並または少ない(+) と予想されている。	
	炭そ病	4月20日(3号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。
5月24日(4号)		発生量 山城 多 (やや多) 丹波 並 (やや少) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
6月21日(5号)		発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 多 (やや多) 丹後 並 (やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+) と予想されている。	
7月25日(6号)		発生量 山城 並(多) 丹波 多(多) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城、丹後で平年並、丹波では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。	
8月24日(7号)		発生量 山城 並 (やや多) 丹波 並 (やや多) 丹後 多 (やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城、丹波で平年並、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多い(+) と予想されている。	
カンザワハダニ		2月28日(1号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 やや多 (並) 防除時期 3月上旬	(1)2月第5半旬現在、寄生率率は山城で平年比やや低く(-)、丹波で平年並。丹後では発生を認めなかった(例年並) (2)山城、丹後では産卵を認めず、産卵率率は山城で平年比やや少なく(-)、丹後で例年並。丹波では一部茶園で産卵を確認し、産卵率率は平年比やや高い(+) (3)発生ほ場率は山城で平年比やや低く(-)、丹波で平年並。丹後では発生を認めなかった(例年並) (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+) 降水量は平年並または少ない(+) と予想されている。
	3月27日(2号)	発生量 山城 少(少) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 並(並)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少ないと予想されている。	
	4月20日(3号)	発生量 山城 やや少 (少) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)4月中旬現在、山城、丹後では発生を認めず(山城:平年比少ない(-)、丹波:平年比やや少ない(-))、丹後での発生は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は平年並または多い(-) と予想されている。	

	5月24日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 やや多 (やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月21日(5号)	発生量 山城 多(多) 丹波 並 (やや多) 丹後 並 (やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多く(+)、丹波、丹後では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 山城 並(少) 丹波 やや多 (やや少) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城、丹後で平年並、丹波では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	8月24日(7号)	発生量 山城 やや少 (並) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 並 (やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比少なく(-)、丹後で平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月21日(8号)	発生量 山城 少(少) 丹波 やや少 (並) 丹後 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年比多い(-)と予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 山城 やや少 (並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波では平年並、丹後では発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-)と予想されている。
チャノホソガ	3月27日(2号)	発生量 山城 やや少 (並) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)前年10月は、山城は平年比やや少なく(-)、丹波は平年並、丹後では例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少なく、日照時間は日本海側で平年比多く、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	4月20日(3号)	発生量 山城 やや少 (やや少) 丹波 並(少) 丹後 やや多 (やや少)	(1)前年10月の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波では平年並、丹後では平年比やや多かった(+) (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
	5月24日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多 (並) 丹後 やや多 (並) 第2世代幼虫ふ化時期 6月第3半旬～ 6月第4半旬(並)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では平年比やや多い(+) (2)茶業研究所から、山城の一部地域での被害が報告されている(+) (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年並、綾部で平年比やや多く(+)、京丹後では過去3年の値と比較して多い(+) (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治、綾部ともに平年並。
	6月21日(5号)	発生量 山城 並(多) 丹波 やや多 (並) 丹後 並 (やや少) 第3世代幼虫ふ化時期 山城 7月第3半旬～第 4半旬(並) 丹波 7月第2半旬～第 3半旬(やや早)	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹後で平年並、丹波では平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市、綾部市ともに平年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや早い。 (4)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 山城 やや少 (並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 やや多 (やや少) 第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第3～第4半 旬(やや早) 丹波 8月第4～第5半 旬(並)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや少なく(-)、綾部市で平年比やや多く(+)、京丹後市3年の値と比較して多い(+) (3)第2世代成虫の発生時期は宇治市で平年比やや早く、綾部市では平年並。

	8月24日(7号)	発生量 山城 少(並) 丹波 並(並) 丹後 やや少(少) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第1半旬～ 9月第2半旬 (やや遅) 丹波 8月第6半旬～ 9月第1半旬(並)	(1)8月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比少なく(－)、丹波では発生を認めず(平年並)、丹後で平年比やや少ない(－)。 (2)第2世代成虫の発生時期は、宇治市で平年比やや遅く、綾部市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	9月21日(8号)	発生量 山城 並 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 多 (やや多)	(1)9月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で平年比多い (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
	10月18日(9号)	発生量 山城 並 (やや少) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)10月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後では平年比やや多い(+)	
チャノコカクモンハマキ	3月27日(2号)	発生量 山城 並 (やや少) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少なく、日照時間は日本海側で平年比多く、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
	4月20日(3号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並。	
	5月24日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並) 第1世代幼虫ふ化期 5月第4半旬～ 5月第6半旬(並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(平年並) (2)昨年10月の発生は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では発生を認めなかった(例年並)。 (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年並、綾部で平年比やや少ない(－)。 (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治では平年並。	
	6月21日(5号)	発生量 山城 やや多 (やや少) 丹波 やや多 (並) 丹後 並(並) 第2世代幼虫ふ化期 山城 7月第2半旬～ 7月第3半旬(並) 丹波 6月第6半旬～ 7月第1半旬(並)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城、丹後で平年並、丹波では平年比やや多い(+) (2)山城の一部で多発ほ場を認めている(+) (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市ともに平年並。 (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市、綾部市ともに平年並。 (5)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 山城 やや多 (やや少) 丹波 やや少 (少) 丹後 並(並) 第3世代幼虫ふ化期 山城 8月第2半旬～ 8月第3半旬 (やや早) 丹波 8月第3半旬～ 8月第5半旬(並)	(1)7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城で平年並、丹波で平年比少なく(－)、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)山城地域の一部で多発ほ場を認めている(+) (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市で平年比やや少ない(－)。 (4)第1世代成虫の発生時期は宇治市で平年比やや早く、綾部市で平年並。	
	8月24日(7号)	発生量 山城 並 (やや少) 丹波 並(並) 丹後 並(並) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第6半旬～ 10月第1半旬 (やや遅) 丹波 9月第4半旬～ 9月第5半旬(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後ともに平年並(丹波、丹後:発生を認めず)。 (2)第2世代成虫の発生時期は宇治市で平年比やや遅く、綾部市では平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並また (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並また	

	9月21日(8号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 (並) 丹後 やや多 (やや多)	(1)9月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では平年並。 (2)丹後では、成虫の飛翔が目立つ園を多く認めている(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
クワシロ カイガラムシ	4月20日(3号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並 (やや少) 丹後 並 (やや少)	(1)4月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後ともに平年並。	
	5月24日(4号)	発生量	山城 やや多 (多) 丹波 少(少) 丹後 並(少)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比少なく(-)、丹後では平年並。	
	6月21日(5号)	発生量	山城 並 (やや多) 丹波 少 (やや少) 丹後 並 (やや少)	(1)第1世代幼虫の発生量は山城、丹後で平年並、丹波では平年比少ない。	
	8月24日(7号)	発生量	山城 やや少 (やや少) 丹波 少(少) 丹後 多 (やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比少なく(-)、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
チャノキイロ アザミウマ	5月24日(4号)	発生量	山城 やや少 (やや多) 丹波 並 (やや多) 丹後 やや多 (やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波では平年比やや少なく(-)、丹後では発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量	やや少(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量	山城 やや少 (並) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量	山城 やや少 (少) 丹波 並 (やや多) 丹後 少 (やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並、丹後で平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月24日(4号)	発生量	山城 多(多) 丹波 多(多) 丹後 やや多 (やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量	多(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多い(+)	
	7月25日(6号)	発生量	山城 やや多 (やや少) 丹波 並 (やや多) 丹後 多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後では平年比多い(+) (2)病害虫調査協力員から、山城地域の一部で多発園を認めているとの情報が寄せられている(+)	
	8月24日(7号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城、丹後で平年比やや多く(+)、丹波で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
その他 (注意事項)					

(7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐病(果菜類)	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスでの褐色腐敗病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
うどんこ病(果菜類)	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、ナス、キュウリ、トウガラシで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、トマトでの発生は例年並、トウガラシ、キュウリ、ナスでは発生を認めていない(平(例)年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、トウガラシでは発生を認めず(例年並)、キュウリ、ナスでの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、トウガラシでは発生を認めず(例年並)、キュウリでも発生を認めず(平年並)、ナスでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
べと病(キュウリ)	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	(ウリ類) 6月21日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想される。	
	(キュウリ) 7月25日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	(アブラナ科) 9月21日(8号)	発生量 並(やや少)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(キャベツ:平年並、カブ:例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年比多い(+と)予想されている。	
	(アブラナ科) 10月18日(9)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多い(+と)予想されている。	
炭そ病(ウリ類)	6月21日(5号)	発生量 並(少)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	(キュウリ) 7月25日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	(キュウリ) 8月24日(7号)	発生量 並	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
褐斑病(キュウリ)	7月25日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや少	(1)8月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない(平年比やや少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
斑点細菌病(キュウリ、トウガラシ)	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	

べと病(アブラナ科野菜)	9月21日(8号)	発生量 並(やや少)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(キャベツ: 平年並、カブ: 例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年比多い(+と)予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多い(+と)予想されている。
白斑病(アブラナ科野菜)	9月21日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年比多い(+と)予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多い(+と)予想されている。
菌核病(キャベツ)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)前年秋期の発生は平年並であった。 (2)3月下旬の調査では、発生を認めなかった(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く(+、降水量は平年比少ない(-)と)予想されている。
	4月20日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
	9月21日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)本年5月の発生量は、平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年比多い(+と)予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 並(並)	(1)本年5月の発生量は、平年比多い(+) (2)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多い(+と)予想されている。
白さび病(アブラナ科野菜)	10月18日(9号)	発生量 多(やや多)	(1)10月中旬現在、発生量はダイコン、カブともに平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多い(+と)予想されている。
黒腐病・黒斑細菌病(アブラナ科野菜)	9月21日(8号)	発生量 やや多(やや少)	(1)9月中旬現在、キャベツで黒腐病の発生は認めず(例年並)、ダイコンでも黒斑細菌病の発生を認めていない(平年並)。 (2)生育初期の9月中旬に強い雨の日(台風)があり、感染の可能性が高まっている(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で平年比多い(+と)予想されている。
黒腐病(キャベツ)	10月18日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(+と)予想されている。
さび病(ネギ)	4月20日(3号)	発生量 並(少)	(1)4月中旬現在、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
	5月24日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。
アブラムシ類(アブラナ科野菜、野菜類)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月下旬のキャベツの調査では、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少ない(+と)予想されている。
	4月20日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)4月中旬現在、トマト(施設)では発生を認めず(例年並)、キャベツでの発生は平年比やや少なく(-)、ネギでは発生を認めず(平年比やや少ない(-))、ホウレンソウでは平年比やや少ない(-)。 (2)4月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と)予想されている。
アブラムシ類とモザイク病	5月24日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はキュウリ、キャベツ、ネギで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2)5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月21日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類のトマトでの発生は認めず(例年並)、トウガラシでの発生は例年比やや少なく(-)、キュウリでは平年比多く(+)、ナスでは平年並。 (2)6月中旬現在、トマト、トウガラシ、キュウリでのモザイク病の発生を認めていない(平(例)年並)。 (3)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや多い(+) (4)病害虫調査協力員からアブラムシ類(野菜)、ウイルス病(トマト)の発生が報告されている(+)

アブラムシ類 (野菜全般)	8月24日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、トウガラシでは発生を認めず(例年比少ない(-)、キュウリでも発生を認めず(平年並)、ナスでは平年比やや多い(+))。 (2)8月第4半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
ハダニ類(チャノホコリダニを含む) (果菜類)	5月24日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生量はナスで平年比やや多く(+)、キュウリで平年並、トウガラシでは発生を認めていない(例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
(野菜全般)	6月21日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、トウガラシでの発生は認めず(例年並)、キュウリでは平年並、ナスでは平年比多い(+))。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
(野菜全般)	7月25日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリでは平年比多く(+)、ナスでは平年比やや多く(+)、トウガラシでは例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
(野菜全般)	8月24日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、トウガラシでは発生を認めず(例年比少ない(-)、キュウリでも発生を認めず(平年並)、ナスでは平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
アザミウマ類 (果菜類)	5月24日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生量はナスで平年比やや多く(+)、キュウリで平年並、トウガラシでは発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
(果菜類)	6月21日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、トマト及びトウガラシでの発生を認め、キュウリ及びナスでの発生は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
(野菜全般)	7月25日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリでは平年比やや多く(+)、ナスでは平年並、トウガラシでは発生を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
(野菜全般)	8月24日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、トウガラシでは発生を認め、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでは平年比やや多い(+))。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
ハモグリバエ類(果菜類)	6月21日(5号)	発生量 やや少(並)	(1)6月中旬現在、トマト、キュウリでの発生は認めず(トマト、キュウリ:平年比やや少ない(-)、ナスでの発生は平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
(果菜類)	7月25日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、キュウリでの発生は平年比少なく(-)、ナスでは平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
(果菜類等)	8月24日(7号)	発生量 やや少(並)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年比少ない(-)、ナスでは平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
(野菜全般)	9月21日(8号)	発生量 果菜類 並(多) 葉菜類 多(多)	(1)9月中旬現在、発生量はキュウリで例年並、ナスで平年比少なく(-)、カブで例年比多い(+))。 (2)ダイコンで発生を認めている(発生ほ場率40%)(+)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。
コナガ (アブラナ科野菜)	3月27日(2号)	発生量 並(少)	(1)3月下旬のキャベツの調査では、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年比少ない(+))と予想されている。
	4月20日(3号)	発生量 並(やや少)	(1)4月中旬現在、キャベツでは発生を認めなかった(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で誘殺を認めなかった(平年比少ない(-))。京田辺市で誘殺を認め(3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
	5月24日(4号)	発生量 やや多	(1)5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや多い(+))。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡で平年比やや少なく(-)、丹後で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並と予想されている。

	8月24日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡で平年並、京丹後では平年比やや少ない(-)。 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡では平年並、京丹後では平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月21日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、キャベツでの発生は平年比やや多く(+)、ダイコン、カブでは発生を認めていない(ダイコン:平年並、カブ:例年並)。 (2)9月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年比やや多い(+) (3)9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認め、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並 (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年比多い(-)と予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 多(多)	(1)10月中旬現在、キャベツでの発生量は平年並、ダイコン、カブではともに平年比多い(+) (2)10月第2半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市では誘殺を認めず(平年並)、亀岡市、京丹後市ではともに平年比多い(+) (3)10月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年比やや多い(+)
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月23日(6号)	発生量 多	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
	8月24日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比多い(+)
	9月21日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、キュウリ、ナス、キャベツ、ダイコンとも発生を認めていない(平(例)年並)。 (2)9月上旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並、 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ](野菜全般)	9月21日(8号)	発生量 やや多	(1)9月第2半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年並、京丹後市で誘殺を認めず(平年並)。 (2)9月第3半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺で平年比多く(+)、亀岡で平年比やや少なく、京丹後で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。
ハイマダラノメイガ[ダイコンシンクイムシ](アブラナ科野菜)	9月21日(8号)	発生量 やや多(多)	(1)9月中旬現在、ダイコンでは発生を認めていない(平年並)。 (2)キャベツで発生を認めている(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。
シロオビノメイガ (ホウレンソウ)	8月24日(7号)	発生量 並	(1)8月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は、京田辺市、亀岡市で誘殺を認めず(平年並)、京丹後市では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月21日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月第2半旬現在、予察灯への誘殺は京田辺市、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年比多い(-)と予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	4月20日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)4月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	5月24日(4号)	発生量 多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	6月21日(5号)	発生量 やや多(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。
	7月25日(6号)	発生量 多(並)	(1)7月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	8月24日(7号)	発生量 多(並)	(1)8月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月21日(8号)	発生量 やや多(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で平年比多い(-)と予想されている。

	10月18日(9号)	発生量 多(多)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多い(-)と予想されている。	
ネギハモグリバエ(ネギ)	4月20日(3号)	発生量 やや少(やや多)	(1)4月中旬現在、発生を認めなかった(平年比少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	5月24日(4号)	発生量 並(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月21日(5号)	発生量 やや少(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月25日(6号)	発生量 やや少(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)山城地域の一部で多発ほ場を認めている(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	8月24日(7号)	発生量 やや少(やや少)	(1)8月中旬現在、小株では発生を認めず(平年比少ない(-))、大株で発生を認めている。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
	9月21日(8号)	発生量 やや少(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)一部、多発ほ場がみられる(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
	10月18日(9号)	発生量 やや少(並)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1ヶ月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	シロイチモジヨトウ(ネギ)	7月25日(6号)	発生量 多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)7月第3半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平年(平成18~26年の平均値)を大きく上回っている(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。
8月24日(7号)		発生量 多(並)	(1)8月中旬現在、小株では発生を認めず(平年並)、大株で発生を認めている。 (2)7月第3半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均を大きく上回っている(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並または多いと予想されている。	
9月21日(8号)		発生量 多(並)	(1)9月中旬現在、小株で平年比やや多く(+)、大株で発生を認めている (2)9月第2半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均を大きく上回っている(+) (3)キュウリ、ナス、ダイコンで発生を認めている(+) (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で平年比多いと予想されている。	
10月18日(9号)		発生量 多(多)	(1)10月中旬現在、発生量は小株で発生を認めず(平年並)、大株で発生を認めている(+) (2)10月第2半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均を大きく上回っている(+) (3)カブ、ホウレンソウで発生を認めている(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多いと予想されている。	
その他(注意事項)				

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気 温	降水量	日照時間
第1号	3月	2月28日	2月23日	平年並または高い	平年並または少ない	平年比多い
第2号	4月	3月27日	3月23日	平年並または低い	平年比少ない	(日本海側) 平年比多い (太平洋側) 平年並または多い
第3号	5月	4月20日	4月13日	平年比高い	平年並または多い	平年並または少ない
第4号	6月	5月24日	5月18日	平年比高い	平年並	平年並
第5号	7月	6月21日	6月15日	平年並または低い	平年並	平年並
第6号	8月	7月25日	7月20日	平年比高い	平年並または多い	平年並または少ない
第7号	9月	8月24日	8月17日	平年並または高い	平年並または多い	平年並または少ない
第8号	10月	9月21日	9月14日	平年並または高い	(日本海側) 平年並または多い (太平洋側) 平年比多い	平年並または少ない
第9号	11月	10月18日	10月12日	平年比高い	平年比多い	平年比少ない

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3 主要病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	14300ha	葉いもち	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：並	1902ha	7月中旬に山城地域で平年比やや多い発生となったが、全体的に平年並の発生で推移した。	7月上旬に曇雨天が多く、一時的に発生が多くなったが、7月中旬以降は晴れて高温の日が続いたことにより、発病が抑えられた。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年：並 前年：並	平年：多 前年：やや多	7794ha	8月に山城及び南丹地域で発生を確認し、南丹地域では平年比多い発生となった。中晩生品種での多発が予想されたため、8月22日付けで防除所ニュース第9号「中晩生水稲の穂いもちに注意！」を発表した。その後、9月には南丹及び中丹地域で平年比多い発生となった。	8月上中旬に曇雨天が続いたため発生が多くなった。	出穂期前後の防除を行っている。
		紋枯病	平年：並 前年：やや早	平年：多 前年：並	6678ha	7月から山城及び南丹地域で発生を確認、8月からは府内全域で発生を確認、9月まで全体的に平年比多い発生となった。	登熟は平年並であった。7月上旬及び8月下旬の平均気温は平年比高く、8月上旬中旬の降水量が平年比多く推移したことから発病が助長された。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
		白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
		稲こうじ病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
		イネミズゾウムシ	平年：早 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	11440ha	予察灯への初飛来は京田辺市(5月12日)で平年比早く、亀岡市(5月5日)で平年並、京丹後市(6月26日)で平年比遅かった。予察灯への誘殺数(4月第1半旬～5月第2半旬)は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比少なかった。本田での発生は平年比やや多く、中丹及び南丹地域で発生が多かった。	前年の新成虫の予察灯への誘殺数は平年比やや少ない～少ない。4月～5月にかけて平均気温は平年比高く推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロヨコバイ	平年：早 前年：並	平年：やや少 前年：少	4762ha	越冬世代幼虫の発生時期は平年比やや早かった。本田では、6月以降に府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない～少ない発生で推移した。	越冬密度は平年並であった。4月～5月にかけての平均気温は平年比高めに推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	6197ha	6月から発生を認め、9月まで平年並の発生に推移した。巡回調査では綿葉枯病の発生を認めなかった。	越冬密度は平年比やや少なかった。4月～5月にかけての平均気温は平年比高めに推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロウンカ	平年：遅 前年：遅	平年：やや少 前年：少	8580ha	予察灯への初飛来は、京田辺市(8月11日)及び亀岡市(8月24日)で平年比遅く、京丹後市(7月14日)で平年比やや遅かった。本田では7月から府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない発生に推移した。	飛来量は平年比やや少なかった。7月上旬及び8月下旬の平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビイロウンカ	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	予察灯への初飛来は、京田辺市及び京丹後市で9月8日、亀岡市で9月23日であったが、巡回調査では発生を認めなかった。	飛来量は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行う。
		ニカメイガ	平年：一 前年：並	平年：並 前年：並	1ha	予察灯及び巡回調査では発生を認めなかったが、丹波地域(亀岡市)の飼料米で発生を認めた。		常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセセリ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	1430ha	6月から丹波地域を中心に発生を確認したが、7月には山城地域で平年比やや多い発生となった。		常発地では本田防除を実施。
		コブメイガ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	472ha	7月に南丹地域の一部で発生を確認したが、全体的には平年並の発生に推移した。	飛来量は平年比少なかった。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ		アブトウ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：多	3ha	6月下旬～7月上旬にかけて丹後地域のイネ、飼料作物で多発ほ場を認め、7月下旬から次世代幼虫が多発することが予想されたため、7月10日付けで防除所ニュース第6号「7月下旬からのアブトウの発生に注意！」を発表した。	6月下旬に多飛来があったと考えられる。	次世代幼虫(7月下旬頃～)に対する薬剤防除の実施。
		斑点米カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8580ha	本田での発生は、7月までは平年並～やや少ない発生であったが、8月以降には平年比多い発生となった。 畦畔雑草での発生は、7月から平年比多い発生となった。 予察灯(60W)へのアカスジカメムシの誘殺数は平年並であった。 ヒゲホソドリカメムシの誘殺数は平年並であった。 以上の結果により、7月28日付けで発生予察注意報第1号を発表した。 優占種は、アカスジカメムシ、アカヒゲホソドリカメムシ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシであった。また、昨年に引き続きイネカメムシの発生が目立った。山城地域の晩生水稲ではミナミアオカメムシが9月以降に発生した。	カメムシ類増加の要因として、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。 ミナミアオカメムシの多発は、ほ場周辺雑草(カラシナ、ホナガイヌイナなど)の増加が考えられ、晩生品種(ヒノヒカリ)及びナイスでの発生が多い。 イネカメムシの発生が増加している原因については不明。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除(出穂期と傾穂期の2回)を行っている。 早生種の出穂が予想を上回って早まったことから、草刈り等の対策時期を逸したケースが見られた。
麦	252ha	うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	5月中旬の巡回調査では、小麦、大麦とも発生を認めていない。 平成22年以前の巡回調査では、同病の発生は認めておらず、平成23～27年は同病の調査を実施していない。	赤かび病と同時に防除されている。	今まで発生を認めていないため、同病に対する防除は実施していない。 赤かび病と同時防除となっている。
		赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	26ha	5月中旬の巡回調査では、大麦は発生を認めなかったが、小麦は、中丹地域で少発生を認めた(発生ほ場率：16.7%)。 本病の感染リスクの高い開花期(小麦)、約穀抽出期(大麦)の降雨で薬剤散布が遅れた時や発生しなが何年か続き、これに安心して、防除圧が低下した時に発生する。	小麦：本年の開花期は概ね晴天であったが、降雨で薬剤散布が実施できなかったほ場では、本病が少発生した。 大麦：栽培品種が「アサカゴールド」から早生品種の「サチホゴールド」に変わり、感染の危険度が高い約穀抽出期が同病の子のう胞子の飛散が低温で少ない4月上旬に早まった。また、同時期は晴天で薬剤散布が実施できた。	小麦では、開花期およびその1週間後の2回の薬剤散布、大麦では、約穀抽出期およびその1週間後の2回の薬剤散布を実施。 同上の薬剤散布を毎年、継続して実施するよ うに、毎年、春先に技術情報を出して啓発。
大豆(黒)	324ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	81ha	7、8月中旬の巡回調査では、発生を認めなかったが、9月に一部地域で少発生を認めた(発生ほ場率：25.0%)。本年の発生量は、平年比少ないで推移した。 当所の黄色水盤での本年の誘殺数は、平年並～平年やや多く推移した。	7月は、播種時および定植時の殺菌処理の効果があつたと考えられた。8月上、下旬の高温、8月上、中旬及び9月中旬の台風、前線等による降雨で、増殖が抑えられたと考えられた。	播種時の殺菌剤の浸漬処理および定植時の薬剤施用を実施。弱毒ウイルス接種によるモザイク病対策を中止してから特に上記の防除対策を重視している。 ほ場では、ハスモンヨトウ、吸害性カメムシ類との同時防除で対応。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	243ha	8、9月中旬の巡回調査では、南丹、丹後地域(発生ほ場率：概ね50.0%)で少発生を認め、本年の発生量は、平年並で推移した。 白葉葉の発生も少発生で、本年の発生量は平年並で推移した。 当所のフェロモントラップでの本年7～9月の誘殺数は平年比やや多い～多く推移した。	フェロモントラップの状況では、定植時から多発生が懸念されたが、台風等の多雨があつたものの、晴天時に薬剤散布の徹底ができたと思われ(7月31日付けで発表した発生予察注意報第2号による防除啓発の効果)。	開花期以降の薬剤散布(3回)。 注意報(7月下旬)の発表による防除の啓発。
		吸害性カメムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	162ha	7月中旬の巡回調査では、発生を認めなかったが、8、9月中旬の巡回調査では、南丹、中丹地域で少発生(発生ほ場率：概ね30.0%)を認め、本年の発生量は、平年並で推移した。		開花期以降の薬剤散布(3回)。 アブラムシ類、ハスモンヨトウとの同時防除で対応。
カンキツ	52ha	そうか病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、H27年に2ほ場で少発生を認めたのみ。	定期的な薬剤散布。	定期的な薬剤散布。
		黒点病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	6～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。	定期的な薬剤散布。	定期的な薬剤散布。
		かいよう病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。	栽培されている温州ミカンには、一般的に本病に対して耐病性と 言われている。	定期的な薬剤散布。
		ミカンハダニ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	23ha	6月、7月に少発生(発生ほ場率6月：33.3%、7月：33.3%)を認め、8月には中発生(発生ほ場率：100%)を認めたが、9月には少発生(発生ほ場率：100%)となった。 全体的には平年比やや少ない発生で推移した。	6月～7月中旬は梅雨前線の影響で降雨があり、発生が抑えられたと考えられた。 梅雨明け後の7月中旬～8月にかけては晴天と高温の日が多 く8月には中発生ながら全ての園で発生を認めた。9月は降 雨、低温の日が多く、少発生になったと考えられた。	定期的な薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
カンキツ		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：やや多	17ha	6月に中発生(発生ほ場率6月:33.3%)を認め、7月～8月は発生を認めなかった。9月は多発生(発生ほ場率:100%)を認めた。	6月～8月は降雨、猛暑の影響で増殖は抑えられたが9月上旬は晴天の日が多く、多発を招いたと考えられる。	定期的な薬剤散布。
ナシ	87ha	黒斑病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	45ha	丹後地域の「二十世紀」栽培ほ場では、5、6月で発生を認めず、7月に少発生(発生ほ場率:60.0%)を認め、8、9月には中発生(発生ほ場率:100.0%)を認めた。薬剤防除の遅れた一部のほ場では、多～甚発生を認めた。 全体的には平年並の発生で推移した。	梅雨以降は、9月を中心に降雨が続き、発生的好適条件になったと考えられる。また、降雨により薬剤防除が遅れた一部のほ場では、被害が大きくなったと考えられる。	薬剤散布。
		黒星病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	20ha	丹後、山城地域の「赤ナシ系統」栽培ほ場では、5月に少発生(発生ほ場率:20%)を認め、6月は発生を認めなかった。7、8月には再び少発生(発生ほ場率:20%)を認め、9月には中発生(発生ほ場率:40%)を認めた。 全体的には平年比やや多い発生で推移した。	9月の降雨と低温が発生を助長したと考えられる。	薬剤散布。
		ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：並	7ha	5、6月は発生を認めず、7月に少発生(発生ほ場率:9.1%)を認めたが、8月には発生を認めなかった。		薬剤散布。
		ハダニ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	37ha	5月は発生を認めなかったが、6～9月は少発生(発生ほ場率:6月:63.6%、7月:27.3%、8月:54.4%、9月:54.5%)を認めた。 薬剤防除の遅れた一部のほ場では、多～甚発生を認め、全体的には平年並の発生で推移した。	6～9月にかけて発生を認めたが、まとまった降雨があり、少発生に留まったと考えられる。 一方で、降雨により薬剤散布が遅れた一部のほ場では、被害が大きくなったと考えられる。	薬剤のローテーション防除。
		カメムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	越冬量調査でのチャバネアオカメムシの越冬量は平年比やや少なかった。果樹園での見取り調査では、カメムシ類の発生は認めなかった(平年並)。 チャバネアオカメムシの誘殺数は、8月までは京田辺市、亀岡市ともに平年並であったが、京丹後市では7月に平年比多い誘殺を認めた。9月には、いずれの地域も平年比多い誘殺を認めた。 クサギカメムシの誘殺数は、京丹後市では7月～9月に、亀岡市では8月～9月に、京田辺市では9月に平年比多い誘殺を認めた。 これらの誘殺状況を踏まえ、9月1日付けで発生予察注意報第3号を発した。	スズ、ヒノキの花粉の飛散量が多く、カメムシ類の餌となる繭果が豊富にあったため、第1世代以降の発生が増加し、7月以降、フェロモントラップへの誘殺も増えたものと考えられる。	薬剤散布。袋掛け。
		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：やや多	27ha	丹後地域の一部のほ場で多～甚発生を、山城地域のほ場で少～多発生を認めた。発生ほ場率は5月:54.5%、6月:72.7%、7月:0%、8月:9.1%であった。	ほ場、月によりばらつきがあり、5月の初期防除が遅れた一部のほ場では、多～甚発生となった。	薬剤散布。
		シンクイムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：少	0ha	6～8月の巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。袋掛け。
ブドウ	83ha	べと病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：少	44ha	6～8月は、概ね少発生で推移したが、9月は一部のほ場で多発生を認めた。発生ほ場率は6月:16.7%、7月:33.3%、8月:66.7%、9月:100%であった。 全体的に平年並の発生量で推移した。	初期防除の徹底と雨除けにより、7月～8月は少発生に抑えられたが、9月は雨が長く、多発生に繋がったと考えられる。	薬剤散布。雨除け。
		灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：並	0ha	5～6月の巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。雨除け。
カキ	208ha	炭そ病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
カキ		カイガラムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	本年の発生は認めなかったが、平成25年以降、発生が目立ってきているので、今後も動向には注視する必要がある。	薬剤散布。 今後、増加傾向を示せば散布薬剤の見直しが必要かも知れない。
		カメムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。 越冬量調査、予察灯の誘殺数の状況は、ナシのカメムシ類の項参照。	同左	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	22ha	7月に少発生(発生ほ場率:33.3%)を認め、8～9月は発生を認めなかった。	カイガラムシ類同様、平成22年以降増加傾向にあったため、動向を注視していたが、平成29年は7月に少発生を認めただけである。	薬剤散布。 今後、増加傾向を示せば散布薬剤の見直しが必要かも知れない。
		カキクダアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		薬剤散布。
チャ	1580ha	炭そ病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	1292ha	山城地域では、4月、一番茶期及び10月に発生が目立ち、全体的に平年比やや多い発生に推移した。丹波地域では6月、7月及び10月に平年比多い発生を認め、9月には平年比やや多い発生を認めた。丹後地域では、4月から8月までは平年並の発生で推移したが、秋期に発生が目立った。	前年11月～1月、6月下旬、8月中旬及び9月中旬の多雨により、発病が助長されたと考えられる。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除 多発園での萌芽期以降、被覆前の薬剤防除
		もち病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	83ha	山城地域では、5月、7月及び10月に山間部の茶園で発生を認め、5月、7月には平年比やや多い発生となった。丹波地域では、6月に平年比多い発生を、10月には平年並の発生を認めた。丹後地域では発生を認めなかった。	4月中旬、6月下旬及び9月中旬の多雨により、発病が助長されたと考えられる。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除 前年に多発した園では、萌芽～1葉期の防除
		灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	502ha	山城地域では、4月、一番茶期に平年比多い発生を認め、丹波地域では4月に、丹後地域では6月に平年比多い発生を認めた。	前年11月～1月の多雨により、発病が助長されたと考えられる。	秋期から冬期に掛けての薬剤防除
		チャノココクモクモンハマキ	平年：並 前年：やや遅い	平年：並 前年：並	431ha	巡回調査では、山城地域で4月、9月に、丹波地域では6月、9月に平年比やや多い発生を認め、9月には平年並の発生であった。フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市で平年並、綾部市では平年比やや少なく推移した。	4月から6月中旬にかけて晴天の日が続いたことにより、発生が助長されたと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除
		チャノホソガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	614ha	山城地域では4月に、丹波地域では5月、6月に、丹後地域では5月、10月に平年比やや多い発生を認め、9月には平年比多い発生を認め、10月には平年並の発生で推移した。フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市で平年並、綾部市で平年並に推移した。	天候や茶園の管理作業(整枝等)の時期により、幼虫発生期と茶芽の伸育期が重なった世代において、発生が増加したものと考えられる。	秋期最終発生時の薬剤防除
		カンザワハダニ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	790ha	山城地域で6月に平年比多い発生を、丹波地域で7月に平年比やや多い発生を認め、全体的には平年並の発生で推移した。	4月から6月中旬にかけて晴天の日が続いたことにより、発生が助長されたと考えられる。	越冬期及び萌芽期前後の薬剤防除 一番茶、二番茶摘採後の薬剤防除 同一薬剤の運用を避ける
		チャノミドリヒメヨコバイ	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	861ha	全域で5月から発生を確認し、全体的に平年比やや多い発生で推移した。特に、丹波地域の発生が目立ち、7月以降、平年比やや多い発生を認めた。	一部薬剤に対する感受性の低下 適期防除の未実施(二番茶摘採後、新芽伸育期)	二番茶摘採後、新芽伸育時の薬剤防除 チャノキイロアザミウマとの同時防除
		チャノキイロアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや多	1580ha	丹波地域で7月、10月に平年比やや多い発生を、丹後地域では7月に平年比多い発生を、9月には平年比やや多い発生を認め、全体的には平年並の発生で推移した。	4月から6月中旬にかけて晴天の日が続いたことにより、発生が助長されたと考えられる。 一部薬剤に対する感受性の低下	二番茶摘採後、新芽伸育時の薬剤防除 チャノミドリヒメヨコバイとの同時防除
		クワシロカイガラムシ	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：並	1148ha	山城地域では5月に平年比やや多い発生を、丹後地域では7月に平年比やや多い発生を、8月には平年比多い発生を認め、地域、園によって発生程度の差が大きく、ピリプロキシフェンMC剤を導入している園では発生が少ない。	ピリプロキシフェンMC剤を導入している地域では発生が抑えられている。 適期防除(幼虫ふ化期)の未実施	冬期のピリプロキシフェンMC剤処理(使用可能な地域) 他の地域では幼虫ふ化期の薬剤防除
冬春トマト	28ha	疫病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春トマト		灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	2ha	5月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：20%、例年並)。	5月中旬の降雨で多湿となった一部のハウスで発生を認めた。	発生を認めた時に薬剤散布。
		葉かび病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。 抵抗性品種の導入。
		うどんこ病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：-	4ha	6月中旬に、一部のほ場で少～中発生を認めた(発生ほ場率：40%、例年並)。	5～6月中旬の晴天で、高温、乾燥した一部のハウスで発生を認めた。	発生を認めた時に薬剤散布。
		アザミウマ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	8ha	5、6月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：40%)。	5、6月の晴天による高温で発生が増加した。	定植時の薬剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		コナジラミ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(例年並)。		定植時の薬剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	2ha	5月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：20%、例年並)。	5月の晴天による高温で、出入口を解放した一部のハウスで発生を認めた。	定植時の薬剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		ハスモンヨトウ	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	0ha	ほ場の見取り調査では、発生を認めなかった。 当所のアエロモントラップでの5～6月の誘殺数は、平年比やや多いで推移した。		発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
ナス(夏秋)	177ha	うどんこ病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	21ha	5～6月は発生を認めなかったが、7～9月に少～中発生を認めた(発生ほ場率：7月14.3%、8月57.1%、9月28.6%)。本年の発生量は、平年並で推移した。	8月は台風や前線の影響で続まった降雨の日もあったが、概ね晴れた日が多く、高温乾燥となったため、本病が多発した。毎年、毎年のことであるが、8月は高温のため、防除作業、剪定作業が進まず、本病の発生を助長。一方、9月は降雨が多く、気温が平年より低かったため、農家が意識的に防除作業を実施し、その結果、本病の発生が抑えられたと考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	6ha	8月中旬に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：14.3%)。本年の発生量は、平年並で推移した。		
		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	63ha	7月中旬は発生を認めなかったが、5～6月及び8～9月に少発生を認めた(発生ほ場率：5月83.3%、6月42.9%、8、9月28.6%)。本年の発生量は、平年比やや多いで推移した。	5～6月中旬の晴天で、高温となり、発生ほ場率が高くなった。	定植時の薬剤施用。 薬剤散布。 ソルゴ一障壁の導入。
		ハダニ類	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや多	67ha	概ね、少～中発生を認めた(7月に甚発生1ほ場、発生ほ場率：5月50.0%、6月42.9%、7月28.6%、8月57.1%、9月14.3%)。5～7月の発生量は、概ね平年比やや多い、8～9月は平年並で推移した。ナミハダニとカシワハダニが発生していた。	5～7月は高温で発生が増加、8～9月は降雨で発生が抑制されたと考えられた。	効果の高い薬剤による初期防除。 感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		アザミウマ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	120ha	概ね、少～中発生を認めた(6月に甚発生1ほ場、発生ほ場率：5月100.0%、6月100.0%、7月57.1%、8月71.4%、9月28.6%)。5月の発生量は平年比やや多い、6～9月は概ね平年並で推移した。主にヒラズハナアザミウマが発生していた。	5月は高温で発生が増加、6～9月は降雨で発生が抑制されたと考えられた。	定植時における薬剤施用。 薬剤散布。
		ハスモンヨトウ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	ほ場の見取り調査では、発生を認めなかった。 当所のアエロモントラップでの5～9月の誘殺数は、平年比やや多い～多いで推移した。		
キュウリ(夏秋)	121ha	べと病	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：並	40ha	5、8月は発生を認めず、6月には一部のほ場で少発生(発生ほ場率：25.0%)を、7月には中～甚発生(発生ほ場率：66.7%)を認めた。5～6月、8月の発生量は概ね平年並、7月は平年比やや多いで推移した。	7月上旬の多雨により発病が助長されたと考えられた。	発生初期からの薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要		
キウリ(夏秋)		炭そ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	15ha	7月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：50.0%、平年比やや多い)。	7月上旬の多雨により発病が助長されたと考えられた。	発生初期からの薬剤散布。		
		うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	16ha	7月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：33.3%、平年並)。		発生初期からの薬剤散布。		
		褐斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	32ha	6月に、少～中発生を認めた(発生ほ場率：100.0%)。本年の発生量は、平年並で推移した。		発生初期からの薬剤散布。		
		斑点細菌病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。				
		モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	32ha	7月に、中～多発生を認めた(発生ほ場率：66.7%、平年比多い)。		6月のアブラムシ類の発生が影響したと考えられた。	定植時の粒剤施用。 一部ほ場では弱毒ウイルス接種苗を利用。	
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	57ha	5～7月に、少発生を認めた(発生ほ場率：5月100.0%、6月75.0%、7月16.7%)。5月、7～8月の発生量は平年並、6月は平年比多いで推移した。		5～6月中旬の晴天で、高温となり、発生が増加した。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。	
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	32ha	5～7月に、少発生を認めた(発生ほ場率：5月33.3%、6月50.0%、7月66.7%)。本年の発生量は、概ね平年比やや多いで推移した。		5～6月中旬の晴天で、高温となり、発生が増加した。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。	
		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	88ha	5～7月に、中～甚発生を認めた(発生ほ場率：5、6月100.0%、7月66.7%)。5～6月、8月の発生量は平年並、7月は平年比やや多いで推移した。		7月の多発は、栽培終期で防除圧が下がったためと考えられた。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。	
		コナジラミ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	16ha	5、8月に、少発生を認めた(発生ほ場率：5月33.3%、8月50.0%)。5、8月の発生量は平年比やや多い、6～7月は平年並で推移した。			定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除	
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	113ha	9～11月に、少発生を認めた(発生ほ場率：9月60.0%、10、11月40.0%)。発生量は概ね平年比やや多いで推移した。			は種時の粒剤使用。 発生初期の薬剤防除。	
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	9～11月の調査では、発生を認めなかった(平年並)。 当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比やや多いで推移した。				
		ダイコン	242ha	コナガ	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	97ha	9月の調査では、発生を認めなかった(平年並)が、10、11月は少～中発生を認めた(発生ほ場率：10月20.0%、11月100%、平年比やや多い)。 当所のフェロモントラップ、予察灯60Wでの誘殺数は概ね平年比やや多いで推移した。	11月上旬の少雨により、発生が増加した。	発生初期の薬剤防除。
菌核病	平年：－ 前年：－			平年：多 前年：多	22ha	5月に、中～多発生を認めた(発生ほ場率：33.3%、平年比多い)。		4月中旬の多雨により、本病に感染したと考えられた。	発生初期の薬剤防除。	
黒腐病	平年：－ 前年：－			平年：やや多 前年：やや多	22ha	5月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：33.3%、平年比やや多い)。		5月の高温、5月中旬の大雨により、発病が助長されたと考えられた。	発生初期の薬剤防除。	
キヤベツ(春)	141ha	モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	47ha	5月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：33.3%、平年比やや多い)。	5月の高温で発生が増加したと考えられた。	他害虫との同時防除。		

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
キャベツ(春)		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	76ha	4～5月に、少～中発生を認めた(発生ほ場率：4月50.0%、5月83.3%)。3～4月の発生量は平年比やや少ない、5月は平年並で推移した。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。	
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	54ha	5月に、少～中発生を認めた(発生ほ場率：83.3%、平年比やや多い)。当所のアエロモントラップでの春季の誘殺数は、概ね平年比やや少ないで推移した。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。	
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	47ha	5月に、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：33.3%、平年比やや多い)。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。	
		菌核病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	26ha	9～11月の調査では、調査株には発生を認めなかったが、11月の調査の調査株外で発生(発生ほ場率：25.0%)を認めた。	発生初期の薬剤防除。	
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	9～11月の調査では、発生を認めなかった(平年並)。	発生初期の薬剤防除。	
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	0ha	9～11月の調査では、発生を認めなかった(概ね平年比少ない)。	他害虫との同時防除。	
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	43ha	9～11月の調査で、少発生を認めた(発生ほ場率：9月25.0%、10～11月50.0%、概ね平年並)。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。	
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	9ha	10月の調査で、少発生を認めた(発生ほ場率：25.0%)。発生量は概ね平年並で推移した。当所のアエロモントラップ、予察灯60Wでの誘殺数は概ね平年比やや多い～多いで推移した。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。	
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	9～11月の調査では、発生を認めなかった(平年並)。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。	
		さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	2ha	6月の調査(小株)で、一部のほ場で少発生を認めた(発生ほ場率：20.0%、平年並)。(大株)の調査では、5、6月に発生を認めた(発生ほ場率：5月16.7%、6月40.0%) ※ [小株：概ね葉長40cm以下のネギ 大株：概ね葉長40cm以上のネギ	発生初期の薬剤防除。	
ネギ(夏)	59ha	黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	8ha	調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。(大株)の調査では、7、9月に発生を認めた(発生ほ場率：7、9月14.3%)	発生初期の薬剤防除。	
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	18ha	5、7月の調査(大株)で、発生を認めた(発生ほ場率：5月33.3%、7月：28.6%)。実際は、京都府南部のほとんどのほ場で発生していた。	発生初期の薬剤防除。	
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	47ha	5～8月の調査(小株)で、発生を認めた(発生ほ場率：5月40.0%、6月20.0%、7月50.0%、8月75.0%)。大株の調査では、5～9月に発生を認めた(発生ほ場率：5月66.7%、6、7、8月100.0%、9月57.1%)。	媒介虫であるネギアザミウマの防除(産雄性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。 春期の伝染源と考えられるタマネギでのネギアザミウマの防除の徹底。	
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7ha	5、9月の調査(小株)で、少発生を認めた(発生ほ場率：5月40.0%、9月25.0%)。4～8月は概ね平年並、9月は平年比多い発生で推移した。	発生初期の薬剤防除。	

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ネギ(夏)		シロイチモジヨトウ	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや少	30ha	7、9月の調査(小株)で、少～中発生を認めた(発生ほ場率：7、9月25.0%)。大株の調査では、7～9月に発生を認めた(発生ほ場率：7月14.3%、8月50.0%、9月57.0%)。	以前は、地区単位で交信かく乱剤を使用して本種の発生を抑えていたが、その取組も取り止めとなり、昨年来、多発生が続いている。 登録農薬数剤については、薬剤感受性の低いものがあり、使える薬剤に限りがある。	発生初期の薬剤防除。
		ネギハマモグリバエ	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	30ha	5～7月、9月の調査(小株)で、少発生を認めた(発生ほ場率：5～6月80.0%、7月50.0%、9月75.0%)。本年の発生量は、平年比少～やや少ないで推移した。 山城地域の一部で多発ほ場を認めた。		発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：やや少	54ha	4～9月の調査(小株)で、概ね少～中発生を認めた(発生ほ場率：5、9月75.0%、6～8月100.0%)。本年の発生量は、概ね平年比やや多いで推移した。	南丹市以南の地域では産雌性系統が優占し、産雌性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、本種による被害が多い一要因と推察された。	発生初期の薬剤防除(産雌性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
		さび病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	10～11月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。 ※ [小株：概ね葉長40cm以下のネギ 大株：概ね葉長40cm以上のネギ		発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	10～11月の調査では、小株、大株とも発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		べと病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	0ha	10～11月の調査(大株)では、発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	94ha	11月の調査(小株)で、発生を認めた(発生ほ場率：20.0%)。大株の調査では、10～11月に発生を認めた(発生ほ場率：10、11月50.0%)。	南丹市以南の地域では本病を媒介するネギアザミウマの産雌性系統が優占し、産雌性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、このことが本病の発生を助長する一要因と推察された。 本病の第一感染源であるタマネギに隣接するほ場ほど発生が早く、また発生量も多くなる傾向が認められた。	媒介虫であるネギアザミウマの防除(産雌性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	10～11月の調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：少	94ha	10～11月の調査(小株)では、発生を認めなかった(平年並)。大株の調査では、11月に発生を認めた(発生ほ場率：50.0%)。		発生初期の薬剤防除。
		ネギハマモグリバエ	平年：- 前年：-	平年：やや少 前年：並	125ha	10～11月の調査(小株)で、少～多発生を認めた(発生ほ場率：10月80.0%、11月50.0%)。本年の発生量は、平年比少～やや少ないで推移した。		発生初期の薬剤防除。
ホウレンソウ	329ha	ネギアザミウマ	平年：- 前年：-	平年：多 前年：並	145ha	10～11月の調査(小株)で、少発生を認めた(発生ほ場率：10月100.0%、11月50.0%)。10月の発生量は、平年比多い、11月は平年比少なかつた。	南丹市以南の地域では産雌性系統が優占し、産雌性系統に比べ殺虫剤感受性が低い傾向が強く、本種による被害が多い一要因と推察された。	発生初期の薬剤防除(産雌性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
		アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	82ha	4～5月の調査で、少発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、5月100.0%)。4～5月の発生量は、概ね平年並で推移した。 10～11月の調査では発生を認めなかった(平年並)。	5月の高温で発生が増加したと考えられた。 9～10月の台風等による多雨で発生が抑えられた。	他害虫との同時防除
		ヨトウガ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：並	0ha	4～5月、10～11月の調査では発生を認めなかった(平年並)。		他害虫との同時防除

II 重要病害虫侵入警戒調査等の実施

(I) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

1 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	-	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	-	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

2 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査梨園3か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

(II) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメにおいて、国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)によるウメ輪紋病の発生が確認された。

本ウイルスはアブラムシ類が媒介し、サクラ属のウメ、モモ、スモモ等の果樹が感染、発病する。発病樹は葉や花卉、外果皮に斑紋が現れるとともに、早期落果により収穫量が減少する。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するため、全国調査が実施された。

平成21年以降も毎年、全国的な調査が行われており、本府においてもウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域
 - 平成29年5月29日：城陽市
 - 平成29年5月30日：福知山市、綾部市、舞鶴市
 - 平成29年5月31日：京丹後市
 - 平成29年6月 5日：亀岡市
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所
- 4) 調査方法
 - ①調査園及び周辺園を見取り調査。
 - ②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。

5) 調査結果

①発病を認めなかった。

②LAMP法による検定で、全て陰性であった。

種 類	調査地域数	調査園数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウ メ	7	7	175	0
モ モ	5	5	125	0
合 計	12	12	300	0

(Ⅲ) キウイフルーツかいよう病発生状況調査

平成26年5月に、国内の複数のキウイフルーツ生産県において、かいよう症状を呈した発病樹から国内で発生報告がなかったキウイフルーツかいよう病菌の新系統（Psa3）が確認された。

本系統の発病樹は、花蕾の褐変、腐敗や枝幹の枯死等の収穫量の減少に直結する被害をもたらし、国内のキウイフルーツ産業への影響が危惧されている。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するために緊急全国調査が実施され、本府においても調査を行った。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 キウイフルーツ
- 2) 調査日時・地域 平成29年5月31日：宮津市 2園
平成29年6月 5日：亀岡市 1園
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府
- 4) 調査方法 調査園を見取り調査。
- 5) 調査結果 発病を認めなかった。

(Ⅳ) 輸出植物検疫協議の迅速化委託事業に係る調査

全国調査に参画し、果樹病虫害の調査を実施した。

輸出相手国が侵入を警戒する病虫害について、発生の有無を調査し、各調査対象病虫害の府内における発生状況を評価した。

今年度は以下のとおり調査を行い、モモシンクイガ、モモノゴマダラノメイガ、ナシヒメシンクイ及びミカンハモグリガの発生を確認した。

害虫名 \ 項 目	調査作物	調査方法	調査時期
モモシンクイガ	ナシ	フェロモントラップ調査	8月～10月
モモノゴマダラノメイガ	ナシ、カキ、クリ	フェロモントラップ調査	8月～10月
ナシヒメシンクイ	ナシ、カキ	フェロモントラップ調査	8月～10月
ミカンバエ	カンキツ	落果果実の切開調査	10月、11月
ミカンハモグリガ	カンキツ	見取り調査(葉)	10月、11月
カンキツかいよう病	カンキツ	見取り調査(葉、果実)	10月、11月

Ⅲ. 調査・試験の結果

単年度試験研究成績(2018年3月作成)

近畿中国四国農業>病害虫> >虫害>Ⅳ-12-g

実施課題名：難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立
(1)各種有色ネットに対するミカンキイロアザミウマ及びヒラズハナアザミウマの行動反応特性の解明

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業・食品産業技術総合研究機構、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2017年度)

1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこでアザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類などの微小害虫を対象に、様々な色及び目合いの防虫ネットに対する行動反応特性について明らかにする。

2. 方法

- (1) 供試虫：ミカンキイロアザミウマ(2016年7月13日に京都府宇治市小倉町の現地施設トウガラシから採集、ソラマメを寄主に22.5℃長日条件下で累代飼育した系統)およびヒラズハナアザミウマ(2016年8月18日に京都府舞鶴市三日市の現地施設トウガラシから採集、ソラマメを寄主に22.5℃長日条件下で累代飼育した系統)
- (2) 供試防虫ネット：0.8mm目合い赤白、赤赤、赤黒、黒白、黒黒及び白ネット
- (3) 実験場所：京都府農林水産技術センター農林センター内昆虫実験室(25℃15L9D)
- (4) 実験方法

初生葉のみを残したインゲンマメ(品種：つるなしプラス菜豆)の苗を、各供試防虫ネットでそれぞれ覆った。その後、苗を飼育ケージ(幅304mm×奥行250mm×高さ280mm;ツマグロヨコバイ類大量飼育箱)へ入れ、ミカンキイロアザミウマもしくはヒラズハナアザミウマの雌成虫をそれぞれ20匹放飼し、25℃長日条件下(15L9D)に設定した恒温器内に設置した。放飼24時間後にネット内への侵入成虫数を調査した。反復は10とした。

3. 結果の概要

- (1) ミカンキイロアザミウマでは、黒白及び赤黒ネットが白ネットに比べてネット内への侵入を約3分の1に有意に抑えた(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定, $p < 0.05$) (図)。
- (2) ヒラズハナアザミウマでは、赤白ネットが白ネットに比べてネット内への侵入を有意な差は認められないが約3分の1に抑えた(逆正弦変換値を用いたTukey-Kramerの多重比較検定, $p < 0.05$) (図)。

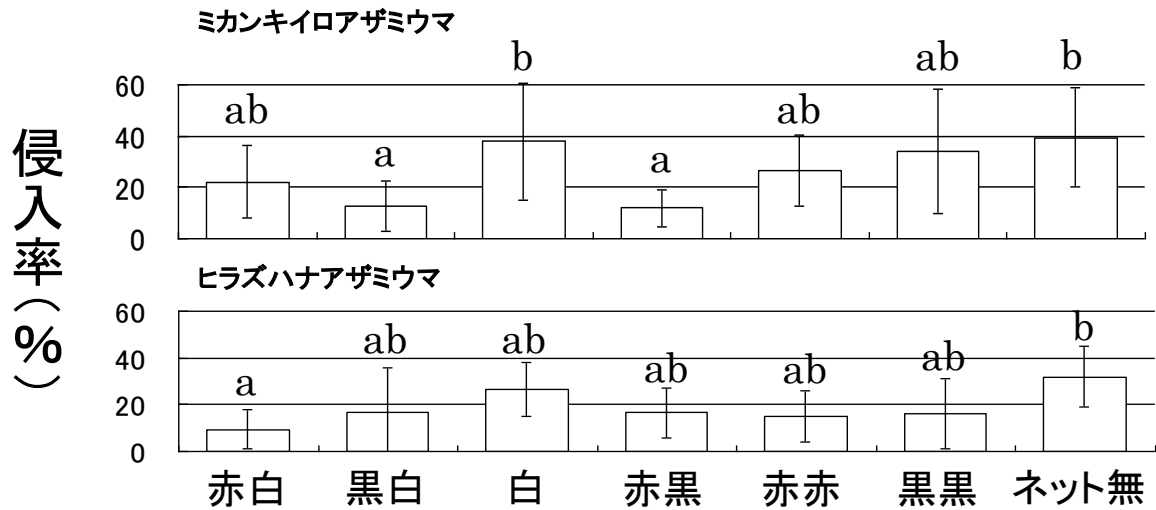


図 ミカンキイロアザミウマ及びヒラズハナアザミウマ成虫に対する各種防虫ネットの侵入抑制効果

同一目合いにおいて異なる文字間で有意差あり
 (逆正弦変換値を用いた Tukey-Kramer の多重比較検定, $p < 0.05$)

4. 結果の要約

ミカンキイロアザミウマでは黒白及び赤黒、ヒラズハナアザミウマでは赤白の防虫ネットでそれぞれ高い侵入抑制効果を示した。

[キーワード]ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、赤、防虫ネット、侵入率

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等

特になし

実施課題名：難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立
(2)施設トマトにおける各種防虫ネットを用いた各種微小害虫の防除効果試験

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋・檜垣誠司

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業・食品産業技術総合研究機構、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2017年度)

1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこで、施設トマトにおける各種防虫ネットのアザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類などの微小害虫に対する防除効果について明らかにする。

2. 方法

(1) 試験場所：京都府農林水産技術センター農林センター内 ビニルハウス
(京都府亀岡市余部町和久成9)

(2) 耕種概要

品種：桃太郎8 定植：2017年6月23日 畝幅120cm×株間50cm
区制：1区1ハウス(面積：68.4㎡)、42株

(3) 試験区の概要

0.8mm赤白ネット区、同赤赤ネット区、同赤黒ネット区、同白ネット区
それぞれの防虫ネットをハウスサイド及び入口に展張

(4) 調査方法

調査株数：20株/区、上位、中位、下位の3葉/株、反復なし
調査時期：2017年7月3日から8月21日まで約7日間隔
調査項目

アザミウマ類：発生密度、発生種

コナジラミ類：発生密度、発生種、黄色粘着板への誘殺虫数

ハモグリバエ類：潜行幼虫数、発生種、黄色粘着板への誘殺虫数

3. 結果の概要

(1) アザミウマ類の発生は、0.8mm赤赤ネット区及び赤白ネット区で7月上旬から始まった。

その後、トマト株では試験区間にアザミウマ類の発生密度に大きな差は見られなかったが、8月下旬における0.8mm赤黒ネット区での発生密度は白ネット区の約8分の1に抑えた(図1)。発生種はミカンキイロアザミウマとヒラズハナアザミウマであった。

(2) コナジラミ類の発生は、赤白ネット区で7月上旬から始まった。その後、8月上旬までは各試験区において断続的に発生した。8月下旬における0.8mm赤黒ネット区での発生密度は、白ネット区の約2分の1に抑えられた(図2)。発生種はオンシツコナジラミのみであった。

(3) ハモグリバエ類の発生は、7月中旬から赤赤ネット区でのみ断続的に見られたが、潜行幼

虫数は少なく推移したため防除効果は判然としなかった。

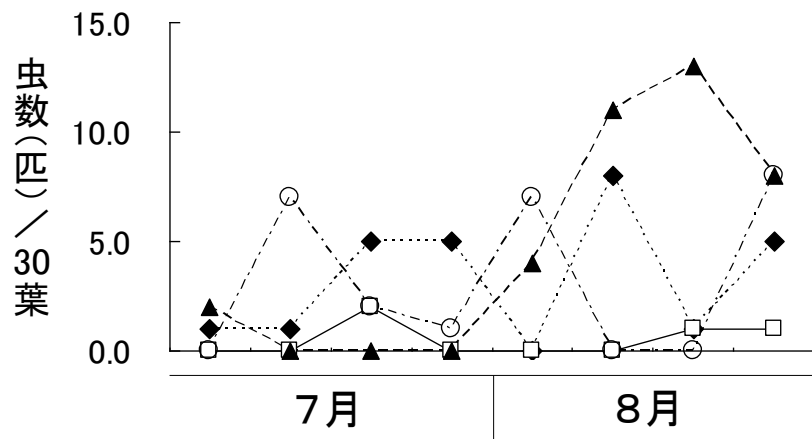


図1 各種防虫ネットを展張したトマトハウスにおけるアザミウマ類の発生推移
◆:赤白ネット、□:赤黒ネット、▲:赤赤ネット、○:白ネット

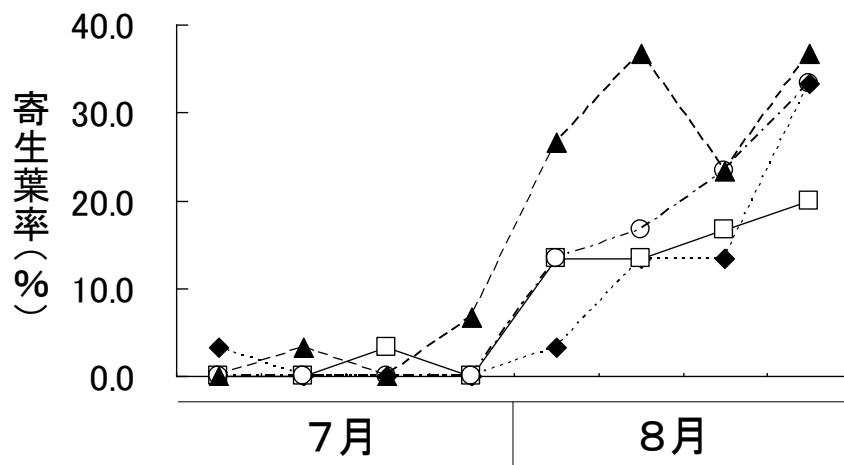


図2 各種防虫ネットを展張したトマトハウスにおけるコナジラミ類の発生推移
◆:赤白ネット、□:赤黒ネット、▲:赤赤ネット、○:白ネット

4. 結果の要約

0.8mm 赤黒ネットをトマトハウスサイド及び入口に展張したハウスにおいて、オンシツコナジラミの発生密度を白ネットの約2分の1に、アザミウマ類を約8分の1にそれぞれ抑えた。

[キーワード] オンシツコナジラミ、ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、赤、防虫ネット

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

(1) 体系化試験の実施。

6. 結果の発表、活用等

特になし

実施課題名：難防除微小害虫の色に対する視覚反応の解明と反応特性を利用した防除技術の確立
(3)ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病に対する赤色防虫ネットの防除効果

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋

協力分担：日本ワイドクロス株式会社、農業・食品産業技術総合研究機構、京都農技セ・農林セ・園芸部

予算(期間)：SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)(2017年度)

1. 目的

ネギ、トウガラシ類などの野菜生産現場では、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類などの微小害虫が多発し、生産物の品質低下などの被害が生じている。また、アザミウマ類、コナジラミ類では殺虫剤感受性の低下が報告され、殺虫剤のみに頼った防除には限界が生じており、化学殺虫剤に頼らない物理的防除法や生物的防除法の開発が求められている。物理的防除法の一つとして期待される赤色防虫ネットは、これまでにネギアザミウマ及びミナミキイロアザミウマに対する防除効果が報告されているが、そのメカニズムや他の微小害虫に対する防除効果については明らかにされていない。そこで、ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病に対する赤色防虫ネットの防除効果について、複数の設置方法により明らかにする。

2. 方法

(1) 試験場所：京都府農林水産技術センター内 ネットハウスネギほ場
(京都府亀岡市余部町和久成9)

(2) 区制・面積・株数

1区1ハウス・面積 21.6 m²、192株(株間14cm、条間25cm)、反復2

(3) 栽培概要

品種：耐病総太り

定植日：2017年6月13日(播種日：2017年4月7日)

(4) 試験区

0.8mm赤赤ネット全面被覆区、同天井被覆区、同サイド区、ネット無区

(5) 調査内容

調査日：2017年7月3日、20日、8月1日、14日の4回。

調査方法：各区任意10株の全葉を対象にネギアザミウマの虫数、被害程度(4段階)、ネギハモグリバエの被害程度(4段階)及びネギえそ条斑病の被害葉数を調査。

3. 結果の概要

(1) 0.8mm赤赤ネットを全面被覆したネットハウスではネギアザミウマの発生密度をネット無区の約10分の1に抑えた。また、同サイド区でもネギアザミウマの発生密度を約2分の1に抑えた(以上、図1)。

(2) 0.8mm赤赤ネットを全面被覆したネットハウスでは、ネギえそ条斑の発生葉率は1.0%以下で推移した。また、同天井被覆区及び同サイド区でも、発病葉率をネット無区の約3分の1に抑えた(以上、図2)。

(3) ネギハモグリバエの発生は、試験期間中認められなかったため、各種防虫ネットの防除効果は判然としなかった。

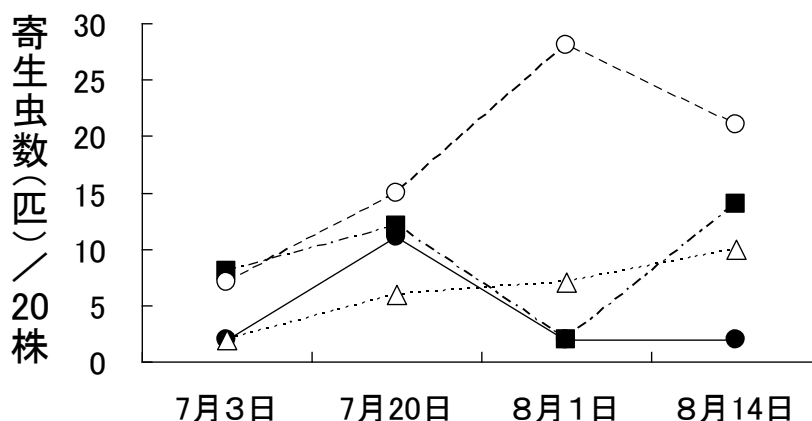


図1 各試験区におけるネギアザミウマの季節的発生推移

●:0.8mm赤赤ネット全面被覆区、■:同天井被覆区、
△:同サイド区、○:ネット無区

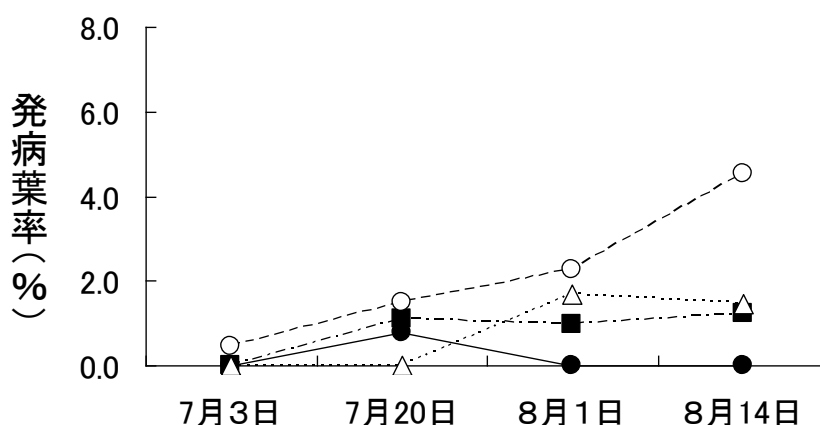


図2 各試験区におけるネギえそ条斑病の季節的発生推移

●:0.8mm赤赤ネット全面被覆区、■:同天井被覆区、
△:同サイド区、○:ネット無区

4. 結果の要約

0.8mm 赤赤ネットを全面被覆したネットハウスではネギアザミウマの発生密度をネット無区の約 10 分の 1 に抑えた。また、同サイド区でもネギアザミウマの発生密度を約 2 分の 1 に抑えた。また、0.8mm 赤赤ネットを全面被覆したネットハウスにおけるネギえそ条斑病の発病葉率は低かった。

[キーワード]ネギアザミウマ、ネギえそ条斑病、赤、防虫ネット、発生密度

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

(1) 現地試験の実施。

6. 結果の発表、活用等

(1) 徳丸 晋 (2017) 新型赤色防虫ネットの開発及び利用技術の確立 ア. 赤色防虫ネットによるネギアザミウマの侵入抑制効果、平成 29 年度農林センター試験研究成績報告会

(2) 伊藤 俊 (2017) 新型赤色防虫ネットの開発及び利用技術の確立 イ. 赤色防虫ネット被覆がネギの生育に及ぼす影響

実施課題名：ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立

(1) 京都府におけるネギえそ条斑病の季節的発生推移

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：檜垣誠司・徳丸 晋・久下一彦・橋本典久・山口雄也

協力分担：府内各農業改良普及センター、JA京都中央、JA京都やましろ

予算(期間)：消費安全対策交付金(2017年度)

1. 目的

平成26年6月に府内で初めて、*Iris yellow spot virus* (IYSV：アイリス黄斑ウイルス)によるネギえそ条斑病の発生を確認した。本病は多発すると収穫調製作業の負担増や栽培意欲の低下、さらには収穫放棄に至るなど発生地域では大きな問題となっている。病原ウイルスはネギアザミウマにより媒介されるが、府内のネギ栽培(干しネギ等)における伝染環をはじめとした本病の発生生態は不明な点が多い。

そこで、2016年に引き続き、主要な産地におけるネギえそ条斑病及びネギアザミウマの季節的発生推移を明らかにする。

2. 方法

(1) 調査場所：京都市伏見区淀・八幡市岩田(機械植栽培)のネギほ場

(2) 調査期間：平成29年4月～平成30年3月までの期間中、1～2週間間隔で調査

(3) 調査方法：タマネギ及びネギほ場において、任意の25株についてえそ条斑の有無(条斑がある場合は発病葉数)及びネギアザミウマによる被害を程度別に調査した。また、えそ条斑を認めた場合は、DAS-ELISA法によりIYSVの感染の有無を確認した。

なお、ネギアザミウマによる被害程度は以下のとおり区分して調査し、被害度を算出した。

A：1株の全葉数のうち51～100%の葉にえそ条斑あり

B： " 31～50% "

C： " 11～30% "

D： " 1～10% "

E： " えそ条斑 無し

被害度 = (4A + 3B + 2C + D) / 4 × 調査株数

3. 結果の概要

(1) タマネギにおける本病の発病葉率は4月下旬の10.3%が最高で、2016年(最高：100%)に比べかなり低く推移した。ネギアザミウマの被害度も5月上旬の32が最高で、2016年(最高：62)に比べ低く推移した(図1)。

(2) ネギにおける本病の発病葉は4月から認められ、発病葉率は5月から7月にかけて高くなり、7月中旬(9.9%)に最も高くなった。8月以降は低くなり、9月にはわずかに認める程

度となった。また、発病葉率が最も高くなる時期は2016年の6月下旬(4.6%)よりも少し遅く、発病葉率は前年の2倍以上高かった(図2、3)。

(3) ネギアザミウマの被害度は2016年同様、4月以降、高まった。2016年は9月末以降、被害度は低下したのに対し、本年は10月末まで高く推移した(図2、3)。

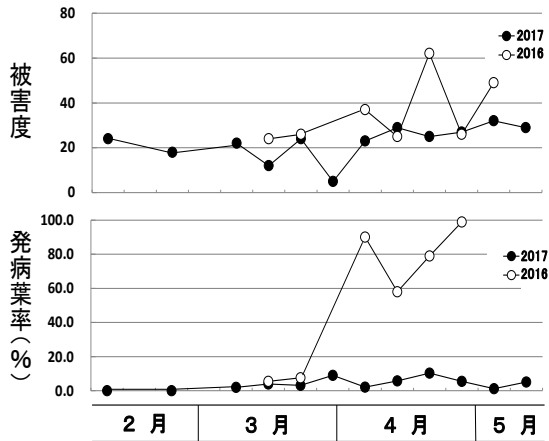


図1 タマネギにおけるネギアザミウマの被害度及びネギえそ条斑病の季節的推移 (京都市伏見区淀)

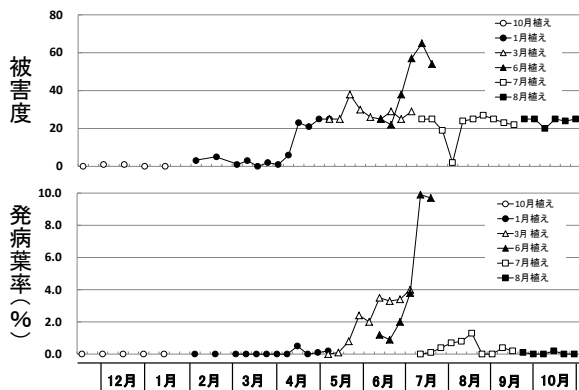


図2 ネギアザミウマの被害度およびえそ条斑病の季節的発生推移 (京都市伏見区淀:2017)

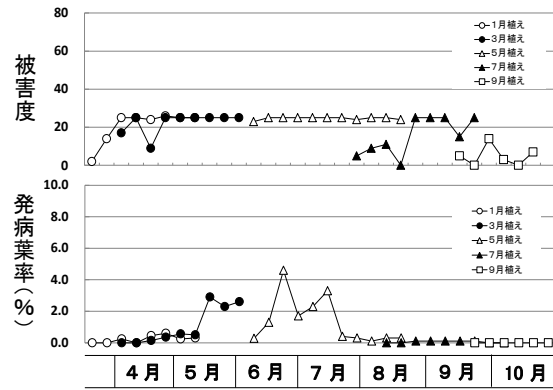


図3 ネギアザミウマの被害度及びネギえそ条斑病の季節的発生推移 (京都市伏見区淀:2016)

4. 結果の要約

府内主要産地におけるネギえそ条斑病及びネギアザミウマの季節的発生推移を調査した結果、ネギえそ条斑病の発病葉率は7月中旬に最も高くなった。ネギアザミウマの被害度は4月以降高くなり、10月末まで高く推移した。

[キーワード]ネギえそ条斑病、ネギアザミウマ、季節的発生推移、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 無病徴ネギにおけるウイルス感染有無
- (2) ネギアザミウマの保毒虫率

6. 結果の発表、活用等

なし

実施課題名：ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立

(2) ネギえそ条斑病・ネギアザミウマの地理的分布調査

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：檜垣誠司・徳丸 晋・久下一彦・橋本典久・山口雄也

協力分担：府内各農業改良普及センター、JA京都中央、JA京都やましろ

予算(期間)：消費安全対策交付金(2017年度)

1. 目的

平成26年6月に府内で初めて、*Iris yellow spot virus* (IYSV: アイリス黄斑ウイルス) によるネギえそ条斑病の発生を確認した。本病は多発すると収穫調製作業の負担増や栽培意欲の低下、さらには収穫放棄に至るなど発生地域では大きな問題となっている。病原ウイルスはネギアザミウマにより媒介されるが、府内のネギ栽培(干しネギ等)における伝染環をはじめとした本病の発生生態は不明な点が多い。

そこで、初夏、秋期及び早春に府内各地域のネギほ場において、ネギえそ条斑病の発病状況及びネギアザミウマによる被害程度について調査し、府内における両者の地理的分布を把握する。

2. 方法

(1) 調査場所：府内全域のネギ栽培ほ場

(2) 調査時期：平成29年6月、10月、平成30年2月(山城地域のみ)

(3) 調査ほ場数

6月：山城 19ほ場、丹波 11ほ場、丹後 5ほ場

10月：山城 18ほ場、丹波 7ほ場、丹後 5ほ場

2月：山城のみ 17ほ場

(4) 調査方法：各ネギほ場において、任意の25株についてネギえそ条斑の有無(条斑がある場合は発病葉数)及びネギアザミウマによる被害を程度別に調査した。また、えそ条斑を認めた場合は、DAS-ELISA法によりIYSVの感染の有無を確認した。

なお、ネギアザミウマによる被害程度は以下のとおり区分して調査し、被害度を算出した。

A：1株の全葉数のうち51～100%の葉にえそ条斑あり

B： " 31～50% "

C： " 11～30% "

D： " 1～10% "

E： " えそ条斑 無し

被害度 = $(4A + 3B + 2C + D) / 4 \times$ 調査株数

3. 結果の概要

(1) ネギえそ条斑病の発生は南丹市八木町以南の地域で認めた一方、同市美山町以北の地域では認めなかった(図1)。

(2) ネギえそ条斑病の発生は山城地域で最も多く、次いで丹波地域で、山城及び丹波地域ともに6月に多く、10月は少なく、2月には認めなかった(図2)。なお、丹後地域では発生は認められなかった(図2)。

(3) ネギアザミウマによる被害は山城地域で多く、次いで丹波地域で、丹後地域では少なかった(図3)。また、山城及び丹後地域では、被害は6月に比べ10月は少なかった

(図2)。

(5) 2月の山城地域における調査では、17ほ場中5ほ場でネギアザミウマによる被害を確認した(図2、被害程度はいずれも少発)。

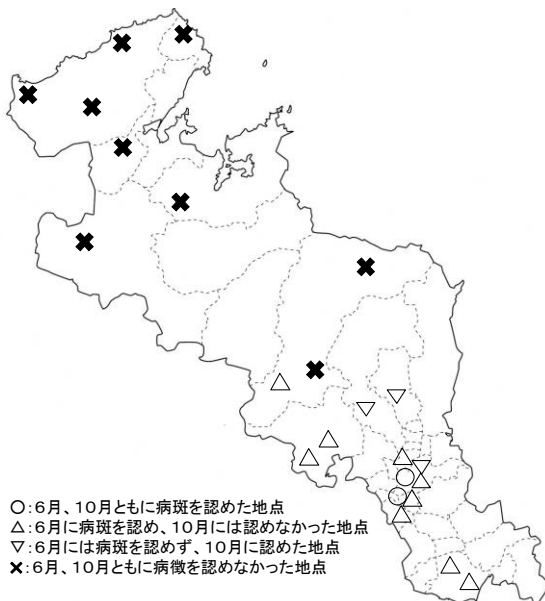


図1 京都府におけるネギえそ条斑病の発生状況

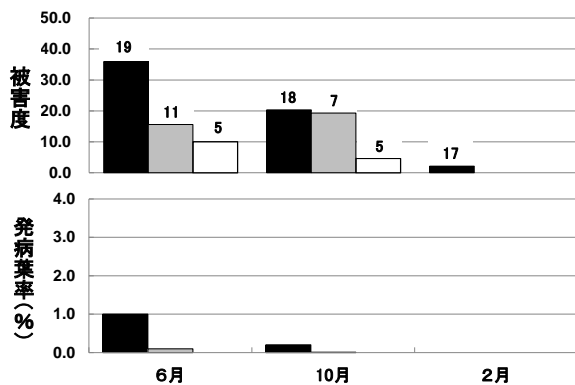


図2 各地域におけるネギアザミウマの平均被害度(上)とネギえそ条斑病平均発病率(下)
 ■:山城 □:丹波 □:丹後 グラフ上の数値は調査ほ場数

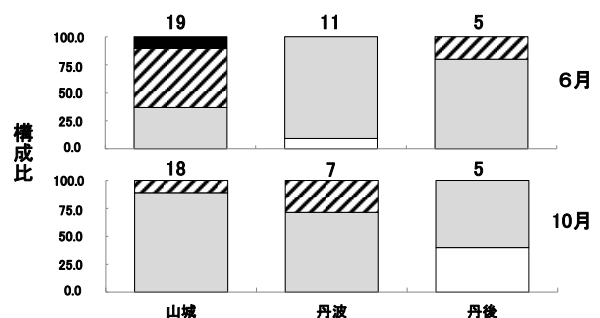


図3 各地域におけるネギアザミウマによる被害度の構成比

□:被害度0(無) □:同1~25(少発) ▨:同26~50(中発) □:同51~75(多発) ■:同76~100(甚発)
 グラフ上の数値は調査ほ場数

4. 結果の要約

府内各地域におけるネギえそ条斑病の発生及びネギアザミウマによる被害程度を調査した結果、ネギえそ条斑病の発生は南丹市八木町以南で認めた一方、同市美山町以北の地域では認めなかった。ネギアザミウマによる被害程度は、府南部地域ほど高い傾向が見られた。

[キーワード]ネギえそ条斑病、ネギアザミウマ、地理的分布、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

(1) 調査の継続

6. 結果の発表、活用等

なし

実施課題名：新病害ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立
(3)京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布調査

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋・橋本典久・山口雄也・檜垣誠司

協力分担：宇都宮大学、香川県農政水産部農業試験場、府内各農業改良普及センター

予算(期間)：消費安全対策交付金(2017年度)

1. 目的

平成26年6月に府内の約9割(約270ha)のネギ産地でIris yellow spot virus (IYSV:アイリス黄斑ウイルス)による新病害ネギえそ条斑病が発生。収穫放棄、出荷調整の負担増による生産意欲の低下などの影響が出ている。本病の病原ウイルスはネギアザミウマにより媒介されるが、府内のネギ栽培(干しネギ、切りネギ)における伝染環を始めとした本病の発生生態は不明な点が多く、有効な防除体系は未確立である。そこで、京都府におけるネギえそ条斑病の発生生態について明らかにする。ここでは、本病の防除対策を構築するため本病を媒介するネギアザミウマの府内での生殖系統の地理的分布を明らかにする。

2. 方法

(1) 調査場所：丹後、丹波および山城地域の現地ネギおよびタマネギほ場

(2) 調査期間：平成29年4～10月の期間中随時

(3) 調査方法：各ほ場においてネギアザミウマの発生の有無を調べ、発生を認めた場合は、雌成虫を10～20頭程度、吸引ポンプにより採集した。採集した雌成虫は、実験室へ持ち帰り、22.5℃長日条件下(15時間明期、9時間暗期)で、芽出したソラマメ(柴尾, 2013)を餌にして、一頭飼育法(Sogo et al., 2015; Aizawa et al., 2016)により飼育した。次世代で雄成虫を確認した場合は、生殖系統を産雄性生殖系統と判定し、雌成虫を確認した場合は、さらに一頭飼育法により次々世代まで飼育を継続し、次々世代の羽化成虫により生殖系統を判別した。供試虫数は15頭とした。

3. 結果の概要

(1) 府内16地点のネギおよびタマネギほ場から採集したネギアザミウマの生殖系統を調べた結果、15地点で産雄性生殖系統を確認した(図1)。

(2) 山城地域では、産雄性生殖系統が優占し、丹後では産雌性生殖系統のみを確認した(図1)。

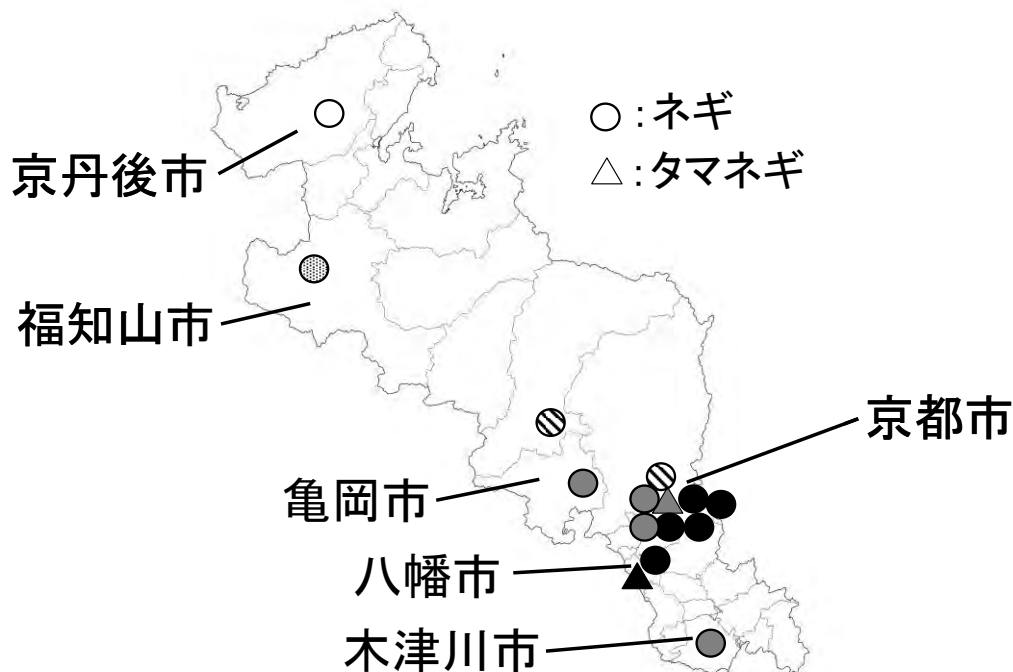


図1 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統(2017年)

● : 産雄性系統100% ● : 同80~99% ◐ : 同50~79%
 ◑ : 同1~49% ○ : 同0%(産雌性系統100%)

4. 結果の要約

府内のネギおよびタマネギにおけるネギアザミウマの生殖系統を一頭飼育法により調べた結果、府内16地点のうち15地点で産雄性生殖系統を確認し、山城地域では、産雄性生殖系統が優占した。

[キーワード]ネギアザミウマ、産雄性単為生殖、産雌性単為生殖、生殖系統、京都府

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 調査の継続。
- (2) 両系統の生物学的特性の解明。

6. 結果の発表、活用等

- (1) 徳丸 晋 (2017) 葱の虫害対策、葱の虫害対策講習会
- (2) 徳丸 晋 (2017) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布および薬剤殺虫効果、第22回農林害虫防除研究会岩手大会
- (3) 徳丸 晋・橋本典久・山口雄也・檜垣誠司 (2018) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の発生実態、平成29年度近畿中国四国農業試験研究推進会議病害虫推進部会問題別研究会
- (4) 徳丸 晋・橋本典久・檜垣誠司 (2018) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布および季節的発生推移、第62回日本応用動物昆虫学会鹿児島大会

実施課題名：新病害ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立

(4)京都府におけるネギアザミウマの殺虫剤感受性

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：徳丸 晋

協力分担：宇都宮大学、香川県農政水産部農業試験場、府内各農業改良普及センター

予算(期間)：消費安全対策交付金(2016年度)

1. 目的

平成26年6月に府内の約9割(約270ha)のネギ産地でIris yellow spot virus (IYSV:アイリス黄斑ウイルス)による新病害ネギえそ条斑病が発生。収穫放棄、出荷調整の負担増による生産意欲の低下などの影響が出ている。本病の病原ウイルスはネギアザミウマにより媒介されるが、府内のネギ栽培(干しネギ、切りネギ)における伝染環を始めとした本病の発生生態は不明な点が多く、有効な防除体系は未確立である。そこで、京都府におけるネギえそ条斑病の発生生態について明らかにする。ここでは、本病の防除対策を構築するため、媒介虫であるネギアザミウマに対する各種殺虫剤の殺虫効果について生殖系統別に調べる、

2. 方法

(1)供試虫：表1のとおり2017年5月9日から6月8日までに京都府内5か所のネギ、およびタマネギほ場から採集し、ソラマメ催芽種子法(柴尾, 2013)により系統別に22.5℃長日条件(15L9D)下で累代飼育した5系統の2~3世代目の雌成虫を用いた。

(2)供試薬剤

表1のとおり、有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤などの合成殺虫剤の中から選定した合計14剤。

(3)試験方法

試験は22.5℃、長日条件(15L9D)下で行った。長方形(1×2cm)に切り取ったインゲンマメ(品種：つるなしプラス菜豆)の初生葉を各供試薬剤に約10秒間浸漬処理した。薬剤は常用濃度とし、展着剤としてポリオキシエチレン=ノニルフェニルエーテル15.0%ポリナフチルメタンスルホン酸ナトリウム4.0%ポリオキシエチレン脂肪酸エステル5.0%製剤3,000倍液を加用した。処理したインゲンマメ葉は、風乾後、プラスチック容器(51.4×8.75mm)に入れ、ネギアザミウマの雌成虫を10匹ずつ放飼し、24および48時間後(シアントラニリプロール水和剤は72時間後も調査)の生存虫を数え、死虫率を求めた。死虫率は、水処理の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。反復は3とした。

3. 結果の概要

(1)産雄性単為生殖系統に対する処理48(シアントラニリプロール水和剤は72時間後で評価)時間後の補正死虫率が80%以上となった薬剤は、スピノサド水和剤、スピネトラム水和剤、シアントラニリプロール水和剤、フロメトキン水和剤およびフルキサメタミド乳剤であった(表1)。

(2)産雌性単為生殖系統に対する処理48(シアントラニリプロール水和剤は72時間後で評価)時間後の補正死虫率が概ね80%以上となった薬剤は、MEP乳剤、シペルメトリン乳剤、メソミル水和剤、イミダクロプリド水和剤、ジノテフラン水溶剤、スピノサド水和剤、スピネトラム水和剤、アバメクチン乳剤、シアントラニリプロール水和剤、フロメトキン水和剤およびフルキサメタミド乳剤であった(表1)。

(3)産雄性単為生殖系統に対する殺虫剤の殺虫効果は、産雌性単為生殖系統より低い傾向を示し、両系統ともに殺虫効果は個体群により異なった(表1)。

表1 ネギアザミウマ雌成虫に各種殺虫剤を浸漬処理したインゲンマメ葉片を与えた時の補正死虫率(%)

殺虫剤名	希釈倍数	八幡市 (タマネギ)	京都市 伏見区 淀 (ネギ)	久御山町 (ネギ)	与謝野町 加悦 (ネギ)	福知山市 牧 (ネギ)
		♂♀	♂♀	♂♀	♀♀	♀♀
MEP乳剤	1000	15.5	5.6	67.8	96.8	100.0
シペルメトリン乳剤	2000	2.6	3.7	39.0	100.0	100.0
メソミル水和剤	1000	25.3	61.0	80.8	97.2	97.1
イミダクロプリド水和剤	2000	70.0	80.0	54.5	95.3	95.5
ジノテフラン水溶剤	2000	0.0	8.5	21.1	96.8	94.4
スピノサド水和剤	2500	93.9	94.9	100.0	100.0	100.0
スピネトラム水和剤	2500	93.3	100.0	96.6	100.0	100.0
アバメクチン乳剤	1000	12.1	85.9	87.9	97.7	97.7
シアントラニリプロール水和剤	2000	90.9	81.7	100.0	100.0	97.8
チオシクラム水和剤	1500	13.7	32.5	51.9	77.8	70.4
クロルフェナピル水和剤	2000	7.7	55.2	67.2	69.0	86.8
ピリダリル水和剤	1000	23.9	15.1	67.2	76.5	67.8
フロメトキン水和剤	1000	85.6	92.2	100.0	97.2	97.1
フルキサメタミド乳剤	2000	96.7	100.0	100.0	100.0	96.6
Control		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

♀♀：産雌性系統、♂♀：産雄性系統。供試虫：30匹／殺虫剤。
処理48時間後の補正死虫率(シアントラニリプロール水和剤は処理72時間後)

4. 結果の要約

府内5地点から採集したネギアザミウマ5系統の雌成虫の14種類の殺虫剤に対する殺虫効果について調べた結果、両系統に対して高い殺虫効果を示した殺虫剤は、スピノサド水和剤、スピネトラム水和剤、シアントラニリプロール水和剤、フロメトキン水和剤およびフルキサメタミド乳剤であった。

[キーワード]ネギアザミウマ、殺虫剤感受性、産雄性単為生殖、産雌性単為生殖、生殖系統

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等

(1) 徳丸 晋 (2017) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布および薬剤殺虫効果、第22回農林害虫防除研究会岩手大会

(2) 徳丸 晋・橋本典久・山口雄也・檜垣誠司 (2018) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の発生実態、平成29年度近畿中国四国農業試験研究推進会議病害虫推進部会問題別研究会

(3) 徳丸 晋・橋本典久・檜垣誠司 (2018) 京都府におけるネギアザミウマの生殖系統の地理的分布および季節的発生推移、第62回日本応用動物昆虫学会鹿児島大会

課 題 名：新病害ネギえそ条斑病の発生生態の解明と防除技術の確立

(5) ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病被害の品種間差異

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部（京都府病害虫防除所）

担当者名：橋本典久

協力分担：なし

予算(期間)：消費安全対策交付金（2017年度）

1. 目的

ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病の被害に対する品種間差異を明らかにし、耕種的防除の確立に資する。

2. 方法

(1) 調査場所

農林センター24号田

(2) 供試ネギ品種

在来系統、浅黄系統、小夏、晩春葱ぼうずしらず、緑秀、九条太、スーパーあんじょう

(3) 耕種概要

(ガラスハウス内で育成)3/24:播種(288穴セルトレイ)→5/2:プランター(長さ60cm深型)への植え付け(株間12cm×条間12cm、2条植え、10株/1プランター×3反復)→

(露地栽培)5/8:24号田にプランターを設置→6/29:調査

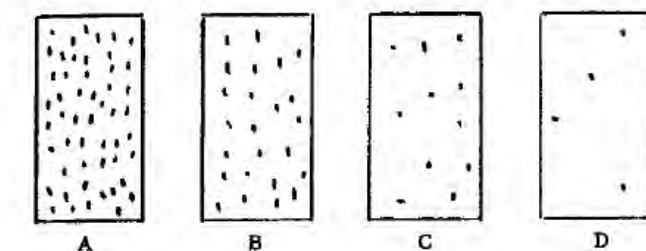
(4) 調査方法

各品種(10株/品種×3反復、各株全葉)のネギアザミウマによる被害程度(下図参照)及びネギえそ条斑病の被害葉数を調査し、それぞれ被害度及び被害葉率を算出。

$$\cdot \text{ネギアザミウマの被害度} = ((4A+3B+2C+D)/4N) \times 100$$

A~D:各被害程度別の葉数、N:全調査葉数

(発病程度別基準図)



$$\cdot \text{ネギえそ条斑病の被害葉率}(\%) = \text{被害葉数} / \text{全調査葉数} \times 100$$

3. 結果の概要

(1) ネギアザミウマの被害度は、晩春葱ぼうずしらず(81.8) < スーパーあんじょう(83.7) < 緑秀(84.4) < 小夏(88.5) < 九条太(89.0) < 浅黄系統(90.8) < 在来系統(91.3)で、被害度は在来系統が最も高かった(図1)。

(2) ネギえそ条斑病の被害葉率は、緑秀(2.6%) < 小夏(4.0%) < 浅黄系統(4.2%) < スーパーあんじょう(7.6%) < 晩春葱ぼうずしらず(9.0%) < 九条太(10.1%) < 在来系統(18.4%)で、被害葉率も在来系統が最も高かった(図2)。

(成績データ)

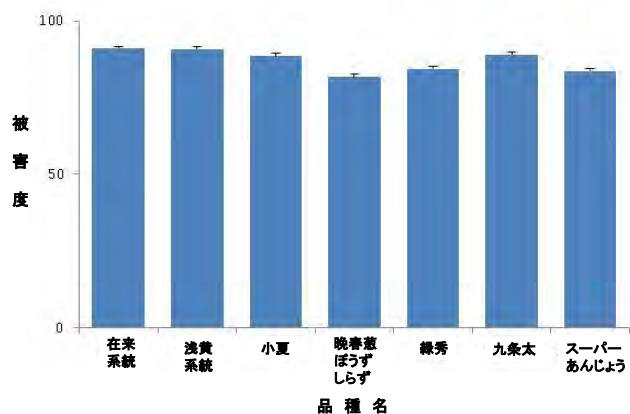


図1 ネギアザミウマ被害の品種間差異

H29年5月2日定植(プランター)、H29年6月29日調査、農林センター24号田にプランターを設置
エラーバーは標準誤差を示す

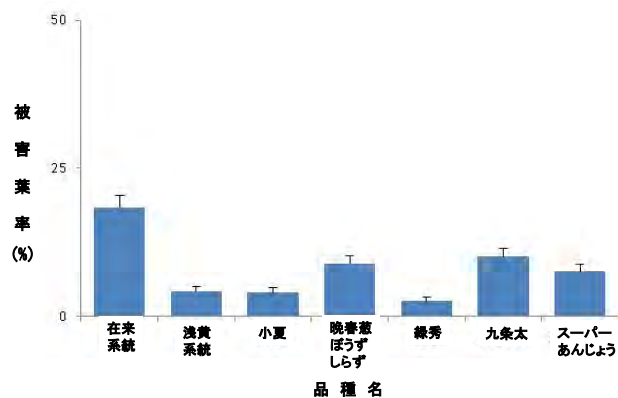


図2 ネギえそ条斑病被害の品種間差異

H29年5月2日定植(プランター)、H29年6月29日調査、農林センター24号田にプランターを設置
エラーバーは標準誤差を示す

4. 結果の要約

在来系統、浅黄系統、小夏、晩春葱ぼうずしらず、緑秀、九条太、スーパーあんじょうのネギ7品種について、ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病の被害に対する品種間差異を調査したところ、在来系統がネギアザミウマの被害度、ネギえそ条斑病の被害葉率とも最も高く、晩春葱ぼうずしらずのネギアザミウマの被害度、緑秀のネギえそ条斑病の被害葉率がそれぞれ最も低かった。

[キーワード] ネギアザミウマ及びネギえそ条斑病の被害、品種間差異

5. 今後の問題点と次年度の計画

なし。

6. 結果の発表、活用

なし。

実施課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査
(1)シロイチモジヨトウの殺虫剤感受性
担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部
担当者名：徳丸 晋・橋本典久・檜垣誠司
協力分担：
予算(期間)：消費安全対策交付金(2017年度)

1. 目的

シロイチモジヨトウ *Spodoptera exigua* (Hübner)は、主にテンサイやワタを加害する難防除害虫である(堀切, 1986)。京都府では、1983年頃からネギで多発したが(吉安ら, 1995)、1995年頃から本種に対して、合成性フェロモン剤を用いた防除が広域的におこなわれたため、本種の発生は1990年代後期からはほとんど見られなくなった。しかし、2016年7月頃から本種の発生を再びネギで確認し、一部は場では多発した。本種が再び多発した原因の一つとして、本種の殺虫剤感受性の低下が考えられる。そこで、京都府におけるシロイチモジヨトウ3齢幼虫の殺虫剤感受性について、ネギ葉片浸漬法と虫体浸漬法により調べる。

2. 方法

(1)供試虫：2017年7月14日に京都府伏見区淀の露地栽培ネギから採集した個体の2世代目の3齢幼虫を用いた。シロイチモジヨトウの累代飼育は、25℃、長日条件(15L9D)に設定した恒温室内において、広瀬(1997)を参考に、人工飼料(商品名：インセクタ LFS)を餌に用いておこなった。

(2)供試薬剤

表1および2のとおり。

(3)試験方法

ネギ葉片浸漬法は2017年9月6～20日、虫体浸漬法は2017年9月8～22日にかけてそれぞれおこなった。なお、反復は両浸漬法とも2とした。

1) 葉片浸漬法

ネギの葉を約5cmの長さに切り、各殺虫剤の溶液に10秒間浸漬処理した。風乾後、ネギの葉はプラスチック製アイスクリームカップに入れ、カップ内にはシロイチモジヨトウの3齢幼虫を10匹放飼した。処理1, 2および8日後に死亡虫を数えた。さらに14日後には蛹化個体を数えた。また、1および2日後には葉の食害程度を4段階に区分し、食害度を求めた。さらに、フルベンジアミド水和剤およびスピネトラム水和剤については、ともに5濃度を設定し、プロビット法により処理8日後のLC50値を算出した。

2) 虫体浸漬法

シロイチモジヨトウの3齢幼虫10匹を各殺虫剤の溶液に入れ、10秒間浸漬処理した。風乾後、人工飼料(商品名：インセクタ LFS)を入れたプラスチック製アイスクリームカップに放飼した。1, 2および8日後に死亡虫を数え、14日後には蛹化個体を数えた。

3. 結果の概要

(1) 葉片浸漬法において処理1日後の補正死虫率が90%以上であった殺虫剤は、スピネトラム水和剤のみであった。同2日後に90%以上となった殺虫剤は、クロルフェナピル水和剤であった。さらに同8日後に90%以上となった殺虫剤は、ピリダリル水和剤であった。同2日後の食害度が20未満であった殺虫剤は、メソミル水和剤、スピネトラム水和剤、クロルフェナピル水和剤、シアントラリニプロール水和剤およびピリダリル水和剤であった(以上、表1)。

- (2) フルベンジアミド水和剤およびスピネトラム水和剤の処理 8 日後の LC50 値は、それぞれ 88.14ppm および 5.85ppm であった（データ略）。
- (3) 虫体浸漬法において処理 1 日後の補正死虫率が 90%以上であった殺虫剤は、スピネトラム水和剤およびピリダリル水和剤であった。また、同 2 および 8 日後の補正死虫率が 90%以上となった殺虫剤はなかった。同 14 日後に蛹化が見られなかった殺虫剤はなかった（以上、表 2）。

表1 シロイチモジヨトウ3齢幼虫に各種殺虫剤を浸漬処理したネギ葉を与えた時の補正死虫率

IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	補正死虫率(%)			食害度		蛹化率(%)
			1日後	2日後	8日後	1日後	2日後	
1A	メソミル水和剤	1000	61.1	72.2	80.0	11.7	16.7	10.0
3A	シベルメトリン乳剤	1000	0.0	16.7	40.0	36.7	58.3	25.0
4A	ジノテフラン水溶剤	2000	0.0	0.0	0.0	46.7	76.7	45.0
5	スピネトラム水和剤	2500	100.0	100.0	100.0	13.3	13.3	0.0
6	エマメクテン安息香酸塩乳剤	1000	0.0	5.6	50.0	40.0	51.7	10.0
13	クロルフェナビル水和剤	2000	88.9	100.0	100.0	6.7	8.3	0.0
15	フルフェノクスロン乳剤	4000	0.0	0.0	40.0	40.0	63.3	40.0
21A	トルフェンピラド乳剤	1000	16.7	27.8	30.0	16.7	31.7	15.0
28	シアントラニプロール水和剤	2000	83.3	83.3	80.0	10.0	13.3	0.5
	フルベンジアミド水和剤	2000	0.0	0.0	20.0	33.3	50.0	25.0
UN	ピリダリル水和剤	1000	55.6	83.3	100.0	16.7	16.7	0.0
	無処理(水道水)		0.0	0.0	0.0	46.7	71.7	50.0

表2 シロイチモジヨトウ3齢幼虫を各種殺虫剤に浸漬処理した時の補正死虫率

IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	補正死虫率(%)			蛹化率(%)
			1日後	2日後	8日後	
1A	メソミル水和剤	1000	10.0	10.0	15.0	85.0
3A	シベルメトリン乳剤	1000	20.0	25.0	25.0	75.0
4A	ジノテフラン水溶剤	2000	0.0	0.0	0.0	100.0
5	スピネトラム水和剤	2500	95.0	95.0	95.0	5.0
6	エマメクテン安息香酸塩乳剤	1000	0.0	0.0	0.0	100.0
13	クロルフェナビル水和剤	2000	70.0	70.0	70.0	30.0
15	フルフェノクスロン乳剤	4000	0.0	0.0	10.0	90.0
21A	トルフェンピラド乳剤	1000	30.0	40.0	45.0	50.0
28	シアントラニプロール水和剤	2000	5.0	5.0	10.0	85.0
	フルベンジアミド水和剤	2000	5.0	5.0	5.0	95.0
UN	ピリダリル水和剤	1000	90.0	90.0	90.0	10.0
	無処理(水道水)		0.0	0.0	0.0	95.0

4. 結果の要約

シロイチモジヨトウ 3 齢幼虫の 11 種類の殺虫剤に対する殺虫効果についてネギ葉片浸漬法および虫体浸漬法により調べた結果、両浸漬法による殺虫効果がともに高かった殺虫剤はスピネトラム水和剤およびピリダリル水和剤であった。フルベンジアミド水和剤およびスピネトラム水和剤の処理 8 日後の LC50 値は、それぞれ 88.14ppm および 5.85ppm であった。

[キーワード]シロイチモジヨトウ、殺虫剤感受性、葉片浸漬法、虫体浸漬法、ネギ

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等

- (1) 京都府病害虫防除所 (2017) 病害虫発生予察注意報第 3 号.

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (I) 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 | 本年度該当なし |
| (II) 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| (III) 府の行う防除（法第29条）の指導等 | 本年度該当なし |

V 情報提供サービスの実施

(I) 情報提供の概要

1 病害虫防除所ホームページ

1) 設置場所及びサービス開始時期

- (1) 設置場所：京都府のホームページ『おこしやす京都』
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

- (2) サービス開始：平成10年4月

2) 情報の概要及び更新時期

- (1) 内 容：① 病害虫発生予察コーナー
② 病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）
③ 巡回調査結果
④ 水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果
⑤ 防除所ってナニ？
⑥ 病害虫ワクワクツアー
⑦ 家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）
- (2) 更新時期：毎月の下旬及び必要に応じて随時更新

(Ⅱ) 情報の内容と利用状況

1 病害虫防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているコナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果

- ・JPP-NET (日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス) 内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

⑤防除所ってナニ?

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病害虫 (Web病害虫辞典)

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ (巡回調査結果、フェロモン誘殺数等)」のコンテンツでは、病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)、巡回調査結果、水稲いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	平成29年2月28日
	病害虫発生予報第2号	平成29年3月27日
	病害虫発生予報第3号	平成29年4月20日
	病害虫発生予報第4号	平成29年5月24日
	病害虫発生予報第5号	平成29年6月22日
	病害虫発生予報第6号	平成29年7月25日
	病害虫発生予報第7号	平成29年8月24日
	病害虫発生予報第8号	平成29年9月21日
	病害虫発生予報第9号	平成29年10月18日
注意報	発生予察注意報第1号：水稲：斑点米カメムシ類	平成29年7月28日
	発生予察注意報第2号：野菜類、豆類：ヨトウムシ類	平成29年7月31日
	発生予察注意報第3号：果樹カメムシ類	平成29年9月1日
	発生予察注意報第4号：ネギ：シロイチモジヨトウ	平成29年9月21日
特殊報	発生予察特殊報第1号：ハウレンソウ：ハコベハナバエ	平成29年2月14日
	発生予察特殊報第2号：ネギ：チビクロバネキノコバエ	平成29年7月19日
	発生予察特殊報第3号：ナシ：ナシコスカシバ（仮称）	平成29年7月28日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（ネギべと病、さび病情報）	平成29年2月17日
	防除所ニュース第2号（麦類赤かび病情報）	平成29年3月22日
	防除所ニュース第3号（ネギえそ条斑病、ネギアザミウマ情報）	平成29年3月27日
	防除所ニュース第4号（ネギアザミウマ情報）	平成29年3月27日
	防除所ニュース第5号（ネギべと病情報）	平成29年5月2日
	防除所ニュース第6号（アワヨトウ情報）	平成29年7月10日
	防除所ニュース第7号（クビアカツヤカミキリ情報）	平成29年7月28日
	防除所ニュース第8号（豆類：サヤムシガ類情報）	平成29年7月31日
	防除所ニュース第9号（中晩生水稲：穂いもち情報）	平成29年8月22日
	防除所ニュース第10号（ネギ：萎凋病情報）	平成29年11月17日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	平成29年4月20日
5月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成29年5月24日
6月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成29年6月22日
7月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成29年7月25日
8月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成29年8月24日
9月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成29年9月21日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成29年10月18日

【その他】

種 類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	平成29年4月～10月 （7回）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	平成29年5月～10月 （6回）
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	平成29年6月～7月 （2回）
水稲いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月12日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田） ④その他作物の目立つ病害虫	19
7月12日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③斑点米カメムシ類について ④その他作物の目立つ病害虫	20
8月14日	①水稲の生育状況 ②いもち病、紋枯病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ウンカ、コブノメイガ、フタオビコヤガの情報 ⑤その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生及び目立つ病害虫	18
9月8日	①水稲の生育状況 ②水稲の倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④水稲での目立った病害虫 ⑤豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑥その他作物の目立つ病害虫	14
11月8日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況等） ②今年度地域で問題となった病害虫	15

(III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 平成30年2月21日
- (2) 参加者 6名
- (3) 内 容 植物防疫セミナーのページ参照

Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
輸出植物検疫協議の迅速化事業研修会・情報交換会	4月13～ 14日	農林水産省
植物防疫企画会議	4月18日	農林センター
植物防疫担当者会議	4月19日	農林センター
輸出植物検疫協議の迅速化事業設計検討会	5月17～ 18日	農林センター
植物防疫・農薬関係業務担当者会議	5月26日	近畿農政局
S I P 事業中間検討会・講演	6月27～ 30日	北海道洞爺町
植物保護シンポジウム	7月20日	南あわじ市
S I P 事業トマト地上部病害虫防除体系化グループ 中間検討会	8月 3～ 4日	福山市
病害虫AIプロ事業キックオフミーティング	8月28～ 29日	つくば市
水稲共済作柄調査	8月30日	南丹地域以北
S I P 事業中間検討会	8月31～ 9月 1日	Akihabara UDX Theater
水稲共済作柄調査	9月13日	中丹・南丹地域
ナシコスカシバ対策検討会	9月15日	近畿農政局
全国病害虫防除所長会議	9月27～ 28日	農林水産省
S I P 事業体系化及び現地視察	10月26～ 27日	宮城県農業・園芸総合研 究所、東北大学
輸出植物検疫協議の迅速化事業中間検討会	10月30～ 31日	ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター
薬剤抵抗性害虫シンポジウム	11月13日	星陵会館（東京都）
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月27 ～28日	ルビノ堀川
ナシコスカシバ現地調査	12月 1日	京丹後市久美浜町
平成29年度LED光源を利用した予察灯実用化委託事 業成績検討会	12月11日	通運会館（東京都）
農薬展示圃成績検討会	12月20日	セントノーム京都
丹後茶担当者会議	12月26日	峰山総合庁舎
ナシコスカシバ調査計画検討会	1月12日	近畿農政局

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
病害虫AIプロ事業年度末検討会	1月16～ 17日	メルパルク京都
輸出植物検疫協議の迅速化委託事業年度末検討会	1月16～ 17日	ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター
近畿地区病害虫防除所長会議	1月25日	近畿農政局大阪府拠点
植物防疫担当者会議	2月 5日	農林センター
近畿ブロック病害虫防除所長会議	1月27日	神戸植物防疫所
S I P 事業年度末検討会	2月14～ 15日	TKPガーデンシティ 宇都宮
H 2 9 年度農林水産分野気候変動対応プロジェクト 研究成果発表会	2月14日	一橋記念講堂
日本応用動物昆虫学会理事会	2月17日	東京都
平成29年度発生予察事業検討会	2月19日	農林水産省
病害虫AIプロ事業年度末検討会	2月19～ 20日	秋葉原UD X ギャラリー
I P M 事業検討会	2月20日	農林水産省
S I P 事業年29年度成績検討会・30年度計画検討会	2月27～ 28日	Akihabara UDX Theater
関西病虫害研究会編集会議	3月 1日	滋賀県立大学
農薬現地適応性試験展示ほ試験設計検討会	3月 7日	京都 J A 会館
農薬展示ほ設計検討会	3月19日	セントノーム京都

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所	講師等
若手農業職員植物防疫技術研修	6月 2日 ・7日	農林センター	檜垣主研 徳丸主研
関西病虫害研究会第99回大会	5月19日	大阪府立大学 I-siteなんば	徳丸主研
営農指導員研修	8月 8日	セントノーム京都	檜垣主研
ことネギ会研修会	8月 8日	こと京都本社	徳丸主研
第22回農林害虫防除研究会・岩手大会	9月21～ 22日	盛岡市民文化ホー ル・マリオス	徳丸主研

講座・研修名及び講演タイトル	開催日	開催場所	講師等
第27回天敵利用研究会	10月26～ 27日		徳丸主研
農業大学校1年生講義	5月22日 6月5日 8月1日 9月4日 〃 9月6日 11月27日 1月10日	農業大学校	橋本主研 橋本主研 徳丸主研 檜垣主研 山口技師 徳丸主研 山口技師 檜垣主研
農薬飛散防止講習会	12月13日	セントノーム京都	徳丸主研
農林センター試験研究成績報告会	1月26日	農林センター	徳丸主研
農薬管理指導士養成研修会	2月1日	京都府庁	檜垣主研
全国農薬協同組合近畿地区会議	2月8日	新大阪ガーデンパ レス	檜垣主研
農作物病害虫セミナー	2月21日	キャンパスプラザ 京都	上田所長 檜垣主研 橋本主研 徳丸主研
西日本農業試験研究問題別研究会（病害虫分 科会）	3月5～ 7日	福山市生涯学習プ ラザ（広島県）	檜垣主研 橋本主研 徳丸主研
農作物の病害虫勉強会	3月13日	J A 京都中央本店	徳丸主研
第62回日本応用動物昆虫学会大会	3月24日 ～ 27日	鹿児島大学	徳丸主研

3 職員の研修、視察

月 日	研 修 名	主 催	開催場所	受講者
7月5日	クビアカツヤカミキリ研修会	近畿農政局	大阪府立環境農林 水産総合研究所	橋本主研 徳丸主研

Ⅷ 普及センター等との連携の推進

1 植物防疫セミナーの開催

I P M（総合的病害虫・雑草制御技術）を推進するため、近年問題となっている病害虫に対する理解と防除に関する知識を習得するため、植物防疫セミナーを開催した。

① 開催日 平成30年2月21日

② 参加者 150名（うち普及センター職員18名）

③ 内容

ア 平成29年度農作物病害虫等発生状況報告

イ 「外来生物の脅威～農業・環境への影響・リスクについて～」

（ア）京都府における外来生物の変遷と防除対策～農作物害虫を中心に～

（イ）外来生物の農業・環境への影響とその対策

～何故我々は外来生物の定着・拡大を止められないのか～

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、流通・ブランド戦略課及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。29年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							試験研究機関	計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後		
4月	0	2	0	0	0	1	0	1	4
5月	0	2	0	4	0	0	5	10	21
6月	0	0	0	8	1	0	16	11	36
7月	0	0	0	8	0	1	22	7	38
8月	0	0	0	6	0	0	7	6	19
9月	0	0	0	6	1	0	0	3	10
10月	0	0	0	4	0	1	0	3	8
11月	0	0	0	0	0	0	0	1	1
12～3月	0	0	0	0	0	0	0	5	5
計	0	4	0	36	2	3	50	47	142

平成29(2017)年半旬別気象集計表・グラフ

平 年 値 最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

” 平均気温 …1993～2010年の平均値

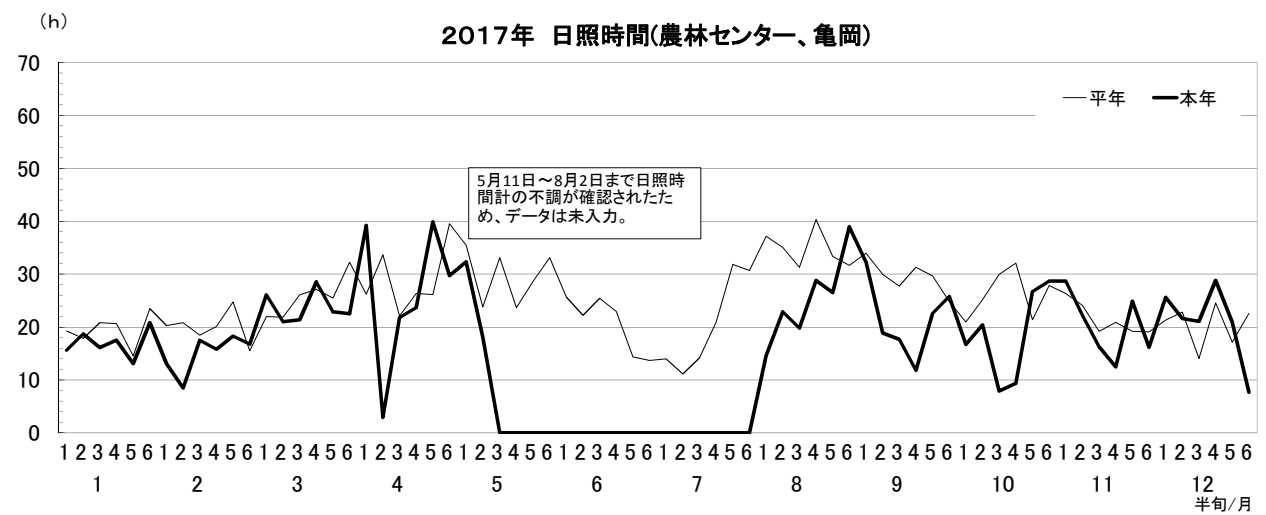
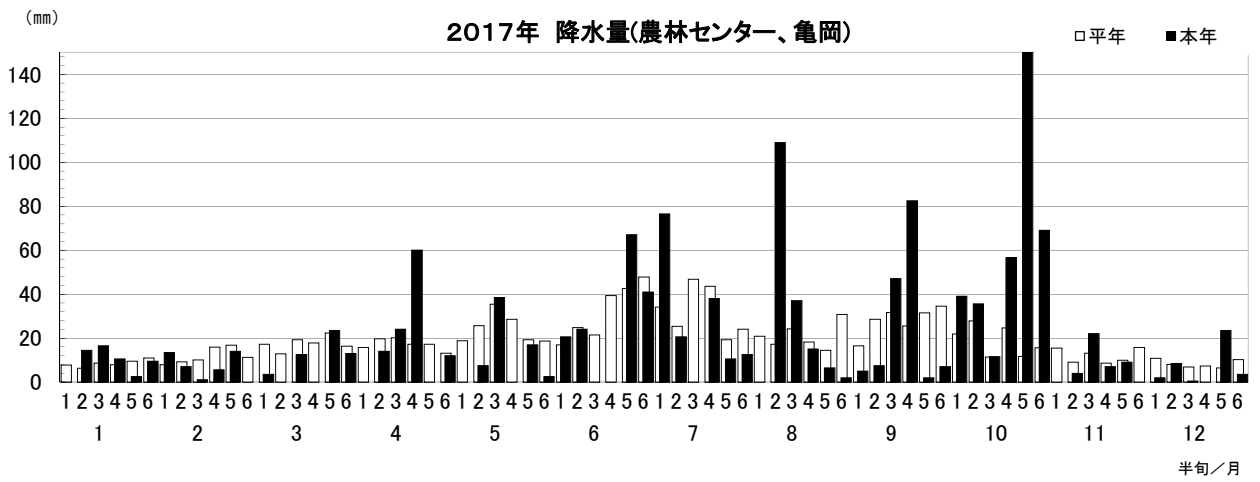
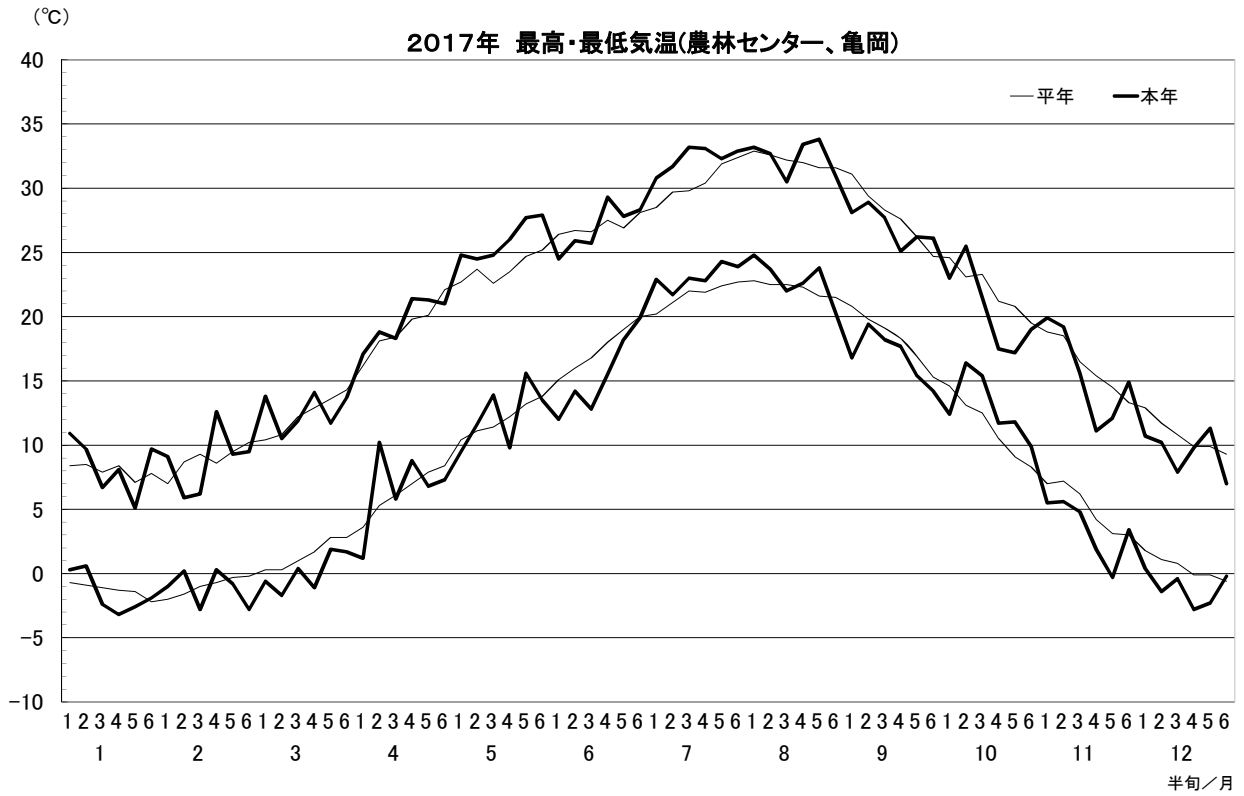
京都府農林センター(亀岡市余部町) ” 日照時間 …2005～2010年の平均値

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	10.9	8.4	0.3	-0.7	4.4	3.5	0.0	7.8	15.6	19.2	0%	81%	2.5	1.0
	2	9.7	8.5	0.6	-0.9	4.7	3.2	14.5	6.3	18.7	17.8	230%	105%	1.2	1.5
	3	6.7	7.9	-2.4	-1.1	1.3	3.5	16.5	8.6	16.1	20.8	191%	77%	-1.2	-1.3
	4	8.1	8.4	-3.2	-1.3	1.4	3.5	10.5	7.9	17.5	20.6	133%	85%	-0.3	-1.9
	5	5.1	7.1	-2.6	-1.4	0.6	2.6	2.5	9.5	13.1	14.6	26%	90%	-2.0	-1.2
	6	9.7	7.8	-1.9	-2.2	3.1	2.7	9.5	11.0	20.8	23.5	86%	88%	1.9	0.3
	平均・計	8.4	8.0	-1.5	-1.3	2.6	3.2	53.5	51.2	101.8	116.6	105%	87%	0.4	-0.2
2	1	9.1	7.0	-1.0	-2.0	3.3	2.2	13.5	7.9	13.1	20.3	171%	65%	2.1	1.0
	2	5.9	8.7	0.2	-1.6	2.6	3.4	7.0	9.2	8.5	20.8	76%	41%	-2.8	1.8
	3	6.2	9.3	-2.8	-1.0	1.0	3.8	1.0	10.1	17.5	18.5	10%	95%	-3.1	-1.8
	4	12.6	8.6	0.3	-0.7	5.8	3.7	5.5	16.0	15.8	20.1	34%	79%	4.0	1.0
	5	9.3	9.5	-0.8	-0.3	4.3	4.9	14.0	16.8	18.3	24.8	83%	74%	-0.2	-0.5
	6	9.5	10.2	-2.8	-0.2	3.3	5.1	0.0	11.2	16.8	15.5	0%	109%	-0.7	-2.6
	平均・計	8.7	8.8	-1.0	-1.0	3.4	3.8	41.0	71.3	90.0	119.9	58%	75%	-0.1	0.0
3	1	13.8	10.4	-0.6	0.3	6.1	5.3	3.5	17.2	26.1	22.0	20%	119%	3.4	-0.9
	2	10.5	10.8	-1.7	0.3	3.8	5.8	0.0	12.8	21.0	21.8	0%	96%	-0.3	-2.0
	3	11.9	12.2	0.4	1.0	5.6	6.3	12.5	19.2	21.4	26.1	65%	82%	-0.3	-0.6
	4	14.1	12.9	-1.1	1.7	6.1	7.5	0.0	17.8	28.5	27.1	0%	105%	1.2	-2.8
	5	11.7	13.6	1.9	2.8	6.6	8.0	23.5	22.3	22.9	25.5	105%	90%	-1.9	-0.9
	6	13.7	14.3	1.7	2.8	7.4	8.6	13.0	16.4	22.5	32.3	79%	70%	-0.6	-1.1
	平均・計	12.7	12.4	0.2	1.5	6.0	7.0	52.5	105.8	142.4	154.8	50%	92%	0.3	-1.3
4	1	17.1	16.2	1.2	3.6	9.1	9.4	0.0	15.8	39.2	26.2	0%	150%	0.9	-2.4
	2	18.8	18.1	10.2	5.3	14.7	11.5	14.0	19.6	2.9	33.6	71%	9%	0.7	4.9
	3	18.3	18.4	5.8	6.1	12.1	12.2	24.0	20.2	21.8	22.1	119%	99%	-0.1	-0.3
	4	21.4	19.8	8.8	7.0	14.9	13.8	60.0	17.2	23.7	26.4	348%	90%	1.6	1.8
	5	21.3	20.1	6.8	7.9	13.9	14.4	0.0	17.2	39.9	26.1	0%	153%	1.2	-1.1
	6	21.0	22.1	7.3	8.4	13.9	14.9	12.0	13.1	29.7	39.5	92%	75%	-1.1	-1.1
	平均・計	19.7	19.1	6.7	6.4	13.1	12.7	110.0	103.1	157.2	173.9	107%	90%	0.6	0.3
5	1	24.8	22.7	9.5	10.4	16.9	17.3	0.0	18.9	32.3	35.5	0%	91%	2.1	-0.9
	2	24.5	23.7	11.6	11.1	17.5	17.6	7.5	25.6	18.1	23.8	29%	76%	0.8	0.5
	3	24.8	22.6	13.9	11.4	18.9	16.9	38.5	35.5	0.0	33.1	108%	0%	2.2	2.5
	4	26.0	23.5	9.8	12.2	18.0	18.0	0.0	28.6	0.0	23.7	0%	0%	2.5	-2.4
	5	27.7	24.7	15.6	13.2	21.2	19.0	17.0	19.3	0.0	28.7	88%	0%	3.0	2.4
	6	27.9	25.2	13.5	13.8	20.4	19.5	2.5	18.7	0.0	33.1	13%	0%	2.7	-0.3
	平均・計	26.0	23.8	12.4	12.1	18.9	18.1	65.5	146.5	50.4	177.9	45%	28%	2.2	0.3
6	1	24.5	26.4	12.0	15.1	18.4	20.3	20.5	16.9	0.0	25.7	121%	0%	-1.9	-3.1
	2	25.9	26.7	14.2	16.0	19.8	20.9	24.0	24.8	0.0	22.3	97%	0%	-0.8	-1.8
	3	25.7	26.6	12.8	16.8	18.9	21.6	0.0	21.4	0.0	25.4	0%	0%	-0.9	-4.0
	4	29.3	27.5	15.5	18.0	22.1	22.8	0.0	39.4	0.0	22.9	0%	0%	1.8	-2.5
	5	27.8	26.9	18.2	19.0	22.4	22.8	67.0	42.6	0.0	14.4	157%	0%	0.9	-0.8
	6	28.3	28.1	19.9	20.0	23.5	24.3	41.0	47.7	0.0	13.7	86%	0%	0.2	-0.1
	平均・計	26.9	27.0	15.4	17.5	20.9	22.1	152.5	192.8	0.0	124.4	79%	0%	-0.1	-2.1

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	30.8	28.5	22.9	20.2	25.8	24.8	76.5	34.1	0.0	14.0	225%	0%	2.3	2.7
	2	31.7	29.7	21.7	21.1	25.8	25.2	20.5	25.4	0.0	11.2	81%	0%	2.0	0.6
	3	33.2	29.8	23.0	22.0	27.7	25.8	0.0	46.8	0.0	14.2	0%	0%	3.4	1.0
	4	33.1	30.4	22.8	21.9	26.6	25.6	38.0	43.6	0.0	20.9	87%	0%	2.7	0.9
	5	32.3	31.9	24.3	22.4	27.8	27.0	10.5	19.3	0.0	31.8	55%	0%	0.4	1.9
	6	32.9	32.4	23.9	22.7	27.4	27.0	12.5	24.0	0.0	30.7	52%	0%	0.5	1.2
	平均・計	32.4	30.5	23.1	21.7	26.9	25.9	158.0	193.1	0.0	122.9	82%	0%	1.9	1.4
8	1	33.2	32.9	24.8	22.8	28.3	27.8	0.0	20.9	14.6	37.2	0%	39%	0.3	2.0
	2	32.7	32.6	23.7	22.5	27.2	27.4	109.0	17.2	22.9	35.1	634%	65%	0.1	1.2
	3	30.5	32.2	22.0	22.5	25.7	27.0	37.0	24.2	19.8	31.3	153%	63%	-1.7	-0.5
	4	33.4	32.0	22.6	22.3	26.9	27.1	15.0	18.2	28.8	40.3	82%	71%	1.4	0.3
	5	33.8	31.6	23.8	21.6	28.1	26.0	6.5	14.5	26.5	33.4	45%	79%	2.2	2.2
	6	31.0	31.6	20.3	21.5	25.4	25.7	2.0	30.7	39.0	31.6	7%	123%	-0.6	-1.2
	平均・計	32.4	32.1	22.8	22.2	26.9	26.8	169.5	125.7	151.6	208.8	135%	73%	0.3	0.6
9	1	28.1	31.1	16.8	20.8	22.0	25.1	5.0	16.5	32.3	33.9	30%	95%	-3.0	-4.0
	2	28.9	29.4	19.4	19.8	23.5	24.3	7.5	28.6	18.9	30.0	26%	63%	-0.5	-0.4
	3	27.7	28.3	18.2	19.1	22.3	23.5	47.0	31.7	17.7	27.7	148%	64%	-0.6	-0.9
	4	25.1	27.6	17.7	18.3	21.2	22.9	82.5	25.5	11.8	31.3	323%	38%	-2.5	-0.6
	5	26.2	26.2	15.4	16.9	19.9	21.3	2.0	31.6	22.6	29.7	6%	76%	0.0	-1.5
	6	26.1	24.7	14.2	15.3	19.8	19.8	7.0	34.6	25.8	24.8	20%	104%	1.4	-1.1
	平均・計	27.0	27.9	17.0	18.4	21.5	22.8	151.0	168.4	129.1	177.4	90%	73%	-0.9	-1.4
10	1	23.0	24.6	12.4	14.6	17.8	19.3	39.0	21.9	16.7	21.0	178%	80%	-1.6	-2.2
	2	25.5	23.1	16.4	13.1	20.0	17.8	35.5	27.8	20.4	25.2	128%	81%	2.4	3.3
	3	21.5	23.3	15.4	12.5	18.0	17.6	11.5	11.4	7.9	29.9	101%	26%	-1.8	2.9
	4	17.5	21.2	11.7	10.5	14.4	15.8	56.5	24.6	9.4	32.1	230%	29%	-3.7	1.2
	5	17.2	20.8	11.8	9.1	14.3	15.0	181.5	11.7	26.7	21.4	1548%	125%	-3.6	2.7
	6	19.0	19.5	9.9	8.3	13.8	13.7	69.0	15.7	28.7	27.8	441%	103%	-0.5	1.6
	平均・計	20.6	22.0	12.8	11.3	16.3	16.4	393.0	113.1	109.7	157.4	347%	70%	-1.4	1.5
11	1	19.9	18.8	5.5	7.0	11.0	12.3	0.0	15.5	28.7	26.3	0%	109%	1.1	-1.5
	2	19.2	18.5	5.6	7.2	11.5	12.1	4.0	9.1	22.2	24.1	44%	92%	0.7	-1.6
	3	15.6	16.5	4.8	6.2	9.9	11.5	22.0	13.2	16.3	19.2	167%	85%	-0.9	-1.4
	4	11.1	15.4	1.9	4.2	6.0	9.1	7.0	8.7	12.5	20.9	81%	60%	-4.3	-2.3
	5	12.1	14.5	-0.3	3.1	5.4	8.1	9.0	9.9	24.9	19.2	91%	130%	-2.4	-3.4
	6	14.9	13.3	3.4	3.0	8.4	8.3	0.0	15.8	16.2	19.1	0%	85%	1.6	0.4
	平均・計	15.5	16.2	3.5	5.1	8.7	10.2	42.0	72.3	120.8	128.7	58%	94%	-0.7	-1.6
12	1	10.7	12.9	0.4	1.8	4.7	7.1	2.0	10.9	25.6	21.3	18%	120%	-2.2	-1.4
	2	10.2	11.7	-1.4	1.1	3.2	5.7	8.5	8.0	21.6	22.8	106%	95%	-1.5	-2.5
	3	7.9	10.8	-0.4	0.8	3.1	5.4	0.5	6.8	21.1	14.0	7%	150%	-2.9	-1.2
	4	9.8	9.9	-2.8	-0.1	2.4	4.5	0.0	7.4	28.8	24.6	0%	117%	-0.1	-2.7
	5	11.3	9.9	-2.3	-0.1	3.4	4.1	23.5	6.5	20.9	17.1	362%	122%	1.4	-2.2
	6	7.0	9.3	-0.2	-0.6	3.1	3.6	3.5	10.2	7.7	22.6	34%	34%	-2.3	0.4
	平均・計	9.4	10.7	-1.1	0.4	3.3	5.0	38.0	49.8	125.7	122.4	76%	103%	-1.3	-1.5
年平均・計	20.0	19.9	9.2	9.5	14.1	14.5	1426.5	1393.1	1178.7	1785.1	102%	66%	0.1	-0.3	



平 年 値 最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

” 平均気温 …1981～2010年の平均値

京都府農業研究所(京丹後市弥栄町) ” 日照時間 …1981～2010年の平均値

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	11.6	8.0	1.8	0.6	6.4	4.2	9.5	35.6	10.8	8.0	27%	135%	3.6	1.3
	2	10.2	8.2	2.3	0.0	5.9	4.0	17.0	40.4	8.7	9.0	42%	97%	2.0	2.3
	3	5.0	7.2	-0.6	0.1	2.2	3.6	75.5	46.6	1.8	6.8	162%	27%	-2.2	-0.7
	4	8.3	7.7	-2.3	-0.3	3.4	3.7	12.0	38.2	15.3	9.6	31%	160%	0.6	-1.9
	5	4.9	6.6	-0.7	-1.1	2.2	2.7	34.5	38.7	6.9	8.2	89%	84%	-1.7	0.4
	6	9.1	7.0	-1.3	-1.1	3.5	2.9	29.5	49.4	20.4	11.9	60%	172%	2.2	-0.2
平均・計		8.2	7.4	-0.1	-0.3	3.9	3.5	178.0	248.9	63.9	53.5	72%	119%	0.8	0.2
2	1	9.7	6.3	-0.3	-1.2	5.0	2.5	12.5	31.2	12.6	8.2	40%	154%	3.4	1.0
	2	6.5	7.8	0.5	-1.0	3.7	3.4	33.5	29.2	6.6	12.5	115%	53%	-1.3	1.5
	3	5.7	8.3	-1.8	-0.2	1.7	4.0	41.0	27.8	6.3	12.7	148%	50%	-2.6	-1.5
	4	11.7	7.9	-0.1	-0.4	4.8	3.7	29.0	29.6	16.7	11.2	98%	150%	3.8	0.3
	5	8.9	8.4	0.8	-0.1	5.0	4.2	16.5	33.4	12.3	14.5	49%	85%	0.5	0.8
	6	8.4	9.1	-1.0	-0.2	3.8	4.4	3.0	16.5	6.5	9.8	18%	67%	-0.6	-0.8
平均・計		8.5	7.9	-0.2	-0.5	4.0	3.7	135.5	167.6	61.0	68.8	81%	89%	0.6	0.3
3	1	12.7	9.5	-1.9	0.3	5.3	5.0	4.0	23.2	28.6	14.7	17%	194%	3.2	-2.2
	2	9.0	10.0	0.2	0.4	3.6	5.2	35.5	20.9	9.7	17.3	170%	56%	-1.0	-0.3
	3	11.7	11.6	1.0	0.8	6.1	6.3	5.0	20.1	21.2	19.7	25%	107%	0.1	0.2
	4	13.2	12.2	-0.6	1.9	6.2	7.0	0.5	21.3	31.3	19.9	2%	157%	1.0	-2.5
	5	10.7	12.7	1.6	2.3	6.3	7.5	15.5	26.0	22.9	18.6	60%	123%	-2.0	-0.7
	6	12.8	13.3	0.2	2.5	6.7	7.9	2.5	23.2	29.5	25.1	11%	118%	-0.5	-2.3
平均・計		11.7	11.6	0.1	1.4	5.7	6.5	63.0	134.7	143.2	115.2	47%	124%	0.1	-1.3
4	1	16.2	15.0	1.2	3.0	9.2	9.0	0.0	17.8	42.5	26.2	0%	163%	1.1	-1.8
	2	18.7	17.1	9.7	4.7	14.3	10.9	10.0	21.4	10.6	25.6	47%	41%	1.7	5.0
	3	17.8	16.9	4.8	5.3	11.7	11.1	15.0	21.6	32.3	23.8	69%	136%	0.9	-0.5
	4	20.8	18.8	6.9	6.2	14.3	12.5	30.0	17.7	29.4	29.6	169%	99%	2.0	0.6
	5	19.7	19.3	6.3	7.2	13.3	13.3	0.0	17.8	46.8	26.9	0%	174%	0.4	-0.9
	6	20.9	21.2	6.1	7.3	14.2	14.2	15.0	12.0	42.4	32.6	125%	130%	-0.2	-1.2
平均・計		19.0	18.0	5.8	5.6	12.8	11.8	70.0	108.4	204.0	164.7	65%	124%	1.0	0.2
5	1	23.6	21.6	8.4	9.1	16.6	15.4	1.0	18.4	34.2	28.2	5%	121%	2.0	-0.7
	2	22.9	22.8	10.8	9.9	16.7	16.3	14.0	22.9	24.2	29.3	61%	83%	0.1	0.9
	3	22.4	21.5	12.3	10.6	17.3	16.1	14.5	34.5	19.7	25.5	42%	77%	0.8	1.7
	4	24.0	22.4	8.3	11.3	15.9	16.9	0.0	25.4	49.1	26.3	0%	187%	1.6	-3.0
	5	26.6	23.2	13.7	12.1	19.4	17.7	25.0	18.0	32.7	28.7	139%	114%	3.4	1.5
	6	25.5	24.0	12.3	12.6	18.9	18.3	1.0	17.3	36.5	33.3	6%	110%	1.5	-0.3
平均・計		24.2	22.6	11.0	11.0	17.5	16.8	55.5	136.6	196.4	171.3	41%	115%	1.6	0.0
6	1	22.1	24.9	11.8	13.5	16.8	19.1	48.0	14.7	41.5	29.6	326%	140%	-2.8	-1.7
	2	24.9	25.1	13.6	14.6	19.1	19.8	11.5	16.5	20.6	24.1	70%	86%	-0.2	-1.1
	3	22.8	25.6	10.5	15.4	16.7	20.5	0.0	19.8	37.0	23.3	0%	159%	-2.8	-4.9
	4	26.3	26.4	14.5	16.7	20.1	21.5	0.0	26.3	29.7	22.0	0%	135%	-0.1	-2.2
	5	28.0	26.1	17.2	17.6	21.8	21.8	5.5	41.1	24.9	15.5	13%	161%	1.9	-0.4
	6	28.3	26.8	18.8	18.5	22.7	22.6	3.0	40.4	17.5	15.5	7%	113%	1.5	0.2
平均・計		25.4	25.8	14.4	16.0	19.5	20.9	68.0	158.9	171.2	130.0	43%	132%	-0.4	-1.6

京都府農業研究所(京丹後市弥栄町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	29.6	27.5	21.8	19.3	25.2	23.3	40.5	35.8	11.1	17.3	113%	64%	2.1	2.5
	2	30.6	28.6	20.5	19.8	25.0	24.1	24.5	31.0	30.4	20.0	79%	152%	2.0	0.6
	3	33.0	28.9	22.3	20.8	26.9	24.8	28.0	45.4	34.5	14.8	62%	234%	4.2	1.5
	4	31.7	29.4	23.2	20.7	27.2	25.0	3.5	40.0	35.7	23.3	9%	153%	2.3	2.5
	5	33.2	30.8	24.6	21.3	28.1	26.0	17.0	23.9	18.9	30.2	71%	63%	2.4	3.3
	6	31.2	31.2	22.4	21.8	26.2	26.4	0.5	19.7	39.0	36.3	3%	107%	0.0	0.6
	平均・計	31.6	29.5	22.4	20.7	26.4	25.0	114.0	195.8	169.6	141.8	58%	120%	2.1	1.7
8	1	33.3	31.6	22.5	21.9	27.8	26.7	0.0	21.6	44.8	35.0	0%	128%	1.7	0.6
	2	31.6	32.1	24.1	21.9	27.2	26.9	131.0	15.8	26.1	33.5	829%	78%	-0.4	2.2
	3	28.5	31.5	22.2	21.9	24.7	26.7	106.5	17.2	19.0	29.8	619%	64%	-2.9	0.3
	4	30.2	31.4	22.3	21.6	25.3	26.4	21.0	21.1	27.3	31.3	100%	87%	-1.2	0.7
	5	32.9	30.8	23.0	21.0	27.3	25.8	21.5	31.4	28.8	28.1	69%	102%	2.1	2.0
	6	30.0	30.5	18.5	20.7	24.0	25.6	18.5	24.2	42.5	35.5	76%	120%	-0.6	-2.2
	平均・計	31.0	31.3	22.0	21.5	26.0	26.3	298.5	131.2	188.5	193.2	228%	98%	-0.3	0.5
9	1	27.4	29.5	16.2	20.0	21.6	24.7	7.5	27.7	31.7	28.5	27%	111%	-2.1	-3.8
	2	27.0	28.0	19.0	18.9	22.4	23.4	43.5	34.8	23.9	20.2	125%	118%	-1.0	0.1
	3	26.5	27.2	17.6	18.2	21.8	22.6	31.5	38.1	25.2	20.3	83%	124%	-0.7	-0.5
	4	25.4	26.9	16.2	17.4	20.7	22.1	163.0	37.5	16.1	22.3	435%	72%	-1.5	-1.2
	5	25.7	25.5	14.3	16.0	19.5	20.7	0.0	36.4	31.5	18.4	0%	171%	0.3	-1.7
	6	25.2	23.9	13.1	14.5	19.1	19.2	65.5	35.6	27.8	17.9	184%	155%	1.3	-1.4
	平均・計	26.2	26.8	16.1	17.5	20.8	22.1	311.0	210.1	156.2	127.6	148%	122%	-0.6	-1.4
10	1	21.8	23.9	12.2	14.0	17.4	18.9	45.0	24.9	13.8	19.4	181%	71%	-2.1	-1.8
	2	24.9	22.5	15.5	12.4	19.7	17.4	38.0	29.2	26.4	20.1	130%	131%	2.4	3.1
	3	22.3	22.5	14.5	11.8	17.7	17.1	27.5	25.2	12.9	21.9	109%	59%	-0.2	2.7
	4	18.7	20.8	11.7	10.1	15.2	15.3	16.5	32.8	13.0	22.3	50%	58%	-2.0	1.7
	5	17.5	20.1	11.3	8.6	14.8	14.3	171.5	18.7	2.6	21.9	916%	12%	-2.6	2.7
	6	18.9	19.3	8.7	8.2	13.4	13.7	38.0	30.1	24.2	24.0	126%	101%	-0.4	0.5
	平均・計	20.6	21.4	12.2	10.8	16.3	16.0	336.5	160.9	92.9	129.6	209%	72%	-0.8	1.4
11	1	19.0	18.3	5.6	7.2	11.6	12.7	20.0	29.4	32.0	18.7	68%	171%	0.7	-1.6
	2	19.6	18.0	4.0	7.6	11.9	12.4	10.5	25.1	31.2	18.6	42%	168%	1.7	-3.6
	3	16.6	16.3	5.1	6.7	10.7	11.1	16.0	28.1	21.6	13.8	57%	156%	0.3	-1.5
	4	11.7	14.7	4.4	5.3	7.5	10.0	70.5	29.4	10.8	13.6	240%	79%	-3.0	-1.0
	5	11.5	14.4	1.6	4.0	6.1	9.1	43.5	28.7	7.5	14.4	152%	52%	-2.9	-2.4
	6	14.6	13.0	3.3	4.4	9.3	8.7	9.0	41.0	9.8	10.8	22%	91%	1.6	-1.1
	平均・計	15.5	15.8	4.0	5.9	9.5	10.7	169.5	181.6	112.9	90.0	93%	125%	-0.3	-1.9
12	1	12.0	13.0	1.2	2.8	6.0	7.8	18.0	36.1	14.2	13.4	50%	106%	-1.0	-1.6
	2	8.8	12.0	0.6	2.4	4.6	7.1	41.0	35.7	10.5	12.7	115%	82%	-3.2	-1.8
	3	6.3	10.8	-0.2	1.9	2.6	6.4	56.5	44.9	11.7	9.9	126%	118%	-4.5	-2.2
	4	6.8	9.9	-0.5	1.1	2.1	5.4	43.5	35.1	7.6	10.4	124%	73%	-3.1	-1.7
	5	11.5	9.9	-0.4	1.1	4.9	5.5	38.0	32.3	17.8	9.6	117%	186%	1.7	-1.5
	6	7.4	9.4	1.3	0.6	4.6	5.0	16.0	46.2	3.3	11.3	35%	29%	-2.0	0.7
	平均・計	8.8	10.8	0.4	1.6	4.2	6.2	213.0	230.4	65.1	67.4	92%	97%	-2.0	-1.2
年平均・計	19.2	19.1	9.0	9.3	13.9	14.2	2012.5	2065.1	1624.9	1453.1	97%	112%	0.1	-0.3	

